

Bizメール&ウェブ ビジネス 管理者マニュアル

第4.3.6版
2021/10/20

この度は「Bizメール&ウェブ ビジネス」をご契約いただき、ありがとうございます。

本書は「Bizメール&ウェブビジネス」の主に管理者さまが行っていただく管理設定・データベースやアクセス解析などの便利な機能について必要事項・重要事項等をご説明しています。

快適にご運用いただく為に、ご運用開始前に必ずお読みください。

本書では「Bizメール&ウェブビジネス」を全て「本サービス」と表記しています。

本サービスではお客様のサーバー運用において、トラブルなく円滑にご利用いただく為に、様々なツールや情報を提供しております。ご利用の際は予め設定を行う必要がございます。管理者様におきましては、本書をご覧いただき、設定に過不足がないよう心がけてください。

本サービスの仕様変更により、本書の内容とサービスが一致しない場合がありますので、ご了承ください。

表示やマークについて

サーバーを利用する契約者、または利用者が損害を受ける可能性のある事や、サーバーが利用不可となる可能性があることを、回避法とともに記載しています。



警告

必読となります。未確認の場合、損害を負う可能性があります。



注意

ご確認をお願いいたします。未確認の場合、一時的にサービスを利用できない等の不都合が生じる可能性があります。

禁止行為は禁止マークが入っています。



禁止事項を示しています。

その他の表示



アドバイス

知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと



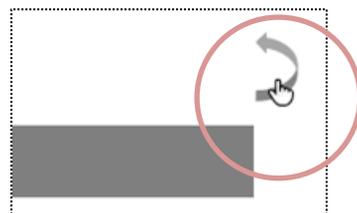
本書および本書以外のマニュアルについて

ご利用の用途・目的毎に別冊のマニュアルがあります。
様々なご利用方法がありますので、ご覧いただく事をお薦めします。

マニュアル名	用途・目的	対象
管理者マニュアル(本書)	本サービスの詳細設定用マニュアル ・ CGI/データベース (MySQL) / WordPress などの設定 ・ アクセスレポート (Piwik) のご利用方法等	管理者
セットアップマニュアル	本サービスをご利用いただく上で必要な基本設定マニュアル ・ 利用者ユーザー/メールアドレスの作成 ・ ホームページのアップロード方法等	管理者
利用者マニュアル	利用者向け設定及び、ご利用マニュアル ・ メール機能 ・ 各種ツール等	利用者
メール設定マニュアル	利用者向けメール設定マニュアル ・ メールソフト設定における注意事項/設定方法	利用者
Active!mail利用マニュアル	ウェブメール機能 Active!mailの利用マニュアル	利用者
メールセキュリティ管理者用コントロールパネル 設定マニュアル	メールセキュリティサービスの管理者向けマニュアル ・ 迷惑メールフィルタリング/ウイルスチェックの機能概要 ・ 各種設定手順	管理者 (オプション)
メールセキュリティサービスコントロールパネル 管理者マニュアル(ドメイン管理者向け)	メールセキュリティサービスの迷惑メールフィルタリング管理者向けマニュアル ・ 迷惑メールフィルタリングの管理者向け各種確認/設定方法	管理者 (オプション)
メールセキュリティサービスコントロールパネル 利用者マニュアル(一般ユーザー向け)	メールセキュリティサービスの迷惑メールフィルタリング利用者向けマニュアル ・ 迷惑メールフィルタリングの利用者向け各種確認/設定方法	利用者 (オプション)
メールセキュリティ フィードバック機能マニュアル	迷惑メールフィルタリングサービスにおいて、迷惑メール判定精度の向上を目的としたフィードバック機能のマニュアル	利用者/管理者 (オプション)

目次とページリンクについて

本書では、目次・文中のページ誘導をクリックすると、該当ページをすぐに表示することができます。各ページから目次に戻る場合は、ページ右上の矢印マークをクリックします。



目次

表示やマークについて	1
本書および本書以外のマニュアルについて/ 目次とページリンクについて	2

1 コントロールパネルの機能

1.1 コントロールパネルへのログイン	6
1.2 機能概要	8
1.3 二要素認証設定	9

2 メールサーバー

2.1 メールサービスの概要	51
2.2 メールアドレス (旧: メールエイリアス)	52
2.3 メーリングリスト	56
2.4 受信サーバー設定 (メールセキュリティなしの場合)	66
2.5 メール分析	71

3 ウェブサーバー

3.1 ディレクトリ構成	80
3.2 SSL/TLS証明書	86
3.3 サイトアクセス制限	104
3.4 サイト編集権限	116
3.5 サイトバックアップ	121
3.6 ウェブサイト分析	129

4 アプリケーション

4.1 基本アプリ	137
4.2 追加アプリ	140
4.3 データベース	163

5 システム

5.1 定期実行タスク	177
-------------	-----

6 CGIの仕様

6.1 CGI環境	184
6.2 使用できる言語とスクリプトの実装	185
6.3 ファイル管理によるCGIファイルの作成	187
6.4 スクリプトファイルへの実行権限の付与	190

7 システム管理者さまへのお願い

7.1 ユーザ管理についての注意事項	193
7.2 サポートに関する注意事項	194

8 サービスのご利用にあたって

8.1 本サービスの提供形態に関する注意	197
8.2 本サービスの保全に関する注意事項	199

MEMO

A large, empty rectangular area with rounded corners, intended for writing a memo. The area is white and occupies most of the page below the header.

1 コントロールパネルの機能

この章では、Bizメール&ウェブ ビジネス サーバーにアクセスするためのインターフェースである「コントロールパネル」の概要について説明します。

1.1 コントロールパネルへのログイン

1.2 機能概要

1.3 二要素認証設定



1. コントロールパネルの機能

1.1 コントロールパネルへのログイン

1.1.1 コントロールパネルのログイン

まず始めに、コントロールパネルにログインを行います。

以下は、メールにてご案内しております、「ご利用内容のご案内」をお手元にご準備頂きまして、設定を行ってください。

① コントロールパネルのURLにアクセスします。

◆ コントロールパネルの URL

[https://ユーザID\(管理者\).bizmw.com/ControlPanel/](https://ユーザID(管理者).bizmw.com/ControlPanel/)

ユーザID(管理者) の部分には、「ご利用内容のご案内」に記載のユーザID(管理者用)をご入力ください。

お客さまのユーザID(管理者) が「biz123」の場合、コントロールパネルのURLは <https://biz123.bizmw.com/ControlPanel/> となります。

※「ご利用内容のご案内」にも、お客さまコントロールパネルのURLが記載されております。

- ② コントロールパネルログイン画面が表示されましたら、[ログイン] ボタンをクリックします。

◆管理者でのログイン

ご利用内容のご案内に記載の「ユーザID(管理者用) /ユーザパスワード」を入力します。

◆利用者でのログイン

管理者が作成した「ユーザーID(利用者用) /パスワード」を入力します。

※利用者の作成方法は、「[セットアップマニュアル](#)」をご覧ください。

参照

4章

セットアップマニュアル

ユーザー

Bizメール&ウェブ
ビジネス

管理者での
ログイン

ユーザーID

パスワード

[二要素認証を設定している場合はこちら](#)

ログイン



1.2 機能概要

1.2.1 管理者コントロールパネルの機能

管理者でログインした場合のコントロールパネルから使用できる機能を示します。本サービスのコントロールパネルでは、ログインするユーザーが管理者と利用者で、表示される機能が異なります。

管理者でのログイン画面



項目	内容
サーバー基本情報	ご利用サーバーの基本情報を表示
リソース使用状況	使用中のディスク容量を表示機能 ※表示される値には、ウェブコンテンツやCGIプログラムなどアップロードしたファイルの他、受信メールや各種ログなどサーバーに蓄積されるファイルの容量も含まれます。
メール/メールサーバー	ウェブメール、メーリングリストなどのメール関連機能
ファイル	ファイルマネージャー、復元などのウェブ関連機能
ウェブサーバー	デジタル証明書(SSL)、PHP機能などの機能
アプリケーション	WordPress、Piwik、MySQL、phpMyadminなどの機能
システム	定期実行タスク、IPアクセス制限などの設定機能

⚠ 注意

サーバーのディスク容量は、常時 15% 以上の空きを確保されますことを、お奨め致します。
大量のメール着信や大容量ファイルの転送などの際に容量不足が発生し、ご利用いただけない状態となった場合、必要なメール等が受け取れなくなります。



1.3 二要素認証設定

1.3.1 二要素認証の概要

サーバー管理者・ドメイン管理者がコントロールパネルへログインする際に、通常のパスワードだけではなく、もう一つのパスワード(ワンタイムパスワード)による二重の認証を行う仕組みです。

パスワードの流出等が発生した場合に、不正にコントロールパネルへのログインを防ぐことが出来ます。

1.3.2 二要素認証を有効にする

- ① コントロールパネル右上のボタンをクリックし、プルダウンの [二要素認証] をクリックします。

The screenshot shows the control panel interface for 'Bizメール&ウェブビジネス'. The top navigation bar includes 'ホーム', 'メール', and 'ファイル'. On the left, there is a sidebar menu with options like '管理者設定', 'ユーザー', 'メールサーバー', 'ウェブサーバー', 'アプリケーション', 'システム', and '管理者サポート'. The main content area is divided into sections: 'サーバー基本情報' (Server Basic Information) with a table of details, and 'リソース使用状況' (Resource Usage Status) showing a disk usage gauge at 0%. In the top right corner, a user profile dropdown menu is open, with '二要素認証' (Two-Factor Authentication) highlighted in a red box. Other options in the menu include '日付と時刻', 'パスワード', and 'ログアウト'.

サーバー基本情報	
契約プラン	ビジネス
アカウント名	mw2*****
取管サーバー	sh1-buprod*****.vmhosts.net
IPアドレス	192.0.2.0
ドメイン名	example.co.jp
ネームサーバー	ns-204.dns.jp-e1.cloudn-service.com. ns-205.dns.jp-w1.cloudn-service.com. ns-206.dns.us-e1.cloudn-service.com.

② 二要素認証設定を行う準備ができました。

🔗 二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール ⓘ

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。

[Androidはこちら \(GooglePlay\)](#)

[iPhone/iPadはこちら \(AppStore\)](#)

[Chrome拡張機能 \(PC\)はこちら \(Chromeウェブストア\)](#)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
 認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
 ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。

初期設定用認証キー



ステップ2 認証用端末のサーバー登録

事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。
 クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード (半角数字6ケタ) を入力して登録を完了させてください。
 サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード

二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

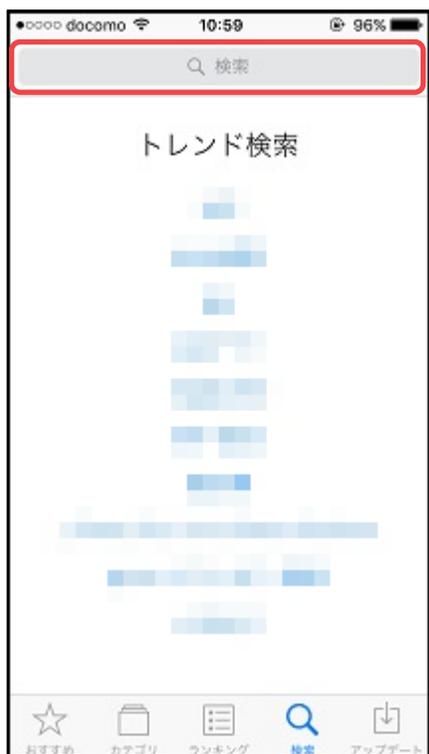
続けてクライアントアプリの設定に移ります。

1.3.3 クライアントアプリのインストール(iPhone)

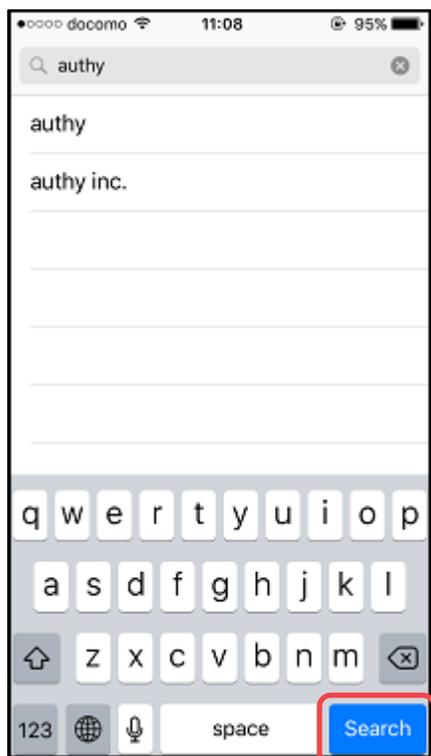
- ① App Storeを起動します。
- ② 検索をタップします。



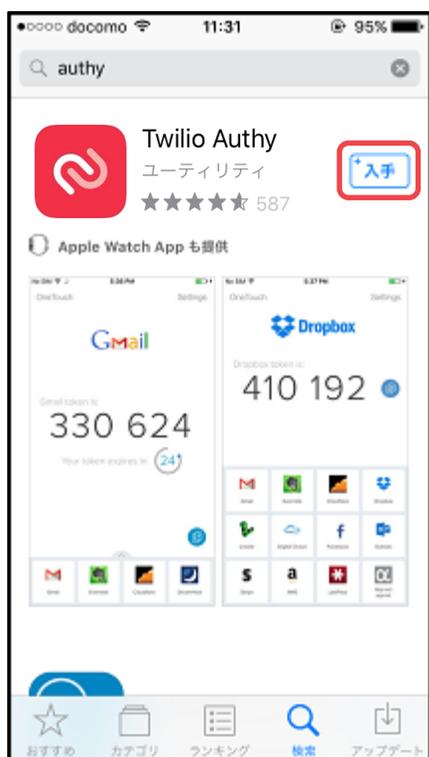
- ③ 検索欄に「authy」と入力します。



- ④ 右下の「Search」をタップします。

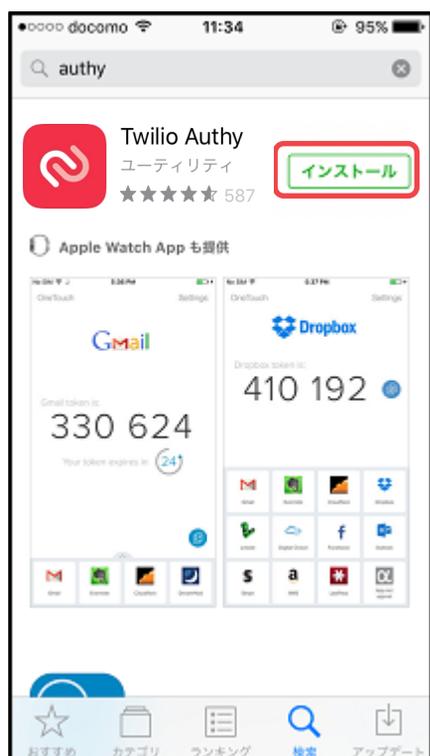


- ⑤ 検索結果が表示されたら、入手をタップします。

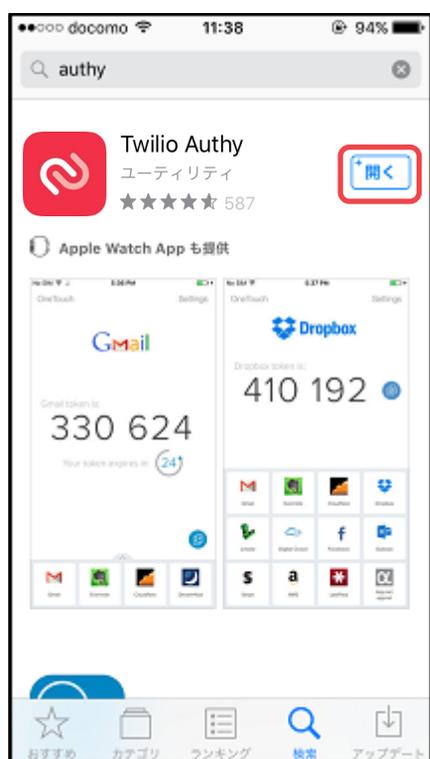


アイコン及び名称は提供元により変更される場合がございます。
見つからない場合はサポート窓口までお問い合わせください。

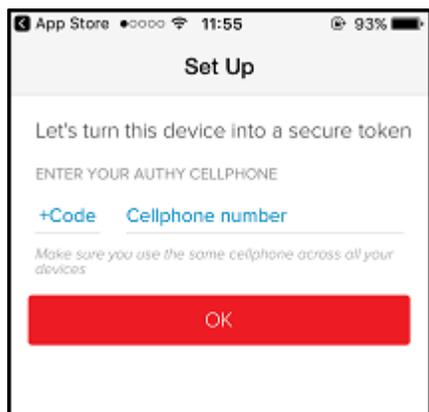
⑥ インストールをタップします。



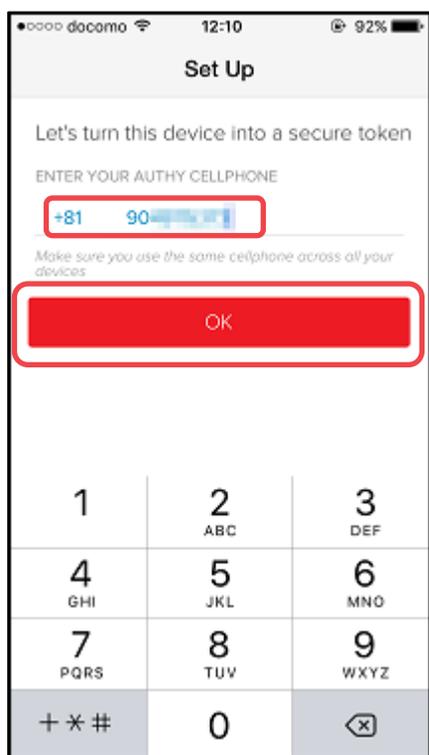
⑦ インストール完了後に、開くをタップします。



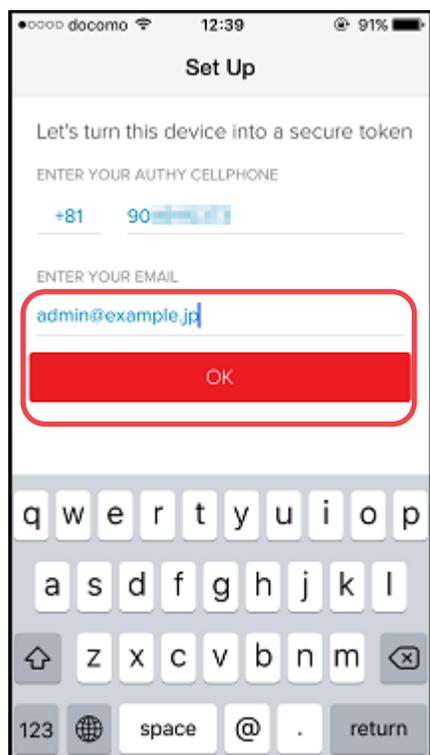
- ⑧ セットアップ画面が開きます。



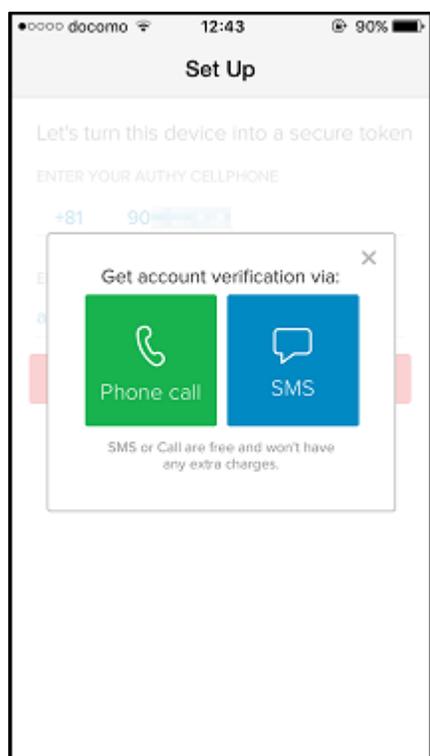
- ⑨ 初回の認証には電話による認証、もしくはSMS受信が必要になりますので認証の手続きを行います。
- ⑩ 「+Code」は日本国際電話コード「+81」を選択します。
- ⑪ 「Cellphone number」にはお客様の電話番号を入力します。
 なお、**電話番号を入力する際には、先頭の「0」を省略します。**
 例として、「090-1234-5678」の場合は「9012345678」と入力します。
- ⑫ 電話番号の入力が終わったら、OKをタップします。



- ⑬ 「ENTER YOUR MAIL」と表示されますので、お客さまのメールアドレスを入力し、「OK」をタップします。

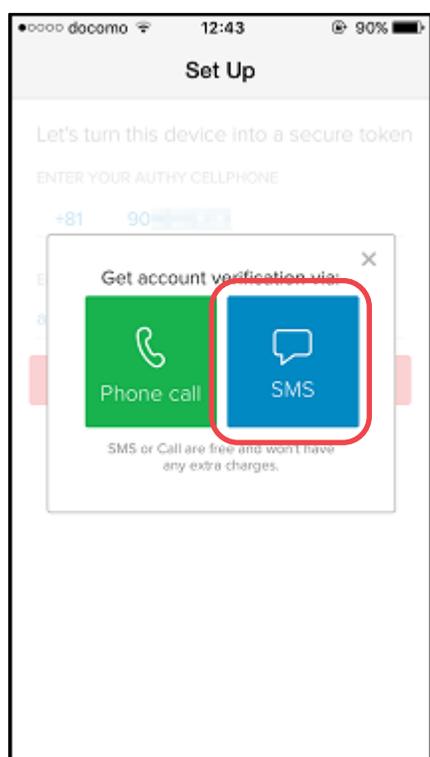


- ⑭ 電話認証かSMS(ショートメッセージ)認証を選択する画面が開きます。

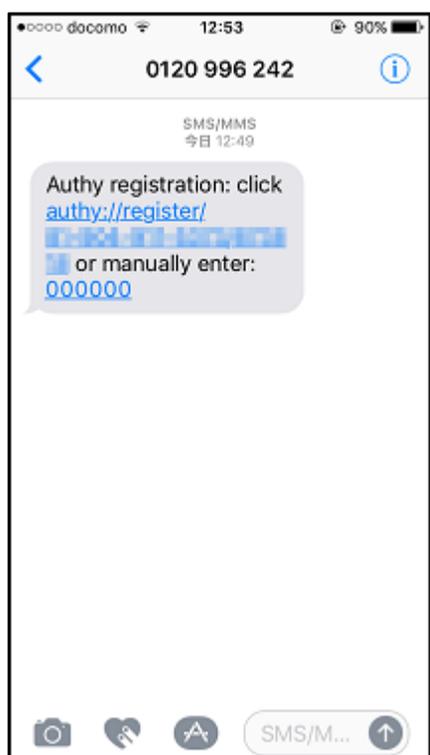


⑮ ここではSMS認証を例に説明いたします。

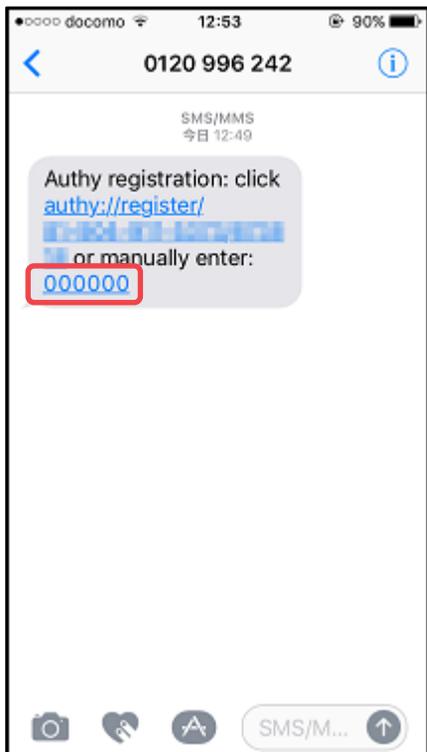
⑯ SMSをタップします。



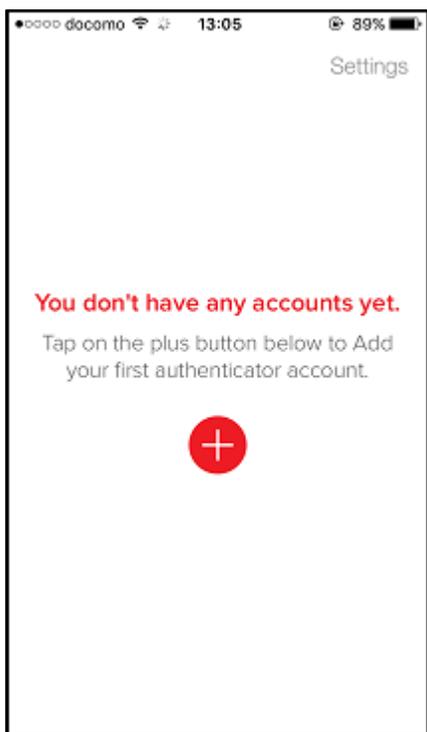
⑰ 「0120-996-242」の電話番号からSMSが送信されますので、メッセージを確認し、メモしておきます。



- ⑱ 末尾に記載されている6桁の番号をメモし、セットアップ画面に戻ります。
- ⑲ 「**Registration Code**」をタップし、上の手順でメモした、6桁の認証番号を入力します。

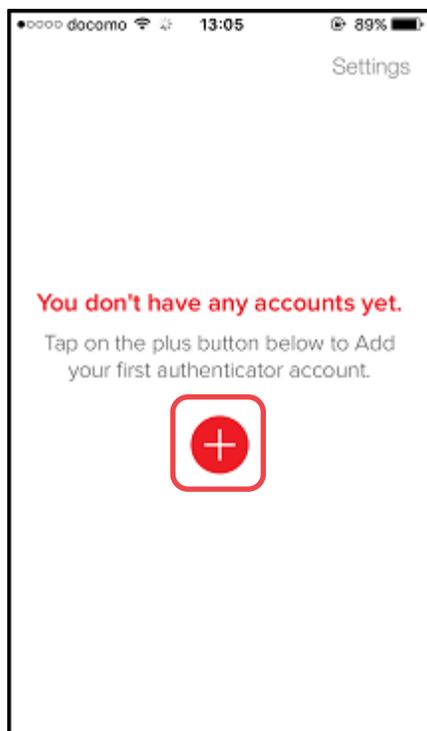


- ⑳ 通知の許可を確認されますので、許可します。
- ㉑ 以下の画面が表示されれば、インストール完了です。



1.3.4 二要素認証の有効化(iPhone)

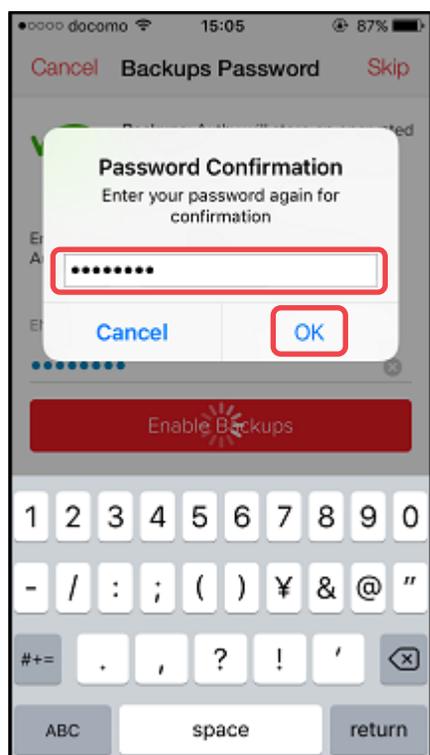
- ① Authyを起動します。
- ② 「+」をタップします。



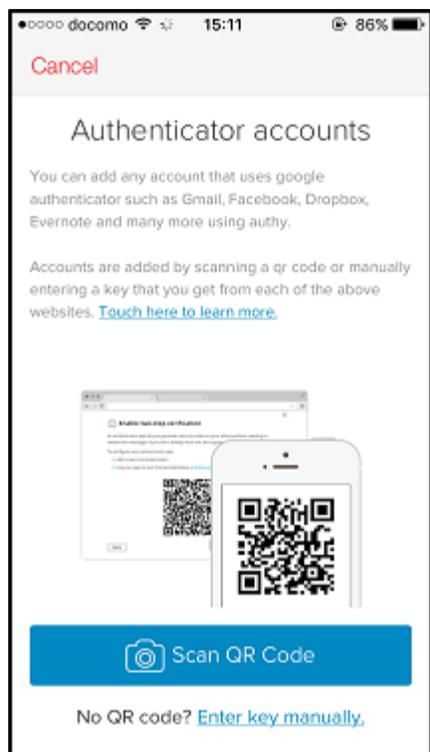
- ③ 初回起動時は、「Backups Password」設定の画面が表示されます。「Backups Password」を設定しておくことで、スマートフォンを紛失した際に設定を復元できますので、設定することを推奨します。
- ④ パスワードを入力し、「Enable Backups」をタップします。



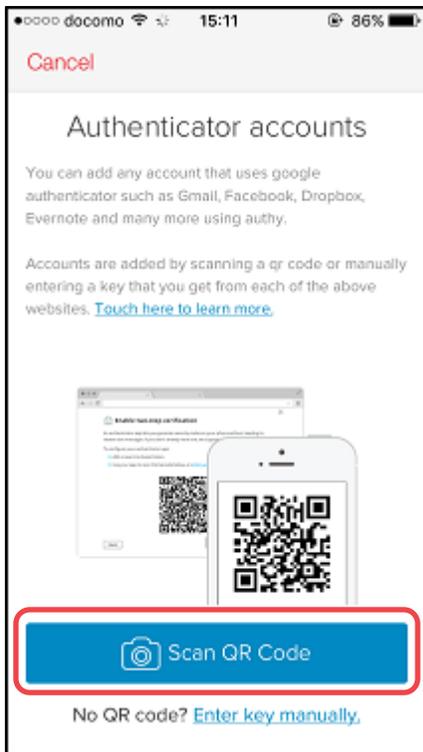
- ⑤ パスワードの確認画面が表示されますので、パスワードを再入力し、「OK」をタップします。



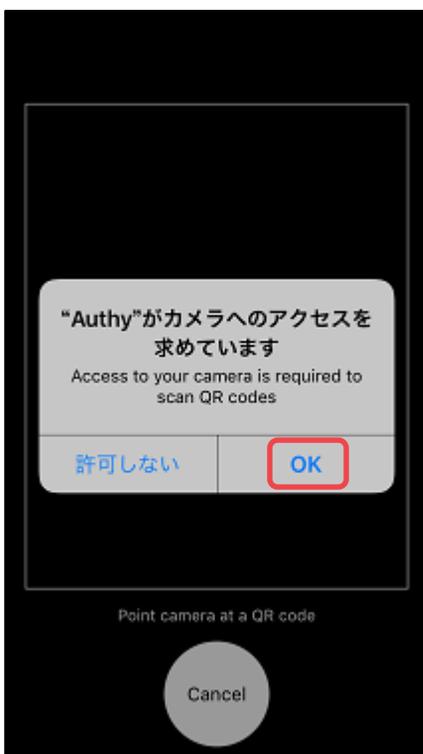
- ⑥ 「Backups Password」の設定が完了し、以下の画面が表示されます。



- ⑦ コントロールパネルに表示されているQRコードをスキャンし、設定します。
- ⑧ 「Scan QR Code」をタップします。



- ⑨ 確認画面が表示されますので、「OK」をタップします。



⑩ コントロールパネルに表示されているQRコードをスキャンします。

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。

[Androidはこちら \(GooglePlay\)](#)
[iPhone/iPadはこちら \(AppStore\)](#)
[Chrome拡張機能 \(PC\)はこちら \(Chromeウェブストア\)](#)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
 認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
 ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。

初期設定用認証キー



ステップ2 認証用端末のサーバー登録

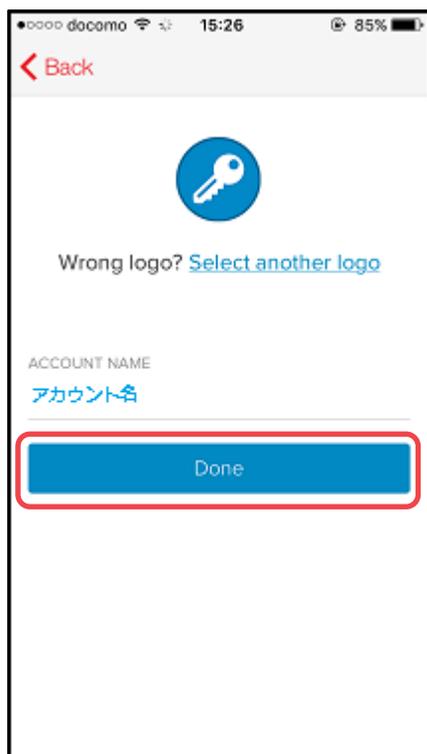
事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。
 クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード (半角数字6ケタ) を入力して登録を完了させてください。
 サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード 登録して有効化する

二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

⑪ QRコードのスキャンに成功すると、以下の画面が表示されます。

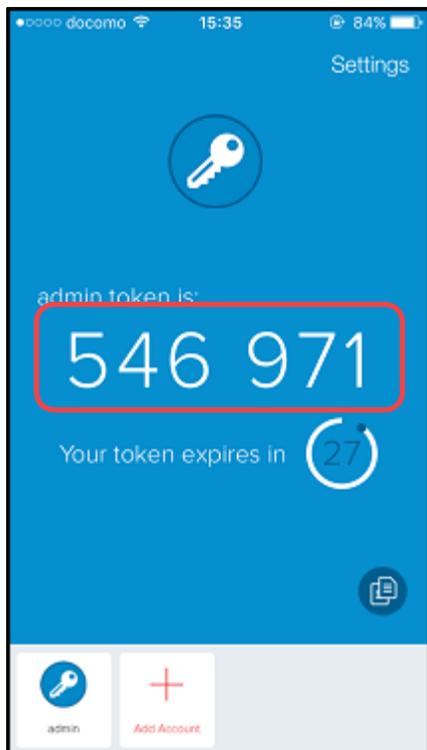
⑫ アカウント名は任意で設定してください。入力後に「Done」をタップします。



- ⑬ TwitterやGoogle+との連携確認画面が表示されますので、右上の「×」をタップします。



- ⑭ 初回認証に成功すると、以下のようにワンタイムパスワードが表示されます。



- ⑮ コントロールパネルに戻り、Authyに表示されているワンタイムパスワードを入力し、[登録して有効化する]をクリックします。

🔗 二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ 1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール 📌

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。

- [Androidはこちら \(GooglePlay\)](#)
- [iPhone/iPadはこちら \(AppStore\)](#)
- [Chrome拡張機能 \(PC\)はこちら \(Chromeウェブストア\)](#)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
 認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
 ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。

初期設定用認証キー



ステップ 2 認証用端末のサーバー登録

事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。
 クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード (半角数字6ケタ) を入力して登録を完了させてください。
 サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード

二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

- ⑯ 下記の画面が表示されましたら、二要素認証の設定は完了となります。

🔗 二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証が有効になっています。

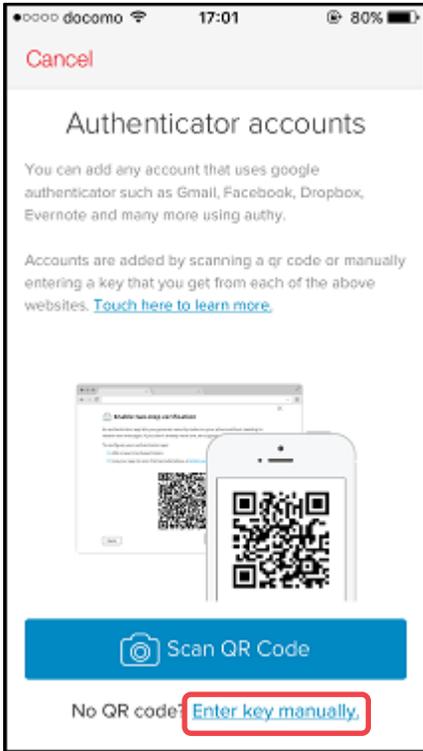
初期設定キー：*****

誤ってクライアントアプリを削除したり、インストール済の端末を紛失や交換すると、ログインできなくなりますのでご注意ください。

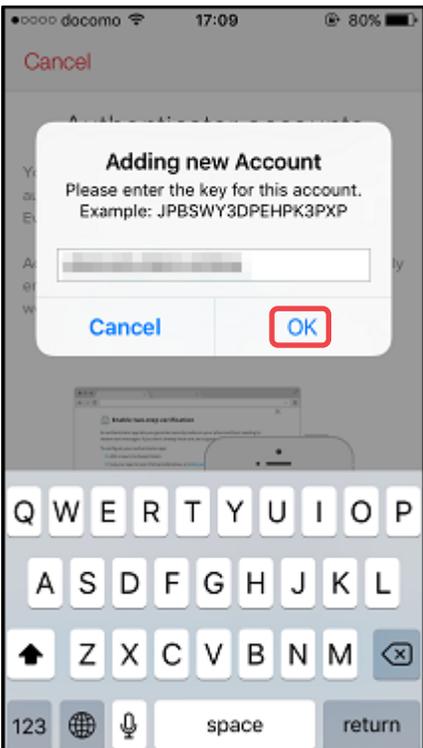


QRコードが正常にスキャンできない場合は、初期設定キーを手動で入力します。

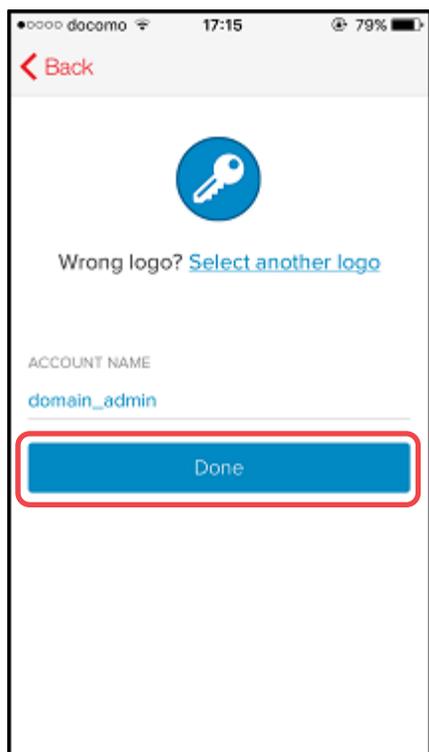
- ① 「**Enter key manually**」をタップします。



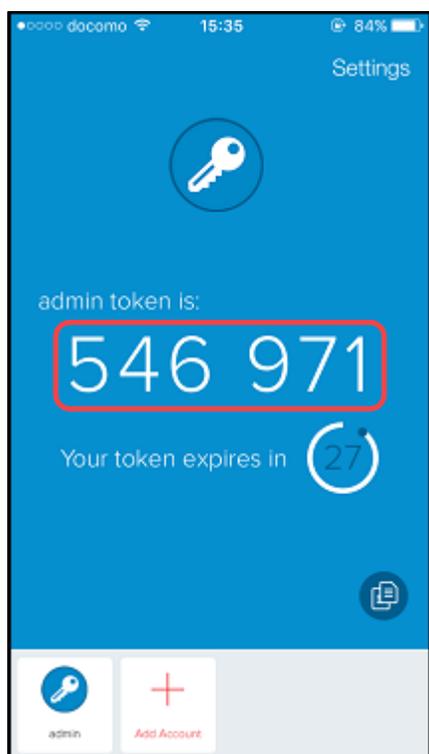
- ② コントロールパネルに表示されている、初期設定キーを入力し、「**OK**」をタップします。



③ 以下の画面が表示されますので、「Done」をタップします。

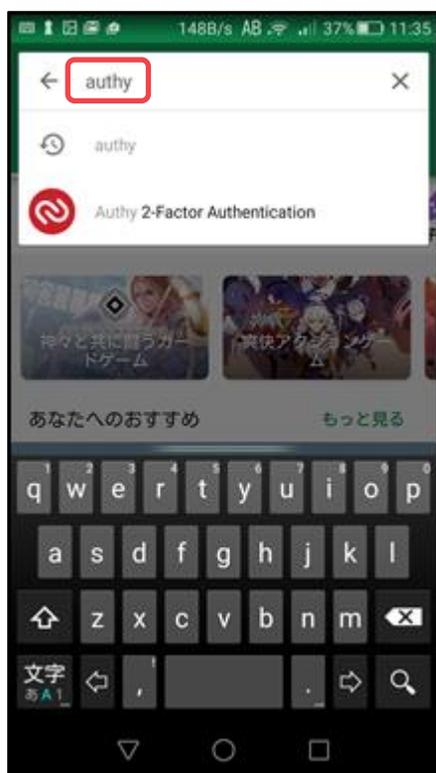


④ ワンタイムパスワードが表示されれば、正常に設定完了です。

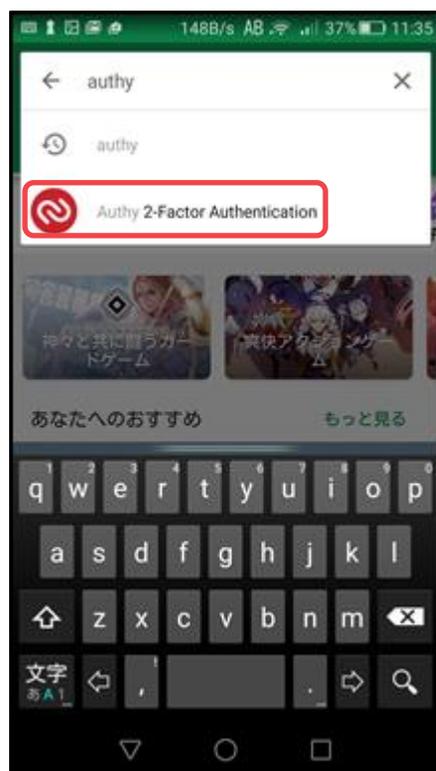


1.3.5 クライアントアプリのインストール(Android)

- ① Playストア(Google Play)を起動します。
- ② 検索欄に「authy」と入力します。



- ③ 「Authy 2-Factor Authentication」を選択します。



- ④ 検索結果が表示されたら、「インストール」をタップします。



- ⑤ 確認画面が表示されますので、「同意する」をタップします。



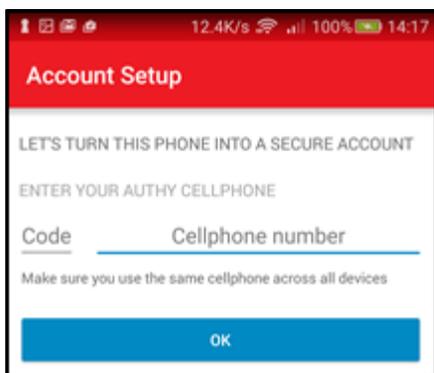
注意

アイコン及び名称は提供元により変更される場合がございます。
見つかからない場合はサポート窓口までお問い合わせください。

- ⑥ インストールが完了しましたら、「開く」をタップします。

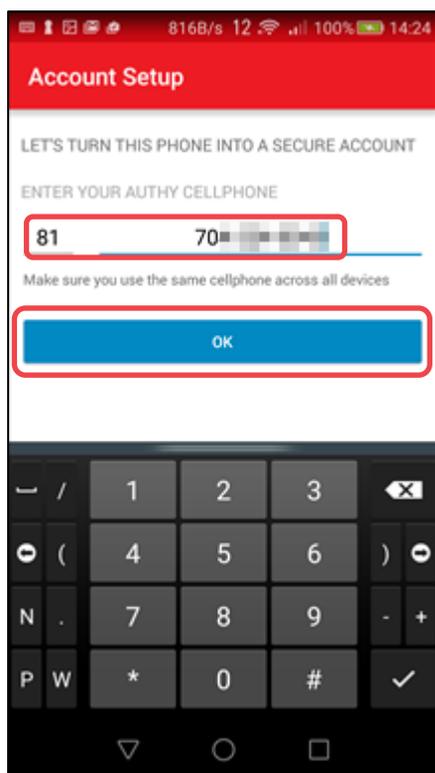


- ⑦ セットアップ画面が表示されます。

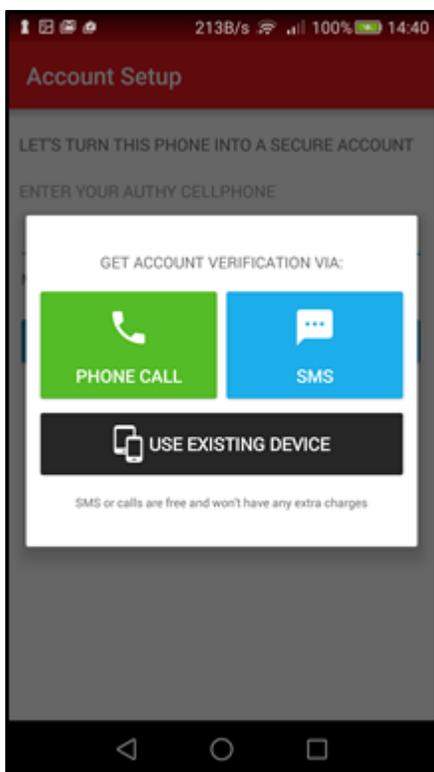


- ⑧ 初回の認証には電話による認証、もしくはSMS受信が必要になりますので認証の手続きを行います。
- ⑨ 「+Code」は日本国際電話コード「+81」を選択します。
- ⑩ 「Cellphone number」にはお客さまの電話番号を入力します。
 なお、**電話番号を入力する際には、先頭の「0」を省略します。**
 例として、「090-1234-5678」の場合は「9012345678」と入力します。

- ⑪ 電話番号の入力が終わったら、「OK」をタップします。

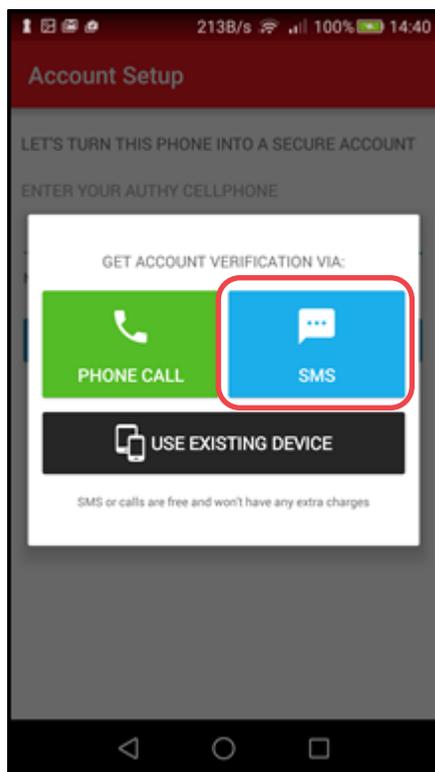


- ⑫ 電話認証かSMS(ショートメッセージ)認証を選択する画面が開きます。



⑬ ここではSMS認証を例に説明いたします。

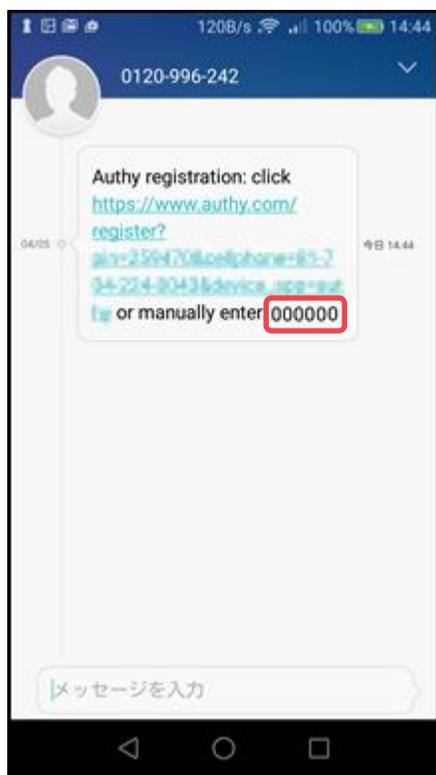
⑭ SMSをタップします。



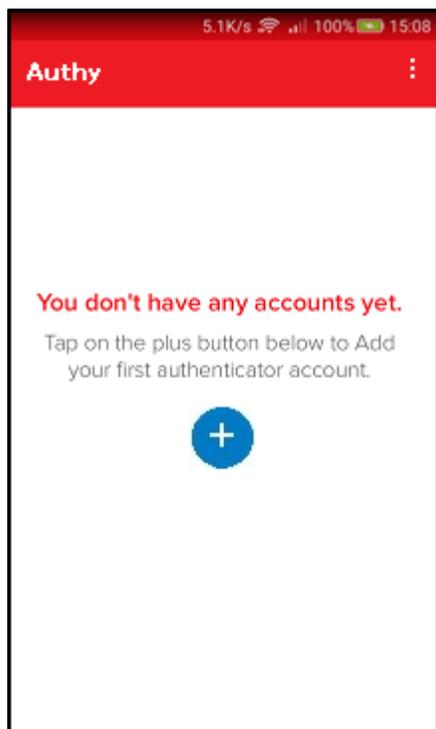
⑮ 「0120-996-242」の電話番号からSMSが送信されますので、メッセージを確認し、メモしておきます。



- ⑯ 末尾に記載されている6桁の番号をメモし、セットアップ画面に戻ります。
- ⑰ 「**Registration Code**」をタップし、上の手順でメモした、6桁の認証番号を入力します。

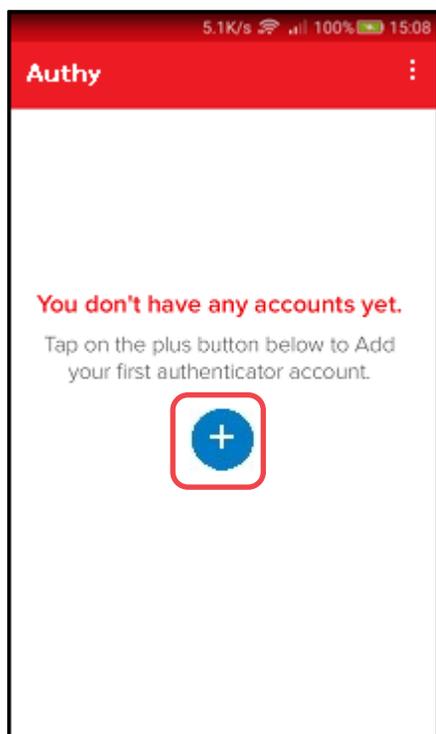


- ⑱ 以下の画面が表示されれば、インストール完了です。

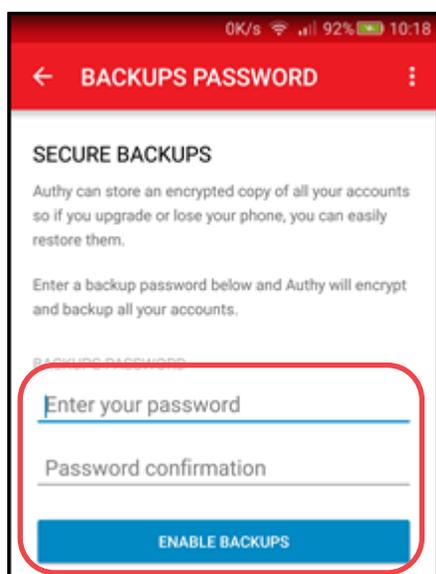


1.3.6 二要素認証の有効化(Android)

- ① Authyを起動します。
- ② 「+」をタップします。



- ③ 初回起動時は、「Backups Password」設定の画面が表示されます。「Backups Password」を設定しておくことで、スマートフォンを紛失した際に設定を復元できますので、設定することを推奨します。
- ④ パスワードを入力し、「Enable Backups」をタップします。「Password confirmation」には同じパスワードを確認として入力します。

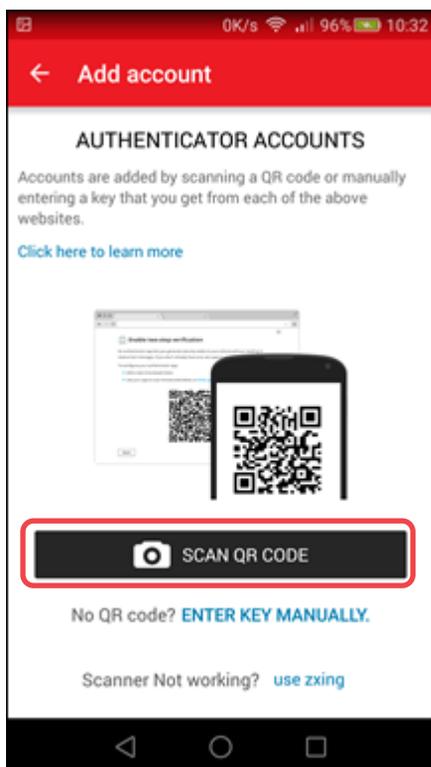


- ⑤ 「Backups Password」 の設定が完了し、以下の画面が表示されます。



- ⑥ コントロールパネルに表示されているQRコードをスキャンし、設定します。

- ⑦ 「Scan QR Code」 をタップします。



⑧ コントロールパネルに表示されているQRコードをスキャンします。

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ 1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。

- Androidはこちら (GooglePlay)
- iPhone/iPadはこちら (AppStore)
- Chrome拡張機能 (PC) はこちら (Chromeウェブストア)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
 認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
 ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。



ステップ 2 認証用端末のサーバー登録

事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。
 クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード (半角数字6ケタ) を入力して登録を完了させてください。
 サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード

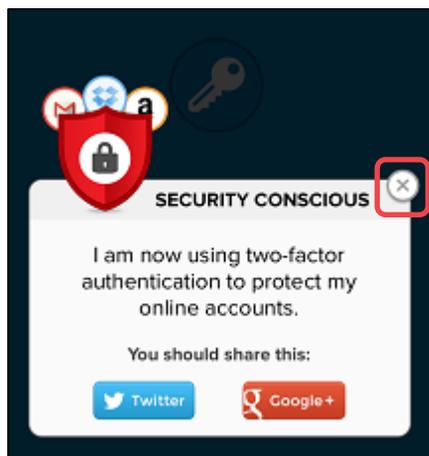
二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

⑨ QRコードのスキャンに成功すると、以下の画面が表示されます。

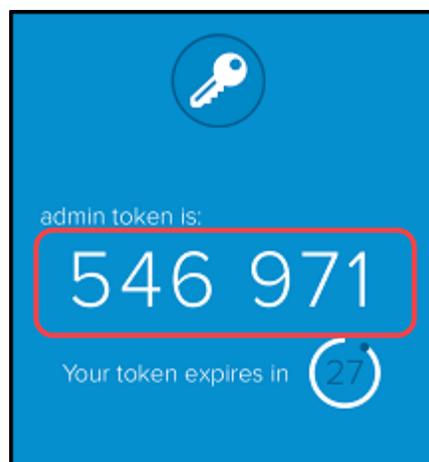
⑩ アカウト名は任意で設定してください。入力後に「Done」をタップします。



- ⑪ TwitterやGoogle+との連携確認画面が表示されますので、右上の「×」をタップします。



- ⑫ 初回認証に成功すると、以下のようにワンタイムパスワードが表示されます。



- ⑬ コントロールパネルに戻り、Authyに表示されているワンタイムパスワードを入力し、[登録して有効化する]をクリックします。

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

二要素認証は現在設定されていません

ステップ1 認証用端末のセットアップ

クライアントアプリのインストール

下記のリンクから認証用端末にアプリケーションをインストールしてください。

[Androidはこちら \(GooglePlay\)](#)
[iPhone/iPadはこちら \(AppStore\)](#)
[Chrome拡張機能 \(PC\)はこちら \(Chromeウェブストア\)](#)

クライアントアプリへの認証キー登録

アプリを起動してアカウント追加から初期設定用認証キーを登録してください。
 認証キーの登録は手動での入力または二次元バーコードの読み取りで行えます。
 ページを離れると認証キーが更新されるため登録後は続けてSTEP2まで完了させてください。

初期設定用認証キー



ステップ2 認証用端末のサーバー登録

事前にSTEP1の認証用端末のセットアップを完了させてください。
 クライアントアプリに表示されたワンタイムパスワード (半角数字6ケタ) を入力して登録を完了させてください。
 サーバーに認証用端末の登録が完了すると二要素認証が有効化されます。

ワンタイムパスワード

二要素認証が設定された状態で登録した端末の交換や紛失、クライアントアプリの削除をするとログインできなくなりますのでご注意ください。

- ⑭ 下記の画面が表示されましたら、二要素認証の設定は完了となります。

二要素認証設定

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した**二要素認証**を設定できます。

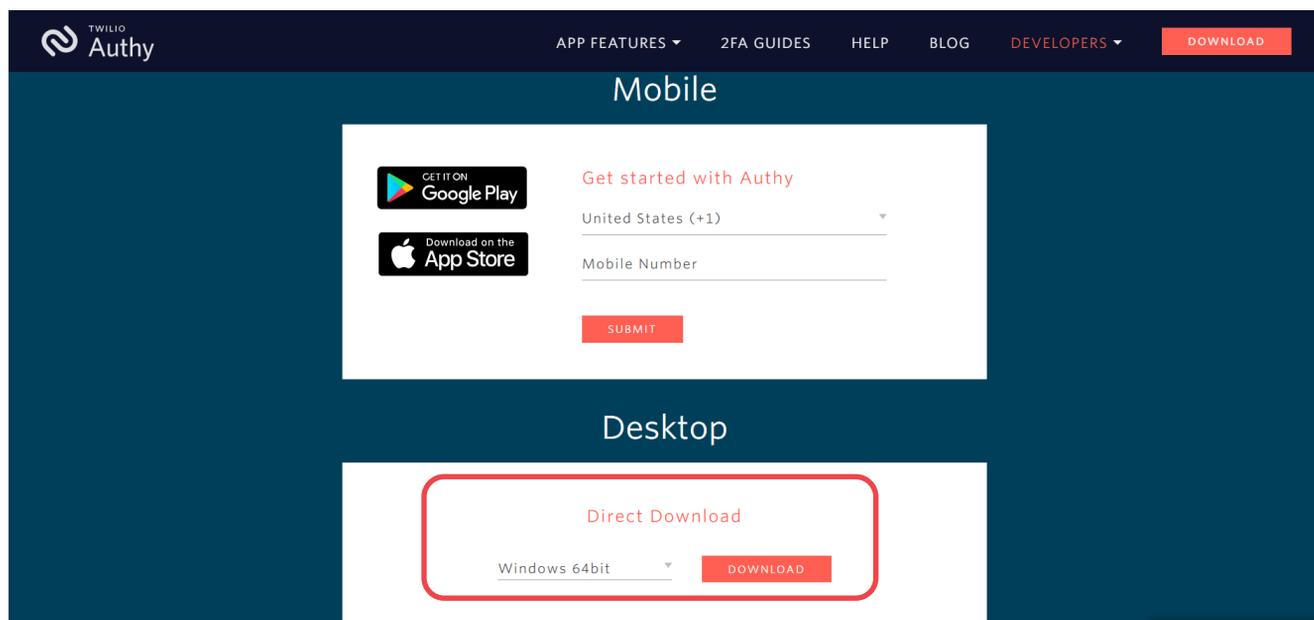
二要素認証が有効になっています。

初期設定キー：*****

誤ってクライアントアプリを削除したり、インストール済の端末を紛失や交換すると、ログインできなくなりますのでご注意ください。

1.3.7 クライアントアプリのインストール(Windows)

- ① Windows用のクライアントアプリはAuthyの公式ページから提供されております。
- ② ブラウザーからAuthyのダウンロードページにアクセスします。
(リンク先 : <https://authy.com/download/>)
- ③ 「Desktop - Direct Download」 からWindows版を選択し、DOWNLOADをクリックします。



- ④ ダウンロードしたファイルを実行し、Authyをインストールします。
- ⑤ 初回の認証には電話による認証、もしくはSMS受信が必要になりますので認証の手続きを行います。



アイコン及び名称は提供元により変更される場合がございます。
見つからない場合はサポート窓口までお問い合わせください。

- ⑥ 初回の認証には電話による認証、もしくはSMS受信が必要になりますので認証の手続きを行います。
- ⑦ 「Country」には、日本国際電話コード「+81」を「Phone Number」には、お客様の電話番号を入力します。
なお、電話番号を入力する際には、先頭の「0」を省略します。
例として、「090-1234-5678」の場合は「9012345678」と入力します。
- ⑧ 電話番号の入力が終わったら、NEXTをクリックします。

Twilio Authy

Authy Desktop Edit Window Help



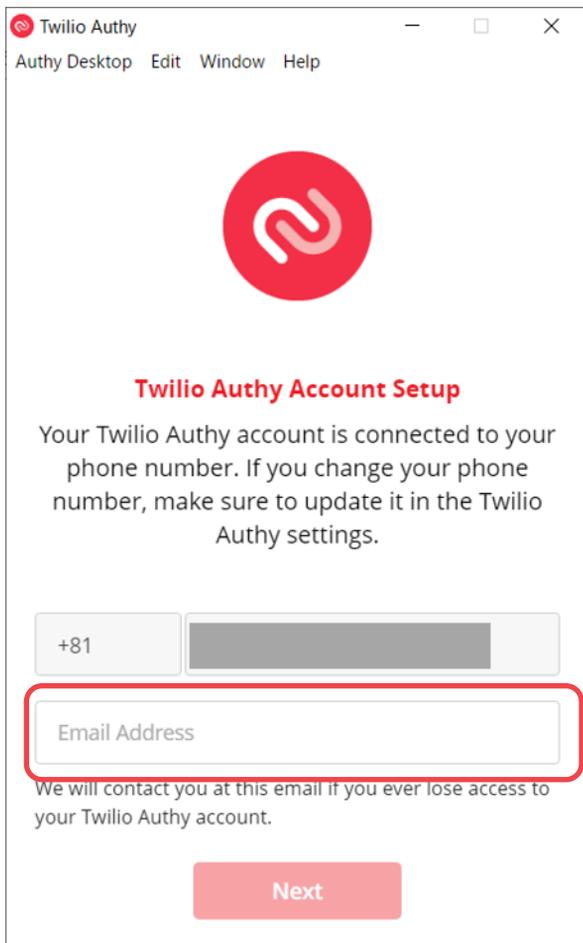
Twilio Authy Account Setup

Your Twilio Authy account is connected to your phone number. If you change your phone number, make sure to update it in the Twilio Authy settings.

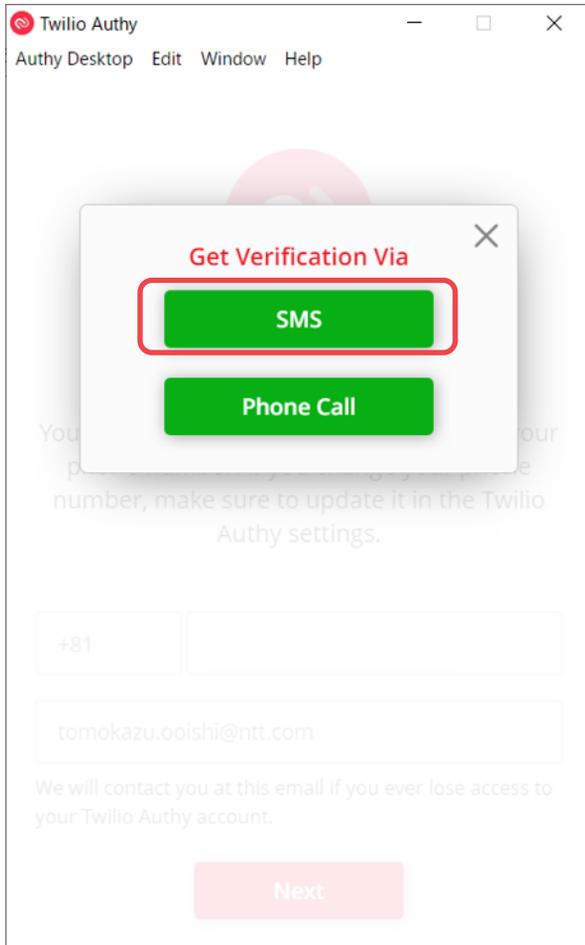
Country Phone Number

Next

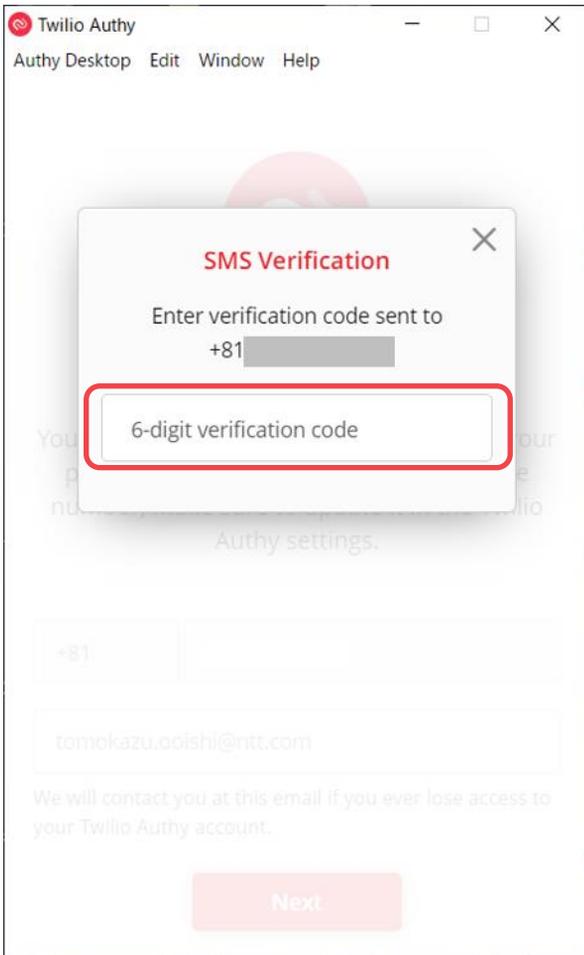
- ⑨ メールアドレスの入力を求められた場合は、お客さまのメールアドレスを入力します。
- ⑩ 電話番号の入力が終わったら、NEXTをクリックします。



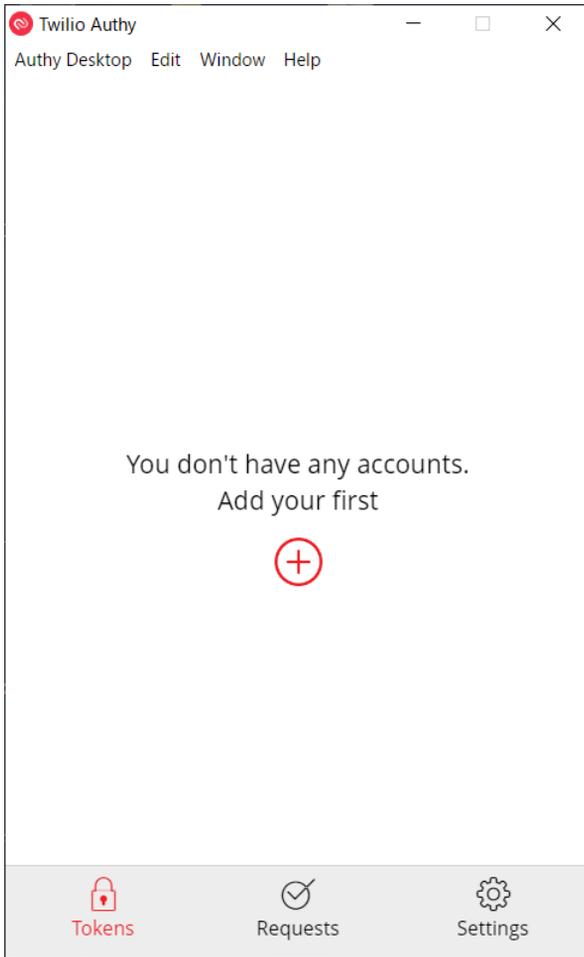
- ⑪ 電話認証かSMS(ショートメッセージ)認証を選択する画面が開きます。
- ⑫ ここではSMS認証を例に説明します。SMSをクリックします。



- ⑬ お客さまが入力した電話番号にSMSを受信しますので、メッセージを確認し、末尾(manually enter)に記載されている6桁の番号を確認します。
- ⑭ SMSで受け取った6桁の認証コードを「6-digit verification code」に入力します。



⑮ 以下の画面が表示されれば、インストール完了です。

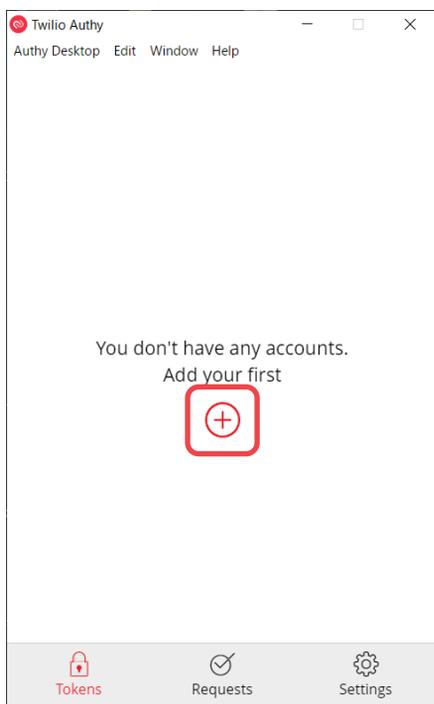


1.3.8 二要素認証の有効化(Windows)

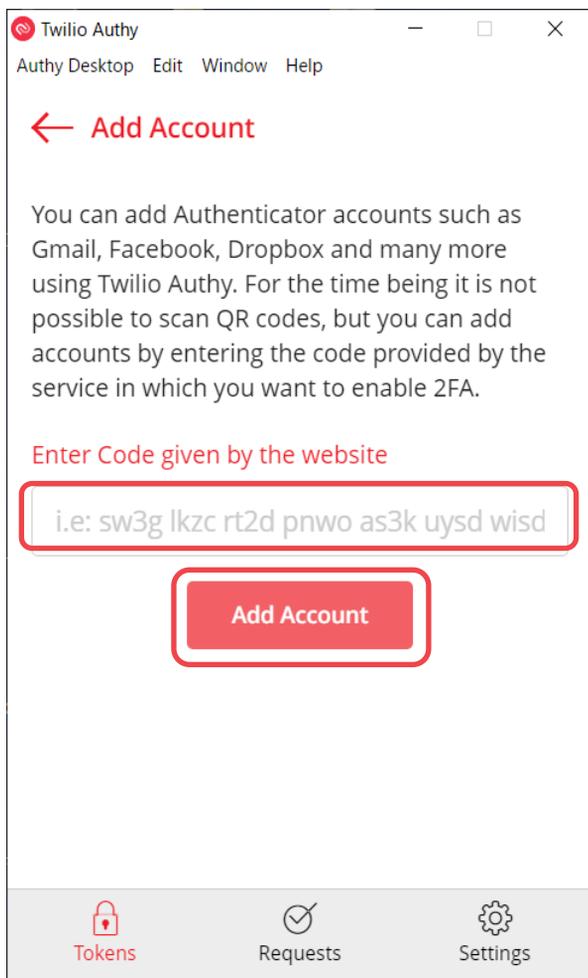
- ① Windowsでは、QRコードによる認証ができませんので、コントロールパネルに表示されている、「初期設定キー」を手動で入力する必要があります。



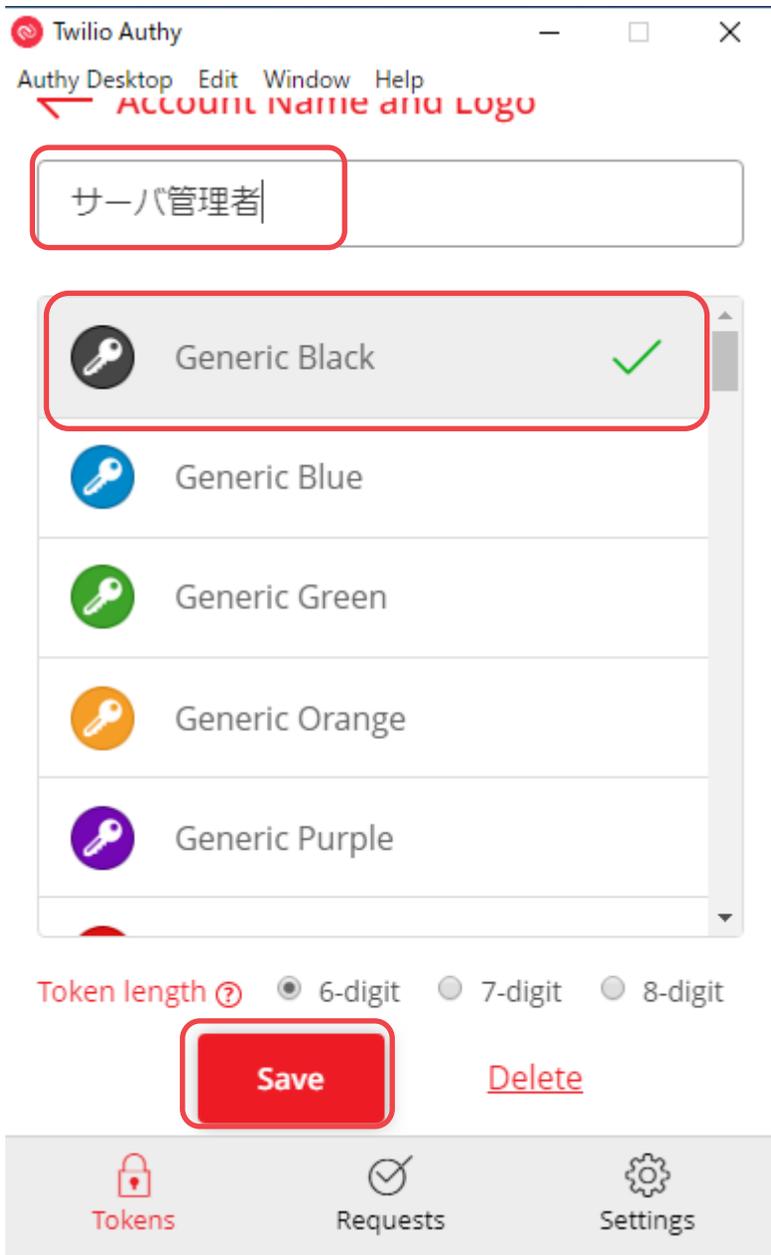
- ② Authyを起動します。
- ③ 「+」をクリックします。



- ④ 初期設定キーを入力する画面が開きます。
- ⑤ 「Enter Code given by the website」に初期設定キーを入力し、「Add Account」をクリックします。



- ⑥ アカウントのアイコンとアカウント名を決定する選択する画面が表示されます。
- ⑦ 任意のアイコンとアカウント名を入力し、「Save」をクリックします。



⑧ ワンタイムパスワードが表示されます。

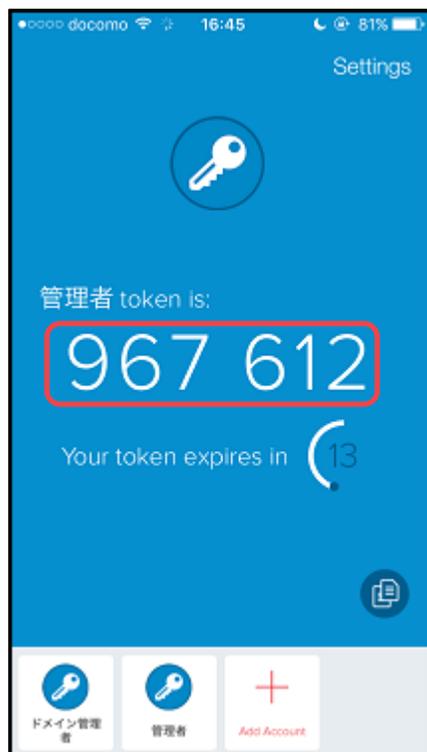


1.3.9 二要素認証を利用したコントロールパネルへのログイン

- ① コントロールパネルにアクセスします。
- ② ID、パスワードを入力し、「[※二要素認証を設定している場合はクリック](#)」をクリックします。

The screenshot shows the login page for Bizメール&ウェブ. At the top is the logo. Below it are three input fields: 'ユーザーID' (User ID), 'パスワード' (Password), and 'ワンタイムパスワード' (One-time password). A red box highlights the 'ワンタイムパスワード' field and the link above it that says '二要素認証を設定している場合はこちら' (Click here if you have two-factor authentication set up). Below the input fields is a blue 'ログイン' (Login) button.

- ③ クライアントアプリ(Authy)に表示されている6桁のワンタイムパスワードを確認し、②のワンタイムパスワード欄に入力し、[ログイン] をクリックします。



- ④ 正常にログインできれば、二要素認証は正常に設定されています。

The screenshot shows the control panel interface for Bizメール&ウェブ Bizネス. The top navigation bar includes links for Home, Mail, and Files, along with a user profile dropdown. A left sidebar contains menu items for Administrator Settings, Users, Mail Server, Web Server, Applications, System, and Administrator Support. The main content area is divided into two sections: 'サーバー基本情報' (Server Basic Information) and 'リソース使用状況' (Resource Usage Status).

サーバー基本情報	
契約プラン	ビジネス
アカウント名	mw2*****
収容サーバー	sh1-buprod****vmhosts.net
IPアドレス	192.0.2.0
ドメイン名	example.co.jp
ネームサーバー	ns-204.dns.jp-e1.cloudn-service.com. ns-205.dns.jp-w1.cloudn-service.com. ns-206.dns.us-e1.cloudn-service.com.

The 'リソース使用状況' section shows 'ディスク使用量' (Disk Usage) as 53MB / 80000MB (Remaining: 79947MB) with a gauge chart indicating 0% usage.



注意

- ・管理者以外のユーザーは、コントロールパネルへの二要素認証の設定は利用できません。
- ・コントロールパネルの二要素認証を有効化している場合、クライアントアプリ (Authy) を紛失・破損すると、ログインできなくなります。その際は管理者のパスワード再発行手続きが必要になりますので、ご注意ください。
- ・ワンタイムパスワードの有効期限は30秒です。

1.3.10 二要素認証の無効化

二要素認証設定内（1.3.2参照）、下記赤枠のボタンより可能です。

The screenshot shows the '二要素認証設定' (Two-Factor Authentication Settings) page. It contains the following text:

コントロールパネルへのログイン時にワンタイムパスワードを利用した二要素認証を設定できます。

二要素認証が有効になっています。

初期設定キー：*****

誤ってクライアントアプリを削除したり、インストール済の端末を紛失や交換すると、ログインできなくなりますのでご注意ください。

At the bottom, there is a red-bordered button labeled '二要素認証を無効化する' (Disable Two-Factor Authentication).

2 メールサーバー

この章では、コントロールパネルの「メールサーバー」グループに含まれる機能のうち、管理者限定の機能についてご案内いたします。

2.1 メールサービスの概要

2.2 メールアドレス(旧：メールエイリアス)

2.3 メーリングリスト

2.4 受信サーバー設定(メールセキュリティなしの場合)

2.5 メール分析



2. メールサーバー

2.1 メールサービスの概要

2.1.1 メールサーバー機能

本サービスのメールサーバー機能は、以下内容となります。

機能	内容
提供プロトコル	SMTP (port587) SMTP over TLS (port587) POP3(port110) POP3s(POP3 over SSL: port995) IMAP(IMAP4: port143) IMAPs(IMAP over SSL: port993)
インターフェース	コントロールパネル上のウェブメール POP3/IMAP SMTP(認証方式は SMTP Auth)

メールサーバー

2.1.2 メール送受信の暗号化

次に示すプロトコルを使用いただくことで、Bizメール&ウェブ ビジネスサーバーとメールソフトとの間で、メールの送受信を暗号化することが可能です。

- POP over SSL (Port 995)
- IMAP over SSL (Port 993)
- SMTP over TLS (Port 587)



- 上記設定に対応したメールソフトをご利用いただくことが必要となります。メールソフトの設定については、「メール設定マニュアル」をご参照ください。
- 上記プロトコルを使用する場合、本サービスにインストール済みの証明書の利用が必要となります。その為、お客さまご利用メールソフト内のメールサーバー欄に「ユーザID(管理者).bizmw.com」の記述が必要となります。



2.2 メールアドレス（旧:メールエイリアス）

2.2.1 メールアドレスの概要

メールアドレスとは、メールアドレスに別名(エイリアス)を付与する機能のことです。本サービスにおいて、管理者およびメールの権限を付与されている利用者には、次の文法でメールアドレスが付与されています。

■管理者

ユーザID(管理者用)@DOMAINNAME

■利用者

ユーザー名@DOMAINNAME

ご利用のアカウントが「mw2*****」使用するドメイン名が「example.co.jp」の場合、ご契約の時点では管理者のメールアドレスには「mw2*****@example.co.jp」が設定されています。

上記アドレスに、メールエイリアス「example01」を付与すると、管理者「mw2*****@example.co.jp」には「example01@example.co.jp」という別名(エイリアス)が付与されます。

上記の設定後、「example01@example.co.jp」宛にメールを送ると「mw2*****@example.co.jp」に届くようになります。



注意

- メールエイリアスを付与した場合も、コントロールパネルへのログインは(エイリアスではなく)「ユーザーID」と「ユーザーIDに対応するパスワード」で行ってください。
- メールソフト利用の場合も同様で、サーバーへのログイン情報の設定は、「ユーザーID」と「ユーザーIDに対応するパスワード」となります。
- 「アカウントに登録されるメールアドレス」や「メールエイリアス」は、@以前の部分が同一なものは、複数の登録ができません。

2.2.2 メールアドレスの設定方法

メールの権限が付与されている登録済みユーザーに、エイリアス(別名)を設定する方法を以下にご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、「メールアドレス」をクリック後、「新規作成」ボタンをクリックします。



- ② メールエイリアスを付与したいユーザーを「受信者(ユーザーID)」のプルダウンから選択し、「メールアドレス」欄にメールエイリアス名を入力し「保存」ボタンをクリックします。



- ③ メールアドレス追加のメッセージが表示され、該当メールアドレスが作成されていれば完了です。

管理者設定 / メールサーバー / メールアドレス

example @ example.co.jp を追加しました

✕ メールアドレス

メールアドレスの作成・削除および設定ができます。
追加されたアドレス宛に受信したメールは設定された受信者のメールボックスに保存されます。

新規作成

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1 絞込検索

<input type="checkbox"/>	メールアドレス	受信者 (ユーザーID)	操作
<input type="checkbox"/>	example	mw2*****	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>

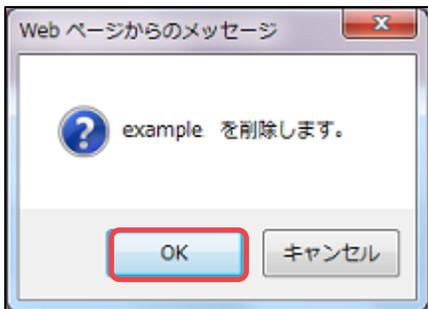
2.2.3 メールアドレスの削除方法

メールアドレスの削除手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、「メールアドレス」の画面を開き、「メールアドレス」欄から削除したいメッセージのチェックボックスにチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
※上部の[削除] ボタンでも削除は可能です。



- ② 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ 「選択したエイリアスは削除されました。」とメッセージが表示されましたら、削除完了です。



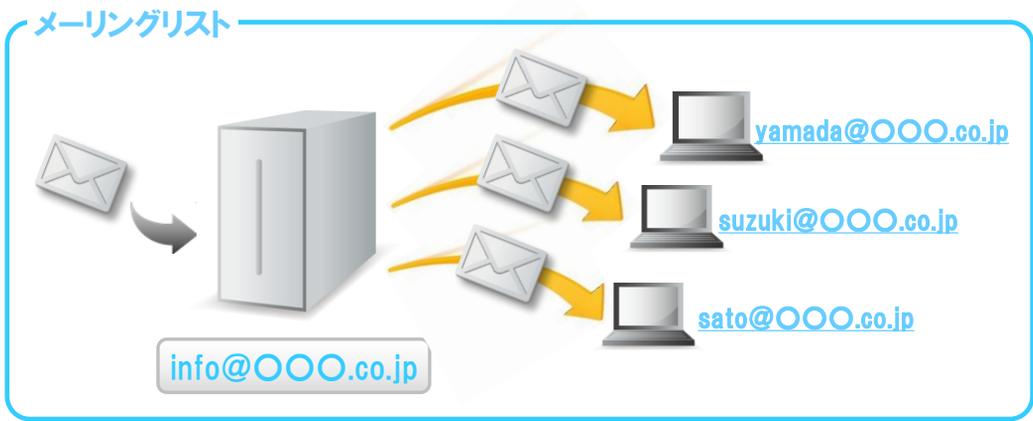


2.3 メーリングリスト

2.3.1 メーリングリストの概要

メーリングリストとは、複数のメールアドレスに向けて一斉にメールを配信する機能のことです。

たとえば、組織内の「営業担当」「開発担当」といったチームに対してそれぞれメーリングリストを作成し、そこに該当するメンバー全員のメールアドレスを登録すると、1つのメールアドレスにメールを送信する操作で、登録メンバー全員に向けてメールを送信できます。



本サービスでは、管理者がコントロールパネルにログインすると、メーリングリストの管理機能をご利用いただけます。

本サービスで作成できるメーリングリストの概要は以下になります。

基本機能	
作成できるメーリングリスト数	最大5件
メーリングリストに登録できるアドレス数	最大20メールアドレス
送信可能なメールのサイズ	添付ファイルを含めて、最大約5MB

注意

- 登録できるアドレス数は、他のお客さまに影響が発生しないよう20アドレスに制限しています。
- メール送信時の宛先件数は、メーリングリスト内に登録されているアドレスも含めて20件までとなります。
- メーリングリストの中にメーリングリストのアドレスを登録すると、正常に動作しません。

2.3.2 メーリングリストの作成

メーリングリストの機能をご利用になるには、メーリングリストの作成とメンバー登録の2つの設定が必要となります。以降で設定手順についてご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より「メーリングリスト」をクリック後、「新規作成」ボタンをクリックします。



- ② メーリングリストの作成画面が表示されますので、入力を行い、「保存」ボタンをクリックしてください。設定項目については、次ページを参照してください。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / 新規作成

メーリングリスト作成

新しいメーリングリストを作成します。

メーリングリスト名 [1]

[] @example.co.jp

件名のプレフィックス [2]

通し番号の表示 [3]

投稿可能なメンバー

メンバーであれば誰でも投稿可能 [4]

メールの返信先

メーリングリスト名 [5]

保存 キャンセル

設定項目

項番	項目	説明	
1	メーリングリスト名	登録するメーリングリスト名を入力します。	
		【使用できる文字種】 半角英小文字 (a-z) 、半角の数字、(0-9) 、一部の半角記号(- _ .) 最大64文字	
2	件名のプレフィックス	メーリングリストに投稿したとき、件名の先頭に追加される文字列を指定します。	
		【使用できる文字種】 半角英数字(a-z, A-Z, 0-9) , 半角記号(# [] / ¥ < >を除く) 最大64文字	
3	通し番号の表示	このチェックボックスを ON に設定すると、メーリングリストに投稿したとき、件名の先頭に「通し番号」を付与します。 「通し番号の表示」で、通し番号を表示しない場合でも、番号のカウントは実施されます。	
4	投稿可能なメンバー	メーリングリストへの投稿を許可する送信者を指定します。	
		メンバーであれば誰でも投稿可能	メーリングリストに登録されているメールアドレスから、メーリングリストへの投稿が可能になります。
		管理者に承認されたメンバーのみ	登録済みのメールアドレスで、「許可された投稿者」に指定されたメールアドレスのみ、メーリングリストへの投稿が可能になります。
		メンバーに関わらず誰でも投稿可能	メーリングリストへの登録状況や権限の付与に関係なく、あらゆるアドレスから、メーリングリストへの投稿が可能になります。
5	メールの返信先	メーリングリストから配信されたメールの返信先を選択します。	
		メーリングリスト名	メーリングリストが指定されます。
		送信者	メーリングリストへの投稿者が指定されます。
		特定のアドレス	プルダウン下のテキストボックスに入力されたメールアドレス宛に送信されます。
			【使用できる文字種】 半角英小文字 (a-z) 、半角の数字、(0-9) 、一部の半角記号 (- _ .) 最大64文字



注意

- ・メーリングリスト名は、登録済のユーザーIDと重複して作成することはできません。
- ・メーリングリスト名に英大文字を使用することはできません。
- ・件名のプレフィックスを空欄にすることはできません。

- ③ 「リスト名が追加されました。」と表示され、「メーリングリスト」の項目に該当のアドレスが追加されましたら完了です。
引き続き、作成したメーリングリストに、メールアドレスの登録を行います。



- ④ メーリングリスト管理画面で、メールアドレスの登録を行いたいメーリングリストの [メンバー] をクリックします。



- ⑤ 「メンバー設定」の画面が表示されましたら、「メンバーの登録」欄に登録したいメールアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックします。



- ⑥ 「受信者が追加されました。」と表示され、「メンバー」欄に登録したメールアドレスが表示されましたら完了です。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / メンバー管理

受信者 'example1@example.co.jp' が追加されました。
[メーリングリスト一覧に戻る](#)

メンバー設定

メーリングリストへのメンバー登録・削除と、メンバー毎の投稿権設定ができます。

メーリングリスト名	example
メンバー数	1 / 20
件名のプレフィックス	mailinglist
通し番号	0

メンバー（メールアドレス）の登録

リストに登録するメールアドレスを入力

投稿権をつける

メンバーリスト

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	メンバー（メールアドレス）	投稿権限	操作
<input type="checkbox"/>	example1@example.co.jp	<input type="button" value="投稿可"/>	<input type="button" value="✕ 投稿権をはずす"/> <input type="button" value="✕ 削除"/>

項目	説明
メールアドレスの入力	メールアドレスを入力し、「登録」ボタンをクリックすると、該当のメーリングリストにメールアドレスが追加できます。 「投稿権をつける」にチェックを入れると、追加するメールアドレスに「許可された投稿者」の権限を付与することができます。
	【使用できる文字種】 半角英字(a-z) , 半角数字(0-9) , 一部の半角記号(_ - .) 最大64文字

 アドバイス

登録するメールアドレスは、本サービスでご契約のドメイン以外のメールアドレスでも登録可能です。

 注意

- ・メールアドレスを登録される際に、メールがループしないようご注意ください。ループとなった場合、エラーとなり正しく送信されない可能性があります。
- ・メーリングリストの中にメーリングリストのアドレスを登録すると、正常に動作しません。
- ・登録するメールアドレスはお間違えのないように入力ください。

2.3.3 メーリングリストの設定変更

登録済みのメーリングリストの編集手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より [メーリングリスト] をクリック後、設定変更を行うメーリングリストの [設定] ボタンをクリックします。



- ② メーリングリストの編集画面が表示されますので、設定を変更し、[保存]ボタンをクリックしてください。
各項目の内容については、「2.3.2メーリングリストの作成」をご参照ください。



注意

一度作成されたメーリングリストの名前を変更することはできません。該当のメーリングリストを削除の上、再作成が必要です。

2.3.4 メーリングリストメンバーの編集

登録済みのメーリングリストメンバーの編集手順をご説明します。

(1) 投稿権の編集

メーリングリストの設定で、「メンバーであれば誰でも投稿可能」「管理者に承認されたメンバーのみ」が選択されている場合「メンバー設定」画面で、「投稿権限」が「投稿可」のメールアドレスからのみ、投稿が可能となります。「投稿権の有無」は、「操作」の[投稿権をはずす][投稿権をつける]ボタンをクリックして切り替えます。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / メンバー管理

[メーリングリスト一覧に戻る](#)

メンバー設定

メーリングリストへのメンバー登録・削除と、メンバー毎の投稿権設定ができます。

メーリングリスト名	example
メンバー数	1 / 20
件名のプレフィックス	mailinglist
通し番号	0

メンバー（メールアドレス）の登録

リストに登録するメールアドレスを入力

投稿権をつける

メンバーリスト

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input type="checkbox"/>	メンバー（メールアドレス）	投稿権限	操作
<input type="checkbox"/>	example1@example.co.jp	<input type="button" value="投稿可"/>	<input type="button" value="✕ 投稿権をはずす"/> <input type="button" value="✕ 削除"/>

(2) メールアドレスの削除

登録済みのメールアドレスを受信者リストから削除するには、「メンバー設定」画面で該当のメールアドレスのチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。※上部の[削除]ボタンでも削除は可能です。

管理者設定 / メールサーバー / メーリングリスト / メンバー管理

[メーリングリスト一覧に戻る](#)

メンバー設定

メーリングリストへのメンバー登録・削除と、メンバー毎の投稿権設定ができます。

メーリングリスト名	example
メンバー数	1 / 20
件名のプレフィックス	mailinglist
通し番号	0

メンバー（メールアドレス）の登録

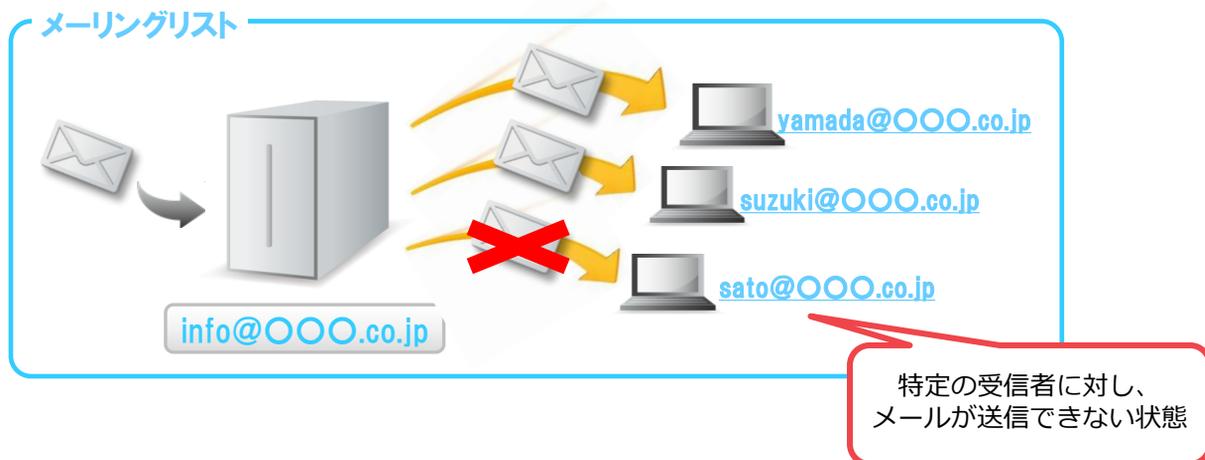
メンバーリスト

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

<input checked="" type="checkbox"/>	メンバー（メールアドレス）	投稿権限	操作
<input checked="" type="checkbox"/>	example1@example.co.jp	<input type="button" value="投稿可"/>	<input type="button" value="✕ 投稿権をはずす"/> <input type="button" value="✕ 削除"/>

2.3.5 メール不達時の動作

メールアドレスの登録ミスや削除などにより、メーリングリストの受信者に対して正常にメールが送信されない場合メーリングリストの受信メンバーから該当アドレスが自動的に停止されます。



■メンバー削除の流れ

メール送信時に失敗した場合は、その回数をカウント、一定数に達した場合該当アドレスへの配送を一時停止し、警告メールを7日おきに3回送付します。

■ 停止アドレスの復元について

アドレスの一時停止時、コントロールパネルの受信者リスト画面には「一時停止中」の文字が表示されます。

該当アドレスを復元にするには以下いずれかの作業を実施してください。

停止アドレスの復元	
[1] 受信者による作業	<p>該当アドレス宛に送付された警告メールに対し、件名や内容を変更せずにそのまま返信します。 ※この方法は、受信者が警告メールを受信できた場合のみ可能です。</p> <p><例> 警告メール内容サンプル<</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>salesメーリングリストでの会員権が、 一時的に停止されています。 停止解除の操作を行わなければ、このリストからのメールは受け取れません。 あと、3回、これと同じ通知を発送しますが、それ以降は退会措置をとらせていただきます。</p> <p>停止を解除するには、このメールに返信（ただし、Subject: 行は変更しないでください）してください。</p> <p>問題や質問があれば、リスト管理者宛にご連絡ください。</p> </div>
[2] 管理者による作業	<p>コントロールパネルの「受信者リストの編集」画面より、該当メールアドレスをいったん受信者から削除した後再登録してください。</p>



アドバイス

受信者の一時停止時とメンバー削除時には、管理者宛にメールで通知されます。

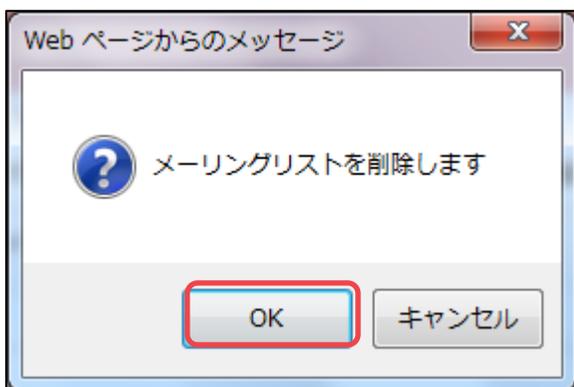
2.3.6 メーリングリストの削除

登録済みのメーリングリストの削除手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より「メーリングリスト」をクリック後、メーリングリスト管理が表示されましたら、削除したいメーリングリストのチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。※上部の「削除」ボタンでも削除は可能です。



- ② 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 「選択されたリストは削除されました。」とメッセージが表示されましたら、削除完了です。





2.4 受信サーバー設定(メールセキュリティなしの場合)

2.4.1 受信サーバー設定の概要

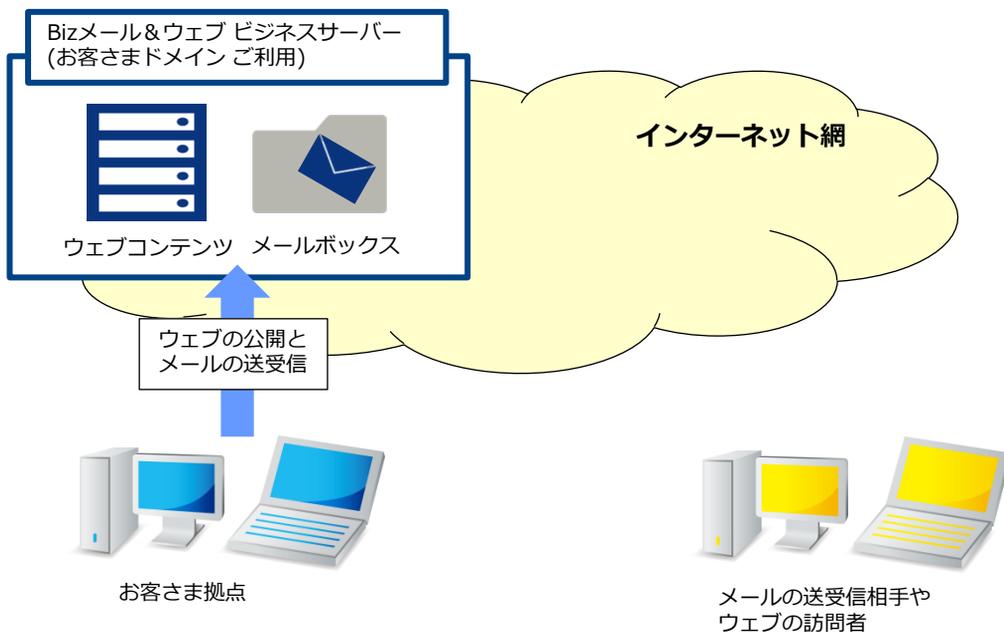
受信サーバー設定は、Bizメール&ウェブ ビジネスサーバーのメール受信方法を変更する機能です。

メールサーバーを外部で利用する場合、本機能を利用することによりBizメール&ウェブ ビジネスサーバーにてメールを受信しないよう設定することができます。

※本機能は、オプションサービス「メールセキュリティ」をご使用でない場合に限り有効になります。

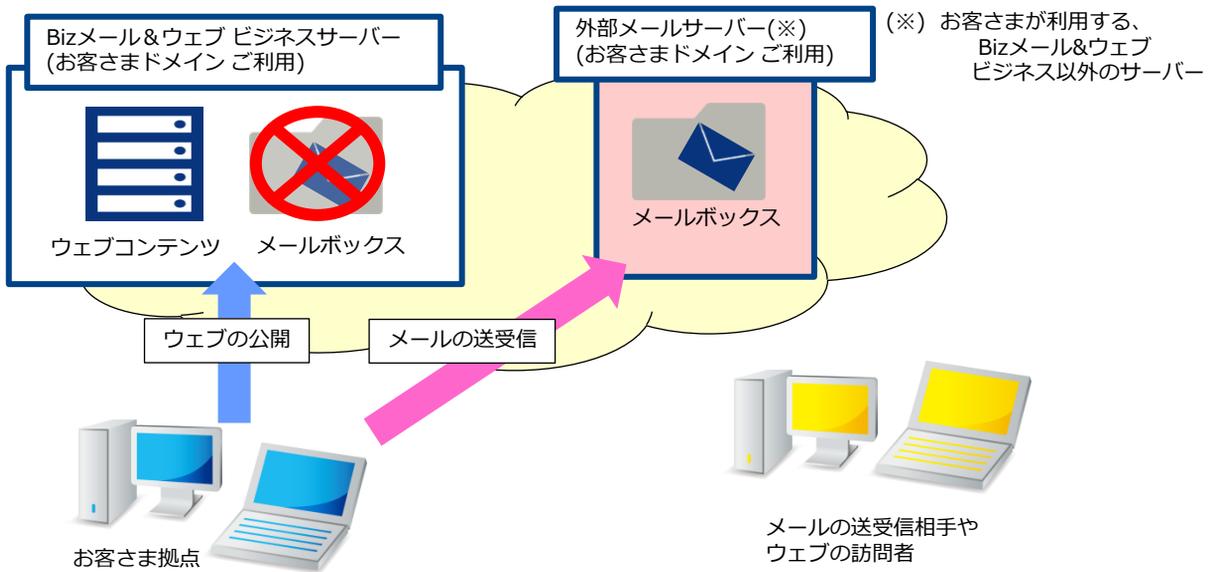
■ 通常のご利用時

Bizメール&ウェブ ビジネスでは、標準でウェブコンテンツおよびメール送受信が利用できるよう設定されております。このまま利用される場合には、設定の変更は必要ありません。



■ 設定変更が必要な場合

Bizメール&ウェブ ビジネス上でウェブサイトを活用し、**メールは外部メールサーバー(※) で運用する場合は設定の変更が必要です。**



メールサーバー

💡 アドバイス

外部のメールサーバーを利用する場合、別途お客さまにてDNSサーバーをご用意いただき、MXレコードの設定を変更していただく必要があります。

2.4.2 受信サーバー設定の削除(domainsの削除)

本機能で「受信サーバー設定の削除」を実行すると、外部のメールサーバーでメールの受信ができるようになります。設定手順を以下でご説明します。

※設定にあたり、以下の注意事項を必ずご確認ください。



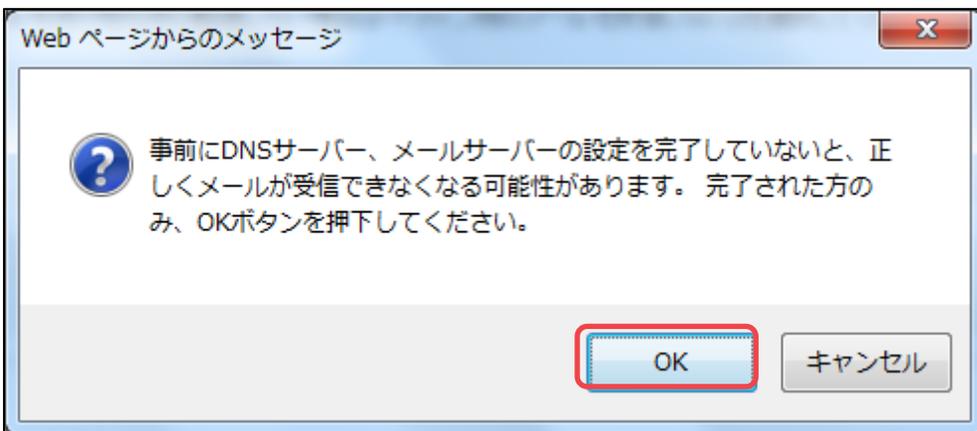
注意

- ・誤って本設定を実施した場合、本サービスのサーバーでメールの受信ができなくなります。受信サーバー設定の削除を実行する際は内容をよくご理解いただいたうえ、十分ご注意ください。
- ・外部のメールサーバーを利用する場合、Bizメール&ウェブ ビジネスのコントロールパネルから作成したメールアドレスを持つユーザーは無効化しないでください。メールの送信に失敗することがあります。Bizメール&ウェブ ビジネス上のメールアドレスが不要な場合は、無効化せず削除をお願いします。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より「受信サーバー設定」をクリックします。サーバー受信設定の画面が表示されましたら、「ドメイン宛のメールを受信しない」を選択し、「変更」ボタンをクリックします。



- ② 削除の確認の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



③ 「設定を保存しました。」と表示されましたら完了です。

管理者設定 / メールサーバー / 受信サーバー

設定を保存しました。

受信サーバー設定

外部のメールサーバーで同一のドメインを利用する場合などにメールを受信しないで転送するように設定できます。
このサーバーではメールを受け取らずに転送したい場合は「ドメイン宛のメールを受信しない」を選択してください。

受信サーバー設定

- ドメイン宛のメールを受信しない
- ドメイン宛のメールを受信する

変更

2.4.3 受信サーバー設定の追加(domainsの追加)

本機能で「受信サーバー設定の追加」を実行すると、Bizメール&ウェブ ビジネスサーバーでメールの送受信ができるようになります。メールサーバーを外部利用からBizメール&ウェブ ビジネスサーバーへ変更したい場合や、サーバー受信設定を削除した後復元したい場合に実施してください。

設定手順を以下でご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より「受信サーバー設定」をクリックします。サーバー受信設定の画面が表示されましたら、「ドメイン宛のメールを受信する」を選択し、「変更」ボタンをクリックします。



- ② 「設定を保存しました。」と表示されましたら完了です。





2.5 メール分析

2.5.1 メール分析の概要

設定したキーワードをもとに集計と分析を行い、結果を表示させることによって業務推進やリスクなどの把握が可能です。

項目	種類	説明
傾向分析	分析ワード出現数の推移	設定した分析ワードが含まれていた出現数の推移を表示します。
	関連ワード	分析ワードのいずれかと一緒に出現する語句を関連ワードとして表示します。
	関連ワードの出現分布	関連ワードの出現数の分布をカレンダーで表示します。
ページ分析	最近の関連メール一覧	分析ワードを含むメールの概要を表示します。 (日時・送信者・宛先・件名・マッチ分析ワード)
訪問者分析	メール送受信の関係者マップ	分析ワードを含むメールの送受信関係図を表示します。

メールサーバー



アドバイス

各項目の詳細な解説は、「解説」をクリックする事で確認する事ができます。



注意

- ・メール分析ツールをアンインストールすることによりそれまで蓄積した分析データも削除されます。
- ・本機能はお客様のメール利用方法によりデータの表示分析結果が異なります。また参考値となるためデータの精度を保証するものではありませんので、ご了承ください。

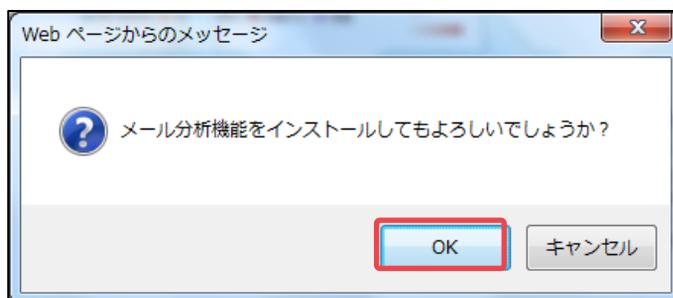
2.5.2 メール分析のインストール

メール分析のインストール方法を以下にご説明します。

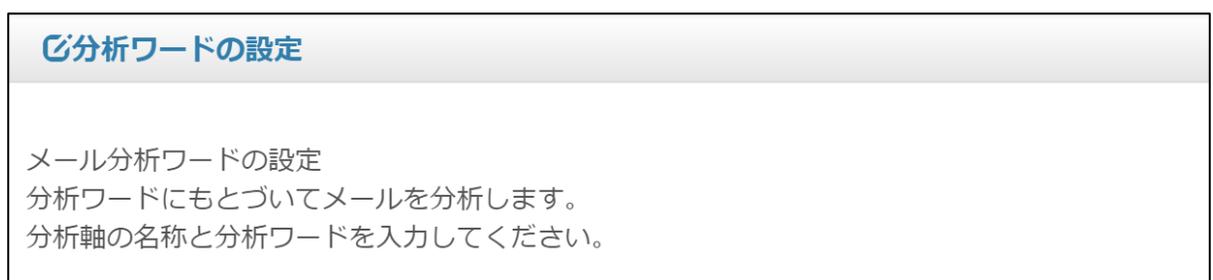
- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、[メール分析] をクリックします。メール分析の画面が表示されましたら、MySQLのパスワードを入力し、[インストール] ボタンをクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ 分析ワードの設定画面が表示されましたら完了です。



2.5.3 メール分析の設定

メール分析の設定方法を以下にご説明します。

- ① メール分析設定画面ページが表示されましたら入力を行い、[保存] ボタンをクリックしてください。設定項目については、次ページを参照してください。
※インストール直後のページには関連ワード分析設定は表示されません。
「2.5.4 分析軸の追加」より設定を行ってください。

分析ワードの設定

分析軸の名称設定 [1]

分析ワード設定 [2]

受信メール本文中に設定された分析ワードが出現した場合にメールが分析されます。
分析ワードは1つの分析軸につき5個まで設定できます。

分析ワード

関連ワード分析設定 (オプション) [3]

設定された分析ワードと一緒に出現する頻出ワードを取得し、関連ワードとして分析結果に表示します。
一般的な語句に加えて、ウェブやニュースなど出る新語や流行語も関連ワードとして取得したい場合は、
下記の「追加の固有名詞辞書を利用する」にチェックを入れてください。

分析ワード辞書設定

追加の固有名詞辞書を利用する

分析対象ユーザー選択 [4]

下記で選択されたユーザーを対象にメール着信時に分析が行われます。
分析軸ごとに対象ユーザーを選択できます。

対象ユーザー 全て選択

mw2*****

- ② 「分析軸の保存が完了しました。」と表示され、「分析軸」欄に登録した名称が表示されましたら完了です。

分析軸の保存が完了しました。

メール分析設定

分析軸と分析ワードを設定します。(分析軸は5つまで設定が可能です)

分析軸と分析ワードの追加

<input type="checkbox"/>	分析軸	作成日時	設定
<input type="checkbox"/>	example	2018-06-12 10:31:39	<input type="checkbox"/> 分析ワード編集 <input style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 2px 5px;" type="button" value="削除"/>

設定項目

項番	項目	説明
1	分析軸の名称設定	登録する分析軸名を入力します。
		【登録可能数】 5つまで
2	分析ワード設定	受信メール本文中から抽出するワードを入力します。
		【登録可能数】 1つの分析軸につき5つまで
3	関連ワード分析設定	登録した分析ワードと共に出現するワードを取得し、関連ワードとして分析結果に表示します。 ウェブやニュースなどが出る新語、流行語も関連ワードとして取得したい場合は、「追加の固有名詞辞書を利用する」にチェックを入れてください。
4	分析対象ユーザー選択	選択されたユーザーを対象にメール着信時に分析が行われます。

2.5.4 分析軸の追加

メール分析軸の追加方法を以下にご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、「メール分析」をクリック後、右上の「設定」ボタンをクリックします。



- ② メール分析設定画面にて、「分析軸と分析ワードの追加」ボタンをクリックしてください。各項目の内容については、「2.5.3 メール分析の設定」をご参照ください。



2.5.5 分析軸の削除

メール分析軸の削除方法を以下にご説明します。

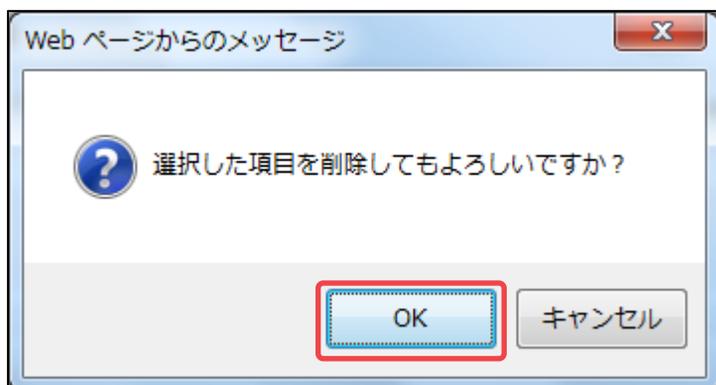
- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、[メール分析] をクリック後、右上の [設定] ボタンをクリックします。



- ② メール分析設定画面が表示されましたら、該当の分析軸名チェックボックスにチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



④ 「分析軸を削除しました。」とメッセージが表示されましたら完了です。

分析軸を削除しました。

☰ メール分析設定

分析軸と分析ワードを設定します。(分析軸は5つまで設定が可能です)

分析軸と分析ワードの追加

<input type="checkbox"/>	分析軸	作成日時	設定
分析軸が設定されていません。「分析軸と分析ワードの追加」メニューから設定を行ってください。			

キャンセル

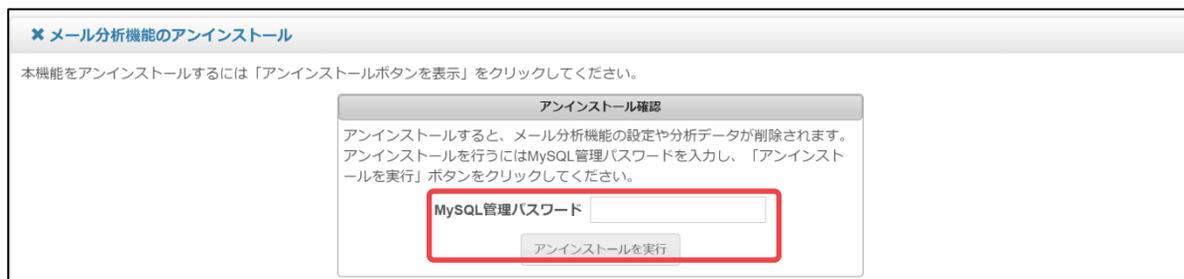
2.5.6 メール分析のアンインストール

メール分析のアンインストール方法を以下にご説明します。

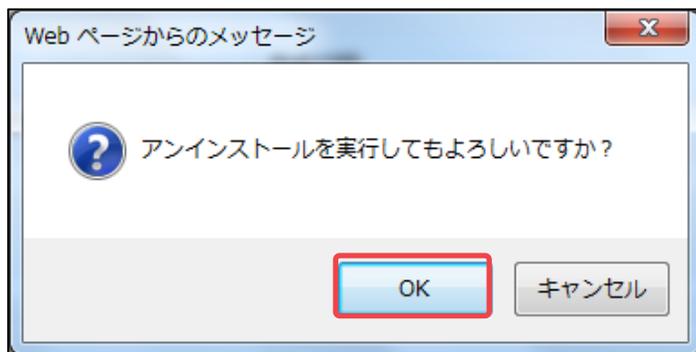
- ① コントロールパネルの左メニュー「メールサーバー」より、[メール分析] をクリック後、右上の [設定] ボタンをクリックします。



- ② メール分析設定画面より [アンインストールボタンを表示] をクリックし、MySQL管理者パスワードを入力し [アンインストールを実行] をクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



- ④ 初期インストール画面が表示されましたら完了です。

3 ウェブサーバー

この章では、本サーバー内のディレクトリ構成の概要、及びコントロールパネルの「ウェブサーバー」グループに含まれる機能のうち、管理者限定の機能についてご案内します。

3.1 ディレクトリ構成

3.2 SSL/TLS証明書

3.3 サイトアクセス制限

3.4 サイト編集権限

3.5 サイトバックアップ

3.6 ウェブサイト分析

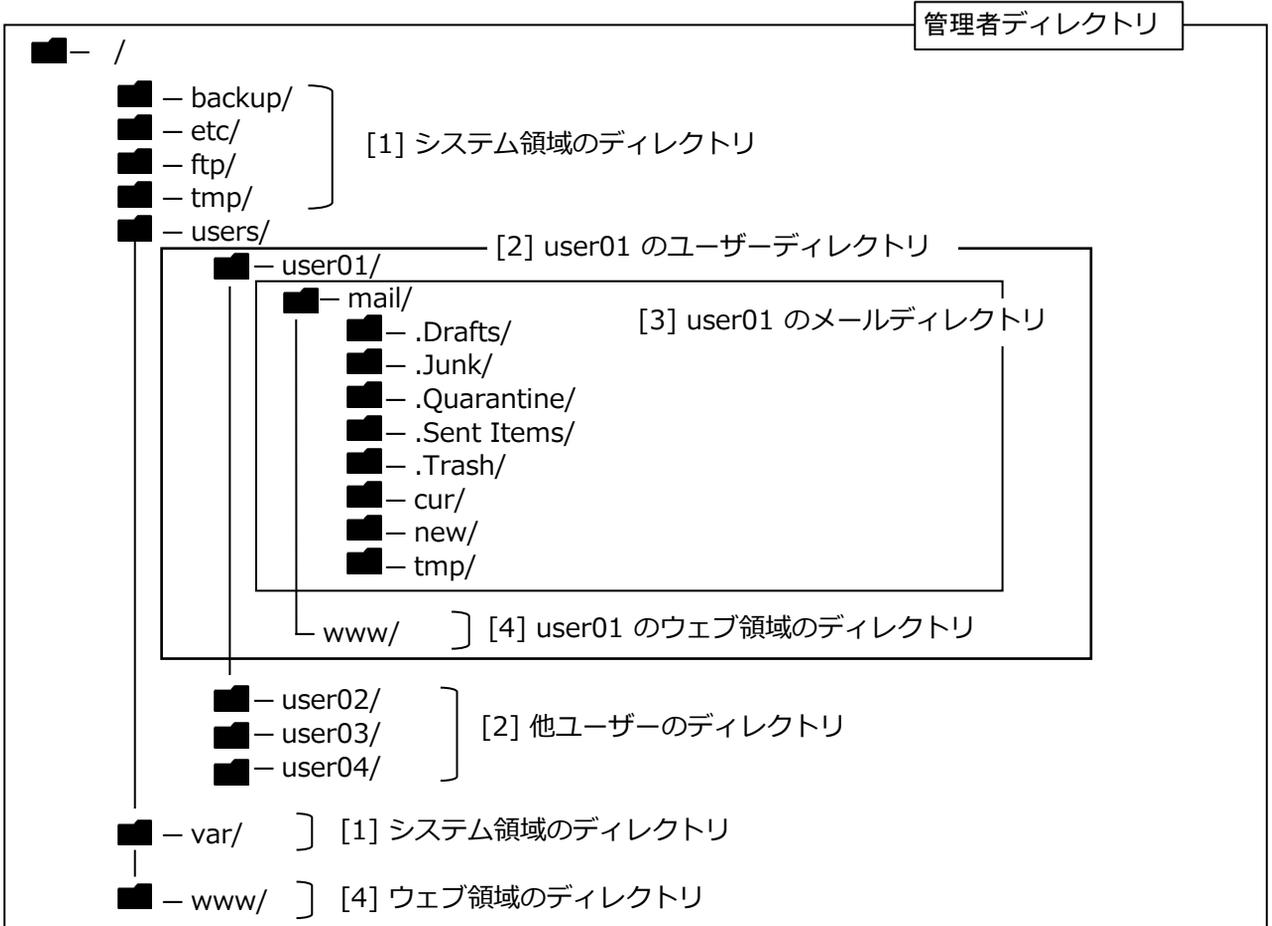


3. ウェブサーバー

3.1 ディレクトリ構成

3.1.1 ディレクトリの概要

本サーバー内のディレクトリ構成を次に示します。



- **システム領域のディレクトリ [1]**
サーバー運用上、必要なファイルが格納されるディレクトリです。
- **ユーザー領域のディレクトリ [2]**
利用者 (ユーザー) 固有のファイルが格納されるディレクトリです。
- **メールディレクトリ [3]**
利用者 (ユーザー) のメールが格納されるディレクトリです。
- **ウェブ領域のディレクトリ [4]**
ウェブのコンテンツファイルをアップロードするディレクトリです。



アドバイス

- ユーザID(管理者用) でログインした場合は、全ての領域にアクセス可能です。
- 利用者のユーザーIDでログインした場合は、/user/<利用者のユーザーID>以下のディレクトリのみ参照可能です。



注意

Var配下の領域に関しては、お客さまにて独自に操作は行えません。

3.1.2 システム領域のディレクトリ

システム領域の各ディレクトリについてご説明します。

- /
システム領域の最上位のディレクトリ指定は / になります。
- /backup/
「ウェブサーバー」の「サイトバックアップ」でバックアップしたファイルが格納されます。
「サイトバックアップ」の詳細に関しては、「3.5 サイトバックアップ」を参照してください。
- /etc/
各種アプリケーション(個別ルールなど) の設定ファイルが格納されています。
- /tmp/
サーバー内で稼動する各種アプリケーションが、一時ファイルを作成するディレクトリです。
- /var/
主にMySQL関連のデータが格納されています。



注意

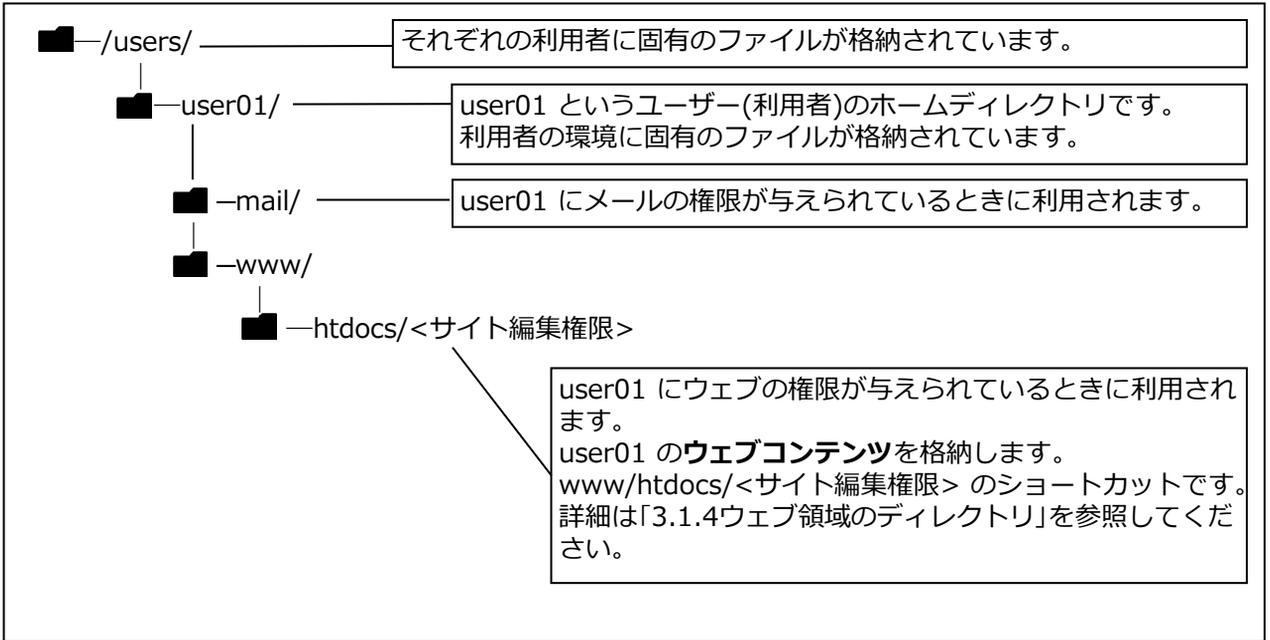
システム領域のディレクトリ、もしくはディレクトリ内のファイルを誤って削除・編集した場合、システムが正常に動作しなくなることがあります。FTP や、コントロールパネルの各種ツールにある「ファイルマネージャ」を使用してシステム領域のディレクトリにアクセスする場合には、十分に注意してください。

誤って削除・編集をして、システムの修復が必要になった場合は、ファイルマネージャの「復元ファイル」からファイルを復元できる可能性があります。

※「ファイルの復元」で復元されるファイルは、本サービスの日次バックアップ時点(午前1時から5時ごろ)のものになります。「復元ファイル」についての詳細は、利用者マニュアルを参照してください。

3.1.3 ユーザ領域のディレクトリ

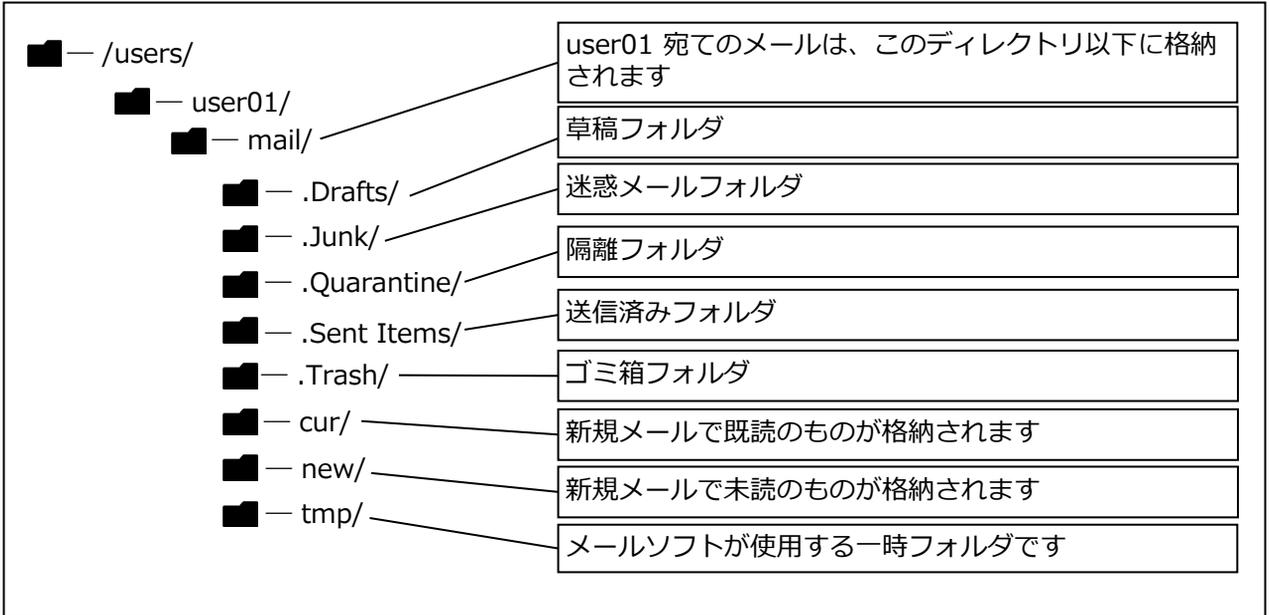
ユーザー領域の各ディレクトリについてご説明します。



ウェブサーバー

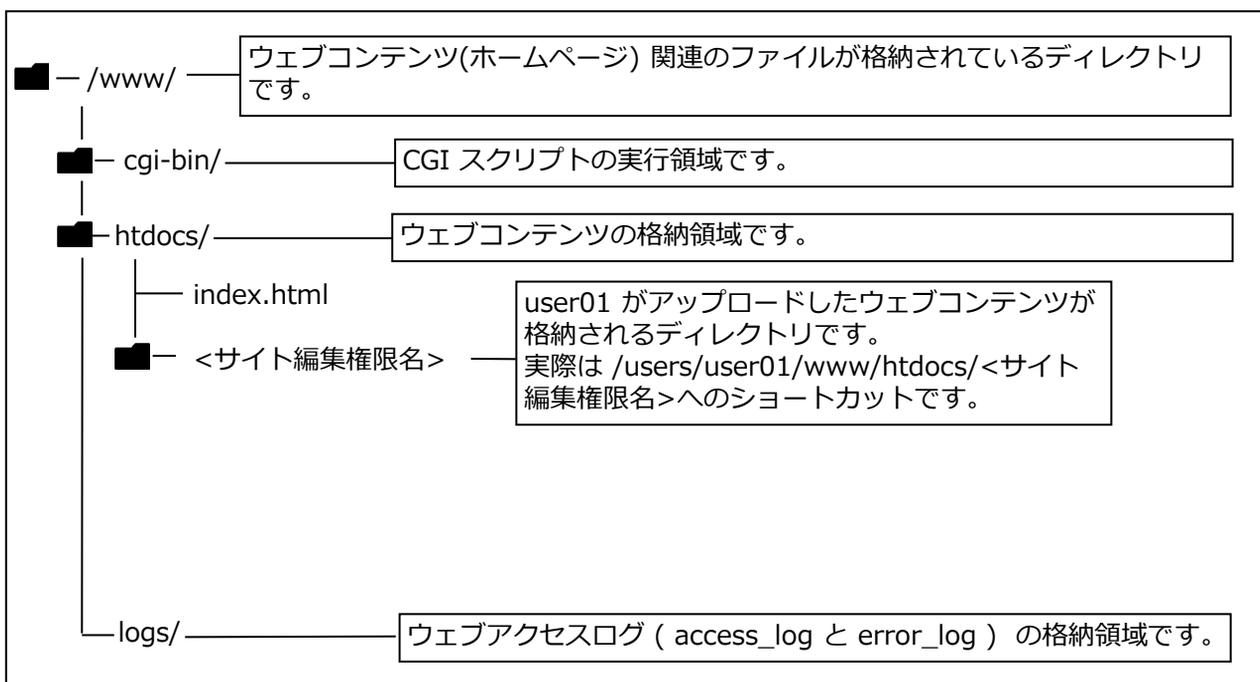
3.1.4 メールディレクトリ

メールディレクトリ内の各ディレクトリについてご説明します。



3.1.5 ウェブ領域のディレクトリ

ウェブ領域の各ディレクトリについてご説明します。



注意

- 各ディレクトリを削除された場合、正常にウェブコンテンツが表示されなくなりますので、削除しないようお願いいたします。
- logsディレクトリを削除された場合、ウェブに関するログが正しく生成されなくなりますので、削除しないようお願いいたします。

- サイト権限を持つ利用者のディレクトリについて
 サイト権限を持つ利用者exampleが作成された場合、利用者のユーザーディレクトリに、ウェブコンテンツを格納する領域が作成されます。
- example のウェブコンテンツディレクトリ

/users/ example /www/htdocs/<サイト権限名>



また、 **/www/htdocs/<サイト権限名>** というシンボリックリンクが 作成されます。このショートカットは、 **/users/ example /www/htdocs/<サイト権限名>** へ格納されます。

アドバイス

サイト権限名が「test」、アップロードしたウェブコンテンツ名が「index.html」の場合、<http://<お客さまドメイン>/test/>で閲覧することができます。



3.2 SSL/TLS証明書

3.2.1 SSL/TLS証明書の概要

本サービスでは、お客さまのウェブサイトを SSL 通信でご利用いただくことができます。

SSL はインターネット上で安全にデータの送受信を行うための暗号化技術です。SSL 通信とデジタル証明書を組み合わせることにより、お客さまサーバーとウェブブラウザ間で送受信されるデータを保護し、ウェブサイトから送信されるデータの送信元情報（ウェブサイトの企業実在証明 *1）や、そのデータが送信中に改竄されていないかどうかを確認できます。

*1 グローバルサイン社のクイック認証SSLは企業実在証明はありません。

本サービスのサーバーには、**ユーザID(管理者).bizmw.com**（例：biz123.bizmw.com）に対応する証明書が標準でインストールされています。このため、クライアントコンピュータと各アカウントのコントロールパネルとの間では、証明書を活用した https による通信が可能です。



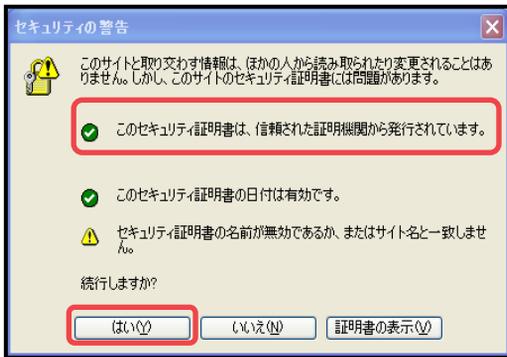
注意

インストール済みの証明書は、bizmw.comの証明書であるため、お客さまが作成したウェブコンテンツの有効性やサイト運用する組織の信頼性を保証するものではありません。

例：https://www.example.jp/（お客さまドメイン）

デジタル証明書をインストールしていない場合は、上記URLにアクセスするとセキュリティの警告が表示されます。

（ただし、「はい」で続行すれば、暗号化通信は可能です）



お客さまドメインに対応するデジタル証明書を購入し、サーバーにインストールすることで、お客さまドメインでhttpsプロトコルによる通信環境を確保し、第三者による保証を受けたサイトを運用することができます。

※証明書のインストールが完了しますと、お客さまコントロールパネルへアクセスする為のURLが変更となりますのでご注意ください。

【インストール前】 https://**ユーザID(管理者)**.bizmw.com/ControlPanel/



【インストール後】 https://**お客さまドメイン名**/ControlPanel/

3.2.2 SSL/TLS証明書の利用可能なドメイン形態

本サービスでは、次に示す証明書をご使用いただけます。

ドメインタイプ	内容	サーバー証明書	月額費用
本サービスにて用意したホスト名	あらかじめ設定されたホスト名でSSLアクセスが可能です。 https://ユーザID(管理者).bizmw.com/	GMOグローバルサイン株式会社	無料
独自ドメイン名(ホスト名)(*1)	お客様の独自ドメイン名(ホスト名)でSSLアクセスが可能です。 https://独自ドメイン名(ホスト名)/	デジサート・ジャパン合同会社 セキュア・サーバーID セキュア・サーバーID EV グローバル・サーバーID (*3) デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社 クイックSSLプレミアム(*4) JPRS JPRS 組織認証型 JPRS ドメイン認証型 (*5) GMOグローバルサイン株式会社 クイック認証SSL 企業認証SSL (*6 *7)	(*2)

*1 表にある証明書以外につきましては**サポート対象外**となります。

*2 本サービスではコントロールパネルを使用して、証明書をインストールいただくことが可能です。
コントロールパネルからのインストールに費用の発生はございませんが証明書取得費用については各証明書会社にお問い合わせください。

*3 デジサート・ジャパン合同会社 (旧シマンテック)
参考 URL <https://www.digicert.com/jp/>
マネージドPKI 2048bitには対応していません

*4 デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社 (旧日本ジオトラスト)
参考URL <https://www.geotrust.co.jp/>

*5 JPRS
参考URL <https://jprs.jp/pubcert>

*6 GMOグローバルサイン株式会社の参考 URL
<http://ocngs.globalsign.com/>
グローバルサイン社が提供する各種オプション(ワイルドカード/イントラネット/期間カスタマイズ/グローバルIPなど)には対応していません。

*7 中間証明書のインストール作業が必要となります。

3.2.3 SSL/TLS証明書のインストールについてのご案内

■ サーバー証明書

サーバー証明書		特長		導入手順の実施者			参照 ページ
証明書発行会社	製品名	暗号化 強度	企業実 在証明	CSR作 成	発行会社 申請 支払	証明書 設定	
デジサート・ジャ パン合同会社	セキュア・ サーバー ID/ セキュア・ サーバーID EV	最大 256bit	○	弊社	弊社	弊社	3.2.4 取得/設定代行
	グローバル ・ サーバーID	最大 256bit	○	お客さま	お客さま	お客さま	3.2.5 お客さま作業による 設定
	クイック SSLプレミ アム	最大 256bit	×	お客さま	お客さま	お客さま	
デジサート・ジャ パン・セキュリ ティ 合同会社	クイック SSLプレミ アム	最大 256bit	×	弊社	弊社	弊社	3.2.4 取得/設定代行
	組織認証型	最大 256bit	○	お客さま	お客さま	お客さま	3.2.5 お客さま作業による 設定
JPRS	ドメイン認 証型	最大 256bit	×	弊社	弊社	弊社	3.2.4 取得/設定代行
	クイック認 証SSL	最大 256bit	×	お客さま	お客さま	お客さま	3.2.5 お客さま作業による 設定
GMOグローバルサ イン株式会社	企業認証 SSL	最大 256bit	○	お客さま	お客さま	お客さま	3.2.5 お客さま作業による 設定
	クイック認 証SSL	最大 256bit	×	お客さま	お客さま	お客さま	3.2.5 お客さま作業による 設定

デジタル証明書を本サーバーにインストールするには、二通りの方法があります。
ご希望のページを参照してください。

1. 弊社に「セキュア・サーバーID」「セキュア・サーバーID EV」「クイックSSLプレミアム」「JPRS 組織認証型」「JPRS ドメイン認証型」の取得代行、インストールをお申し込みいただく方法

参照

3章

管理者マニュアル
デジタル証明書インストール
(取得/設定代行)

2. 上記8種類のサーバー証明書をお客さま自身で取得し、お客さまでインストールする方法

参照

3章

管理者マニュアル
デジタル証明書インストール
(お客さま作業による設定)

3.2.4 SSL/TLS証明書インストール（取得/設定代行）

CSR 作成、証明書発行会社への申請、証明書のインストールなどの面倒な手続きを、弊社がワンストップでご提供します。

弊社で取得/設定代行する証明書は、以下5種類です。

- ・ デジサート・ジャパン合同会社（旧合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ）
「セキュア・サーバーID」、「セキュア・サーバーID EV」
- ・ デジサート・ジャパン・セキュリティ合同会社（旧日本ジオトラスト合同会社）
「クイックSSLプレミアム」
- ・ JPRS
「JPRS 組織認証型」「JPRS ドメイン認証型」

その他のサーバー証明書は取得/設定代行できませんのでご了承ください。

お申込みは、ご契約者用変更/廃止ホームページの「SSL サーバー証明書取得/設定代行」をご覧ください。

<http://www.ocn.ne.jp/hosting/order/change/mw2/ssl01.html>

3.2.5 SSL/TLS証明書のインストール(お客さま作業による設定)

SSL/TLS証明書の取得、設定を行う場合の手順について説明します。

1. コントロールパネルから CSR の生成
2. 1の CSR を元に、SSL/TLS証明書の購入
3. コントロールパネルからSSL/TLS証明書のインストール

(1) コントロールパネルから CSR の生成

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、「[SSL/TLS証明書]」をクリックします。

The screenshot shows the control panel interface for 'BizEmail & Web Business'. The left sidebar contains a menu with 'SSL/TLS証明書' highlighted in a red box. The main content area is titled '管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書' and 'SSL/TLS証明書の設定'. It includes a table of certificates on the server and instructions for installing new, existing, and intermediate certificates.

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

- 有効** : インストールされた証明書が有効である状態
- 無効** : インストールされた証明書が無効である状態
- 未完了** : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ 1 - 署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

[署名リクエスト \(CSR\) 生成](#)

ステップ 2 - 証明書取得-

ステップ 1 で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

[認証局からの証明書取得](#)

ステップ 3 - 証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ 2 で取得した証明書をインストールします。

[証明書インストール](#)

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。

既存証明書のインストール

他サービスからの移行などで既に利用している証明書をインストールする場合は秘密鍵とSSL/TLS証明書を準備の上こちらからインストールを行ってください。

新規証明書の導入や更新をする場合は、上記「新しい証明書や更新用の証明書をインストールする」のステップ 1 から作業してください。

[既存証明書インストール](#)

中間CA証明書のインストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は「中間CA証明書のインストール」をクリックしてください。

管理者マニュアル記載の認証局から発行された証明書をご利用の場合は中間証明書のインストールは不要です。

[中間CA証明書インストール](#)

② 「新しい証明書インストール」欄の「ステップ1 署名リクエスト(CSR)生成」ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
 本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
 誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用頂けなくなる可能性があります。

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	有効	

SSL/TLS証明書のステータス

- 有効** : インストールされた証明書が有効である状態
- 無効** : インストールされた証明書が無効である状態
- 未完了** : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

新しい証明書のインストール (証明書の更新含む)

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト (CSR) 生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト (CSR) を生成します。

署名リクエスト (CSR) 生成

ステップ2 -証明書取得-

ステップ1で作成した署名リクエスト (CSR) を利用して認証局から証明書を取得します。

認証局からの証明書取得

ステップ3 -証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。

証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。

③ 各項目を入力した後、「次へ」ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

署名リクエスト (CSR) 生成

署名リクエスト (CSR) を生成します。※全てのCSRは2048ビットで作成されます。
 CSRの生成に必要な情報を以下の入力フォームに正確に入力してください。

半角英数字または記号「-, +/()」で入力してください。

国

都道府県

市区町村

会社名

部門名

ドメイン名

次へ キャンセル



注意

- ・半角英数字及び一部の記号「-, +/()」以外はご利用いただけません。
- ・日本語は使えません。

- ④ 「CSRの生成が完了しました。」
「CSRが電子メールにて送信されました。」
と表示されましたらCSR作成は完了です。作成済みCSRは、管理者のメールアドレスに送付されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

CSRの生成が完了しました。
CSRが電子メールにて送信されました。

- ⑤ 作成されたCSRを確認します。管理者に送られてきたメールを確認するか、
[生成したCSRを確認] リンクをクリックして表示してください。

✓新しい証明書のインストール（証明書の更新含む）

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト（CSR）生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト（CSR）を生成します。

署名リクエスト（CSR）生成 **生成したCSRを確認**

ステップ2 -証明書取得-

ステップ1で作成した署名リクエスト（CSR）を利用して認証局から証明書を取得します。

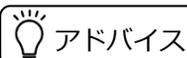
認証局からの証明書取得

ステップ3 -証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。

証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。



アドバイス

作成されたCSRのうち、デジタル証明書の手配に必要な部分は
「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」（この行自身を含む）
から
「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」（この行自身を含む）
までです。

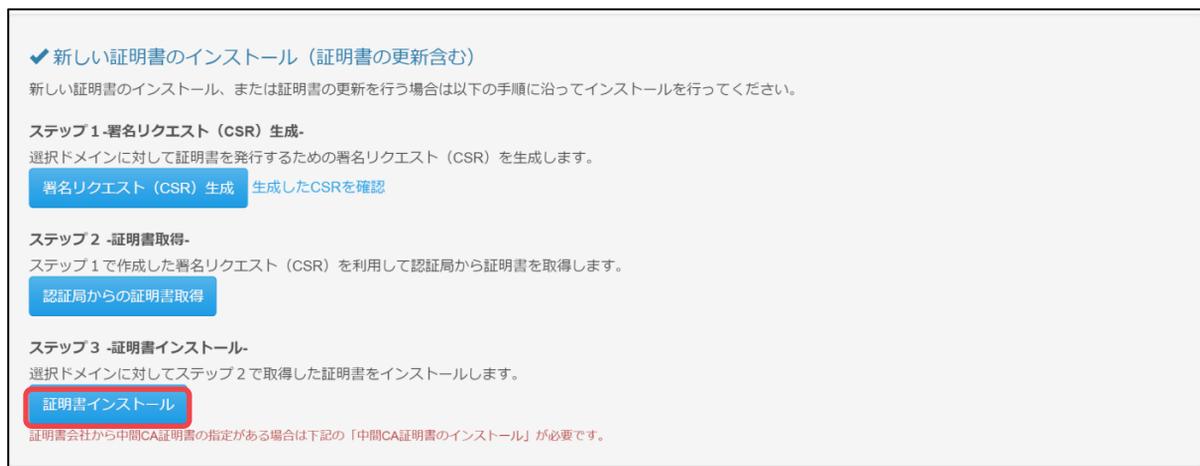
CSRの例は次ページを参照ください。

証明書の手配に必要な CSRの要件については、各証明書会社にご確認ください。

(3) デジタル証明書のインストール

「(2)デジタル証明書の購入」で入手したデジタル証明書を、本サーバーにインストールする手順について説明します。

- ① コントロールパネル左メニュー「ウェブサーバー」より、「SSL/TLS証明書」の画面を開き、[ステップ3 証明書インストール] ボタンをクリックします。



✓新しい証明書のインストール（証明書の更新含む）

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

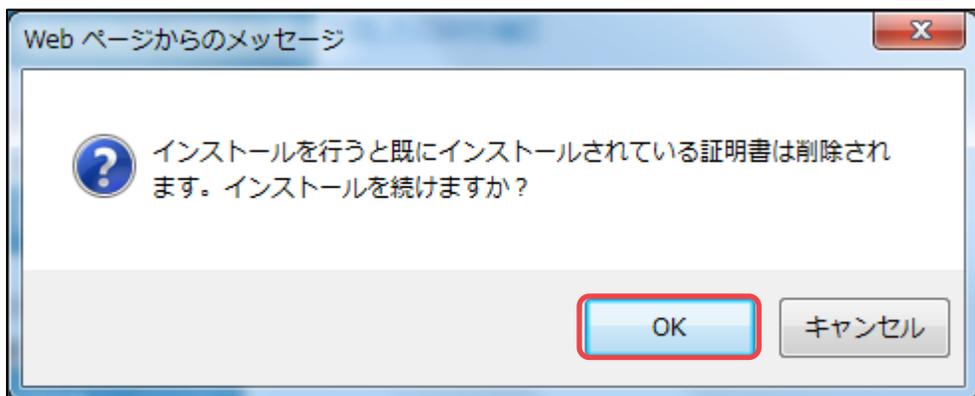
ステップ1-署名リクエスト（CSR）生成-
選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト（CSR）を生成します。
[署名リクエスト（CSR）生成] [生成したCSRを確認]

ステップ2 -証明書取得-
ステップ1で作成した署名リクエスト（CSR）を利用して認証局から証明書を取得します。
[認証局からの証明書取得]

ステップ3 -証明書インストール-
選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。
[証明書インストール]

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。

- ② 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



インストールを行うことで既にインストールされている証明書は削除されますので、十分に注意してください。

- ③ デジタル証明書を「SSL/TLS証明書」欄に貼り付けます。
もしくは、「SSL/TLS証明書の参照」で、デジタル証明書のファイルを選択し、登録することもできます。デジタル証明書を入力・選択したら、「証明書のインストール」ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

✓ SSL/TLS証明書のインストール

.cerファイルをインストールします。
SSL/TLS証明書の内容を以下の「SSL/TLS証明書」の入力欄に貼り付けるか、またはファイルから選択してください。
SSL/TLS証明書をインストールすると、古いSSL/TLS証明書が書き換えられます。

ドメイン名	example.co.jp
SSL/TLS証明書 (テキスト)	SSL/TLS証明書の内容を貼り付けてください

SSL/TLS証明書の参照 選択されていません

 アドバイス

- ・送られてきた証明書にて「◆証明書◆中間証明書◆証明書+中間証明書(PKCS7形式)」の3つが存在する場合、「証明書」のみインストール時に利用します。
- ・拡張子が.cerや.cerとなっているものがサーバー証明書となります。
- ・サーバー証明書はテキストエディタを利用する事により内容を確認できます。

- ④ 「SSL/TLS証明書のインストールが完了しました。」とメッセージが表示されれば作業は完了です。「ステータス」の状態が「有効」となっている事を確認ください。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書

SSL/TLS証明書のインストールが完了しました。

SSL/TLS証明書の設定

SSL/TLSサーバー証明書のインストールおよび削除が行えます。
本サービスでサポートしているSSL/TLS証明書の詳細については、[こちら](#)のホームページをご覧ください。

未設定の初期状態ではデフォルトの証明書が全てのドメインに対して有効となっています。
誤った情報を設定した場合、証明書が正常にご利用頂けなくなる可能性があります。

サーバー上のSSL/TLS証明書

証明書タイプ	有効期限	ステータス	操作
デフォルト	設定なし	無効	
ユーザー設定	Jul 1 03:13:38 2018 GMT	有効	無効化 SSL/TLS証明書の詳細

SSL/TLS証明書のステータス

- 有効** : インストールされた証明書が有効である状態
- 無効** : インストールされた証明書が無効である状態
- 未完了** : 署名リクエスト(CSR)を生成済みで証明書のインストールが未完了である状態

(4) 中間CA証明書のインストール

- ① コントロールパネル左メニュー「ウェブサーバー」より、「SSL/TLS証明書」の画面を開き、[中間CA証明書のインストール] ボタンをクリックします。



- ② 中間CA証明書を「中間CA証明書の入力」欄に貼り付けます。もしくは、「中間CA証明書の参照」で、中間CA証明書のファイルを選択し、登録することもできます。中間CA証明書を入力・選択したら、[中間CA証明書のインストール] ボタンをクリックします。



- ③ 「中間CA証明書のインストールが完了しました。」とメッセージが表示されれば作業は完了です。



💡 アドバイス

- ・グローバルサイン「企業認証SSL」「クイック認証SSL」の場合は中間CA証明書のインストールが必要です。
- ・2019年5月27日以降発行されたグローバルサイン「企業認証SSL」「クイック認証SSL」の中間CA証明書は下記サイトより取得できます。
<https://jp.globalsign.com/repository/#root>

3.2.6 SSL/TLS証明書の更新(お客さま作業による設定)

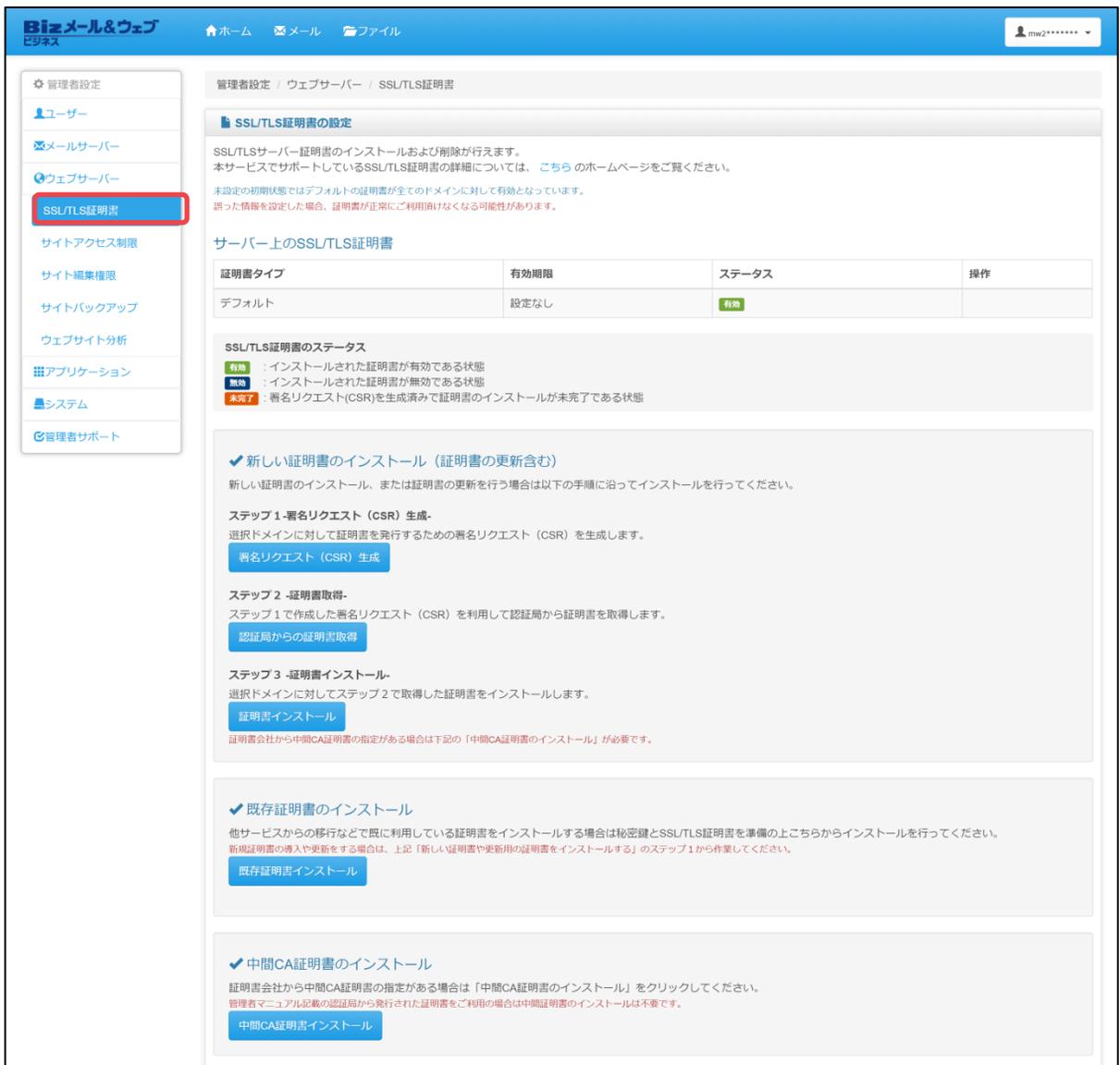
SSL/TLS証明書には、有効期限(1年～) が設定されています。継続してご利用される場合は、更新のお手続き、および更新費用が必要となります。また、更新を行う際は、再度コントロールパネルでのCSRの取得、サーバー証明書のインストールを行っていただく必要があります。

デジタル証明書の更新を行う場合の流れは次の通りです。

1. コントロールパネルから CSR の生成
2. 1の CSR を元に、SSL/TLS証明書の購入
3. コントロールパネルからSSL/TLS証明書のインストール

(1)コントロールパネルから CSR の生成

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[SSL/TLS証明書] をクリックします。



② 「新しい証明書インストール」欄の「ステップ1 署名リクエスト(CSR)生成」ボタンをクリックします。

✓新しい証明書のインストール（証明書の更新含む）
 新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト（CSR）生成-
 選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト（CSR）を生成します。
 署名リクエスト（CSR）生成

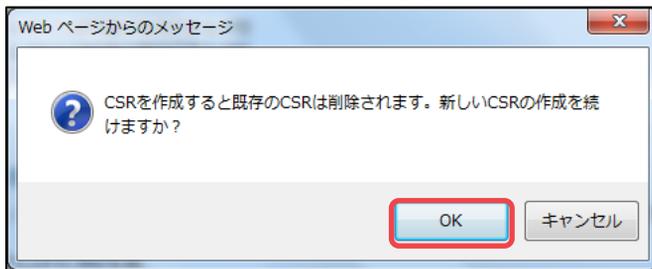
ステップ2-証明書取得-
 ステップ1で作成した署名リクエスト（CSR）を利用して認証局から証明書を取得します。
 認証局からの証明書取得

ステップ3-証明書インストール-
 選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。
 証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。

注意

既にCSRを生成済みで、再度「CSRの生成」ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。その場合、新しいCSRの生成を行いますので、「OK」ボタンをクリックしてください。これにより、古いCSRは破棄されます。



③ 各項目を入力した後、「次へ」ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

🔗 署名リクエスト（CSR）生成

署名リクエスト（CSR）を生成します。※全てのCSRは2048ビットで作成されます。
 CSRの生成に必要な情報を以下の入力フォームに正確に入力してください。

国

都道府県

市区町村

会社名

部門名

ドメイン名

次へ キャンセル

- ④ 「CSRの生成が完了しました。」
「CSRが電子メールにて送信されました。」
と表示されましたらCSR作成は完了です。作成済みCSRは、管理者のメールアドレスに送付されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / SSL/TLS証明書 / 署名リクエスト

CSRの生成が完了しました。
CSRが電子メールにて送信されました。

- ⑤ 作成されたCSRを確認します。管理者に送られてきたメールを確認するか、
[生成したCSRを確認] リンクをクリックして表示してください。

✓新しい証明書のインストール（証明書の更新含む）

新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト（CSR）生成-

選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト（CSR）を生成します。

署名リクエスト（CSR）生成 **生成したCSRを確認**

ステップ2-証明書取得-

ステップ1で作成した署名リクエスト（CSR）を利用して認証局から証明書を取得します。

認証局からの証明書取得

ステップ3-証明書インストール-

選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。

証明書インストール

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。



アドバイス

「生成したCSRを確認」で表示される内容については、「3.2.5 SSL/TLS証明書のインストール」をご確認ください。

また、証明書の手配に必要なCSRの要件については、各証明書会社にご確認ください。

(2) デジタル証明書の購入

「3.2.5 SSL/TLS証明書のインストール」の「(2)デジタル証明書の購入」を参考にデジタル証明書の購入を行ってください。

(3) デジタル証明書のインストール

- ① 「(2) デジタル証明書の購入」で入手したデジタル証明書を、本サーバーにインストールします。コントロールパネル左メニュー「ウェブサーバー」より「SSL/TLS証明書」の画面を開き、[ステップ3 証明書インストール] ボタンをクリックします。

✓新しい証明書のインストール（証明書の更新含む）
新しい証明書のインストール、または証明書の更新を行う場合は以下の手順に沿ってインストールを行ってください。

ステップ1-署名リクエスト（CSR）生成-
選択ドメインに対して証明書を発行するための署名リクエスト（CSR）を生成します。
[署名リクエスト（CSR）生成](#)

ステップ2-証明書取得-
ステップ1で作成した署名リクエスト（CSR）を利用して認証局から証明書を取得します。
[認証局からの証明書取得](#)

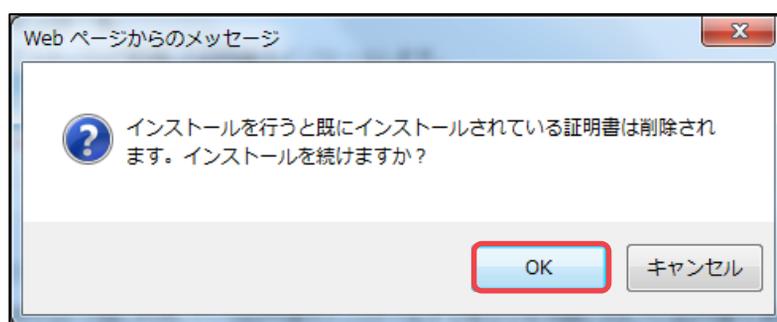
ステップ3-証明書インストール-
選択ドメインに対してステップ2で取得した証明書をインストールします。
[証明書インストール](#)

証明書会社から中間CA証明書の指定がある場合は下記の「中間CA証明書のインストール」が必要です。



注意

[署名済み証明書のインストール] ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。新しい証明書のインストールを行いますので、[OK] ボタンをクリックしてください。これにより、古い証明書は破棄されます。



- ② 「3.2.5 SSL/TLS証明書インストール」の「(3)デジタル証明書のインストール」を参考に、インストール作業を完了させてください。



3.3 サイトアクセス制限

3.3.1 サイトアクセス制限の設定

本サービスでは、ホームページにアクセス制限をかけて、パスワードによるユーザー認証をご利用いただけます。

ユーザー認証を行うことで、会員専用のホームページなどを作成することができます。アクセス制限を設定可能な領域は、htdocs 及びhtdocs以下の各サブディレクトリです。

アクセス制限の設定方法を以下でご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイトアクセス制限] をクリックします。

The screenshot shows the control panel interface for 'BizEmail & Web Business'. The left sidebar contains a menu with 'サイトアクセス制限' (Site Access Restriction) highlighted in red. The main content area is titled '管理設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限' and contains two main sections:

- サイトアクセス制限 (Site Access Restriction):**
 - Text: 任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。
 - Directory Selection: A dropdown menu currently set to 'htdocs'.
 - User Authentication (ユーザー認証):
 - Text: ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
 - Text: 二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字8ケタ）の入力が必要です。
 - Buttons: 'ユーザー作成' (User Creation) and '二要素認証有効化' (Enable Two-Factor Authentication).
 - Summary: 表示 5 / ページ, 0 - 0 件目を表示, 全数: 0
 - Table: A table with columns 'ユーザーID', 'ステータス', and '操作'. The content is '-- 現在、表示するレコードはありません --'.
 - Navigation: '← 前へ' and '次へ →' buttons.
- IPアドレス制限 (IP Address Restriction):**
 - Text: 接続元IPアドレスによるサイトアクセスの可否を設定できます。
 - Button: 'IPアドレス追加' (Add IP Address).
 - Text: 以下のIPアドレスからのアクセスを拒否する設定になっています。
 - Summary: 表示 10 / ページ, 0 - 0 件目を表示, 全数: 0
 - Table: A table with columns 'IPアドレス', 'ステータス', and '操作'. The content is '-- 現在、表示するレコードはありません --'.
 - Navigation: '← 前へ' and '次へ →' buttons.

- ② 「ディレクトリ選択」プルダウンより、アクセス制限をかけるディレクトリを選択し、[ユーザー作成] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。
ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

htdocs

ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。
二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。
認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。
二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

ユーザーID	ステータス	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --		

← 前へ 次へ →



注意

ディレクトリ名やファイル名に利用できない文字種(日本語等)を利用していた場合、プルダウンに目的のディレクトリ名等が表示されなくなります。
作成規則については「セットアップマニュアル」を参照してください。

参照 セットアップマニュアル
5章 ホームページ公開

- ③ ユーザーIDとパスワードを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / ユーザーの作成

ユーザーの作成

選択したディレクトリへのアクセス認証用ユーザーを作成します。
設定するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。

ディレクトリ
htdocs

ユーザーID
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(-_)を利用可能

ユーザーIDを入力

パスワード
半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号 (@#%&*()_+=&-) のそれぞれ最低1文字を含めた8文字以上

パスワードを入力

パスワードを入力 (確認用)

保存 キャンセル



注意

パスワードで利用可能な文字種や記号は以下の通りです。

- ・パスワードは8～32文字の長さが必要です。
- ・英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上含む必要があります。
- ・パスワードに利用可能な記号は、次のとおりです。

@ # \$ % ^ * () _ + = - &

- ④ 「<ユーザーID>が現在のディレクトリに作成されました」とメッセージが表示され、「ユーザーID」欄に作成したユーザーIDが表示されていれば完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限

exampleが現在のディレクトリに作成されました

🔒 サイトアクセス制限

任意のディレクトリとその配下にある全てのコンテンツに対してウェブアクセスを制限できます。ユーザー認証とIPアドレスによる制限が利用可能です。

ディレクトリ選択

htdocs

👤 ユーザー認証

ウェブサイトにアクセスできるユーザー認証を設定できます。二要素認証を利用する場合は各ユーザーに「二要素認証の設定」で表示される初期設定キー情報を通知し、ユーザー毎にクライアントアプリの設定を実施してください。認証に利用するユーザーはサーバーのユーザーとは別に作成する必要があります。二要素認証有効時は、ログイン時にパスワードに続けてワンタイムパスワード（半角数字6ケタ）の入力が必要です。

ユーザー作成 二要素認証有効化

表示 5 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

ユーザーID	ステータス	操作
example	利用中	停止 削除

← 前へ 1 次へ →

ウェブサーバー

- ⑤ ウェブブラウザで該当ディレクトリの URL にアクセスして、認証画面が表示されますので、正常にログイン出来ることをご確認ください。

Windows セキュリティ

サーバー example.co.jp がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの報告によると、これは the protected directory からの要求です。

警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を使用して送信されます。

ユーザー名

パスワード

資格情報を記憶する

OK キャンセル

3.3.2 サイトアクセス制限の解除

アクセス制限を解除する手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、「サイトアクセス制限」画面を開き、「ディレクトリ選択」プルダウンよりアクセス制限を解除したいディレクトリを選択します。



- ② 「ユーザーID」欄に現在設定されているアクセス制限が表示されますので、状態にて「利用中」となっている該当のユーザーIDを選択し、「操作」欄の[停止]または[削除]ボタンをクリックします。



無効	該当ユーザーIDでのアクセスを停止します。必要な際には再度有効化して利用することができます。
削除	該当ユーザーIDが削除されます。

注意

アクセス制御を完全に解除するには、ディレクトリに対して作成したユーザーIDを全て削除します。ユーザーを無効にするだけでは、認証画面が表示され、アクセス制御は解除されません。

3.3.3 二要素認証によるWebアクセス設定をする

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、「サイトアクセス制限」画面を開き、「ディレクトリ選択」プルダウンより二要素認証設定を適用したいディレクトリを選択し、[二要素認証有効化] ボタンをクリックします。



- ② 「3.3.1 アクセス制限の設定」にて予め設定したユーザーの項目に「二要素認証の設定」が追加されましたら、[二要素認証の設定] をクリックします。



- ③ 通知先のメールアドレスを入力し、[指定したメールアドレスに案内を送信] をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / 二要素認証の設定

二要素認証の設定

二要素認証設定キー情報です。初期設定キーは対象ディレクトリとログインユーザーの組み合わせ毎に異なります。

対象ディレクトリ	htdocs
ログインユーザーID	example
初期設定キー	***** 

上記の初期設定キー情報をユーザーにメールで送付できます。

メールアドレス

[指定したメールアドレスに案内を送信](#) [戻る](#)

- ④ 「指定されたアドレスへメールを送信しました。」と表示されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / 二要素認証の設定

指定されたアドレスへメールを送信しました。

二要素認証の設定

二要素認証設定キー情報です。初期設定キーは対象ディレクトリとログインユーザーの組み合わせ毎に異なります。

対象ディレクトリ	htdocs
ログインユーザーID	example
初期設定キー	***** 



アドバイス

メールによる通知機能を利用する事を推奨しますが、口頭やメモ等で通知でも特に問題はございません。

- ⑤ 利用者の方に、クライアントアプリのインストールと設定を行っていただきます。設定の手順は P11以降の手順と同様となります。
- ⑥ 二要素認証を設定したWebサイトへ、正常にアクセスが可能か、確認します。ブラウザでアクセスすると、IDとパスワードを表示する画面が表示されますので、**下記のID、パスワード条件**を入力し、[OK] をクリックします。



注意

パスワード条件について ※必ずご確認ください

入力には、P91「**3.3.1 アクセス制限の設定**」にて予め設定したユーザーのIDとパスワードが必要です。加えて二要素認証においては、下記の入力をいただく必要があります。

ID: 3.3.1 アクセス制限の設定で作成したユーザーID

パスワード: 3.3.1 アクセス制限の設定で設定したパスワード + ワンタイムパスワード6桁

入力例

ID: example

パスワード: Sakusei&Password999999

3.3.4 IPアドレス制限の追加

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイトアクセス制限] をクリックし、「ディレクトリ選択」プルダウンより、アクセス制限をかけるディレクトリを選択します。

The screenshot shows the control panel interface for 'メール&ウェブビジネス'. The left sidebar has a menu with 'サイトアクセス制限' highlighted in blue. The main content area is titled 'サイトアクセス制限' and includes a 'ディレクトリ選択' dropdown menu with 'htdocs' selected. Below this are sections for 'ユーザー認証' and 'IPアドレス制限'. The 'IPアドレス制限' section has an 'IPアドレス追加' button highlighted with a red box. The page shows 0 items in both the user and IP address lists.

- ② 「IPアドレス制限」欄の [IPアドレス追加] をクリックします。

This is a close-up of the 'IPアドレス制限' section. It shows the 'IPアドレス追加' button highlighted with a red box. Below the button, there is a table with columns for 'IPアドレス', 'ステータス', and '操作'. The table is currently empty, with a message indicating that no records are displayed.

- ③ IPアドレス追加の画面が表示されましたら、対象のディレクトリを確認し、各項目を入力した後、[保存] をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトアクセス制限 / IPアドレスの追加

IPアドレス追加

IPアドレスを追加してサイトアクセスの可否を設定します。
先に設定されているアクセス制限方式と異なる設定を行った場合、先に設定された内容は全て破棄されます。
.htaccessファイルで独自にアクセス制限を設定されている場合、正常に動作しない可能性があります。ご注意ください。

ディレクトリ
htdocs

IPアドレス (IPv4) / サブネットマスク
 /

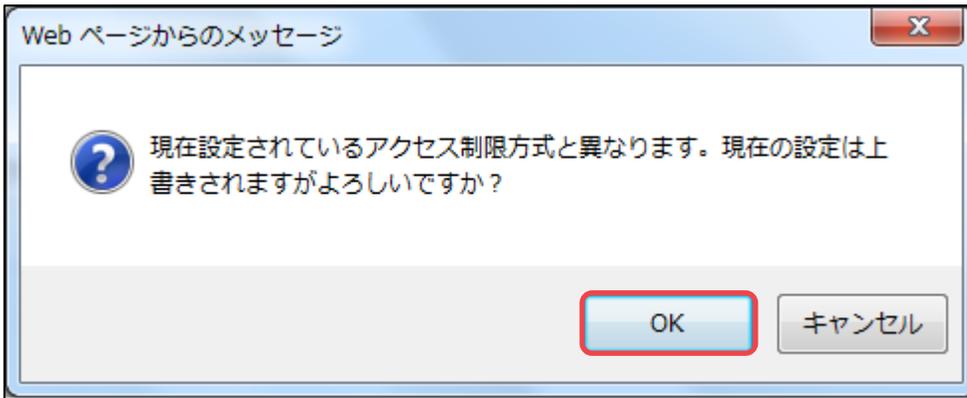
アクセス制限方式
 許可する 拒否する

項目	内容
ディレクトリ	IPアドレスを設定するディレクトリが表示されます。
IPアドレス/ サブネットマスク	許可/拒否したいIPアドレスを入力します。 ※サブネットマスクの入力は必須ではありません。
アクセス制限方式	許可/拒否を選択します。

⚠ 注意

- ・ IPアドレスは静的(固定) グローバルIPアドレスである必要があります。
- ・ 本サービスのIPアドレスは設定しないでください。全サービスがご利用不可となる恐れがあります。
- ・ 「127.0.0.1」を拒否する設定は行わないようお願いいたします。全サービスがご利用不可となる恐れがあります。
- ・ IPアドレス、サブネット計算はサポート対象外となります。ウェブサイト等にてご確認ください。
- ・ 許可/拒否、両方の設定は出来ませんのでご注意ください。
(例)許可設定を行っている場合、拒否を追加することによって許可設定は削除されます。

- ④ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑤ 「IP制限の追加が完了しました。」というメッセージが表示されましたら完了です。



3.3.5 IPアドレス制限の処理

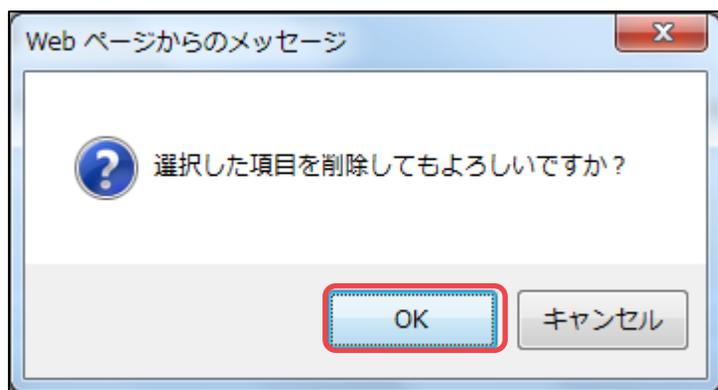
- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイトアクセス制限] をクリックし、「ディレクトリ選択」プルダウンより、アクセス制限を処理するディレクトリを選択します。



- ② 「IPアドレス制限」欄の「操作」より処理を行ってください。
※「削除」を例としてご案内いたします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



- ④ 削除完了のメッセージが表示され、一覧から該当のIPアドレスが削除されましたら完了です。



項目	内容
削除	設定されたIPアドレスを削除します。
停止	設定されたIPアドレスの処理を停止します。
再開	設定されたIPアドレスの処理を再開します。



3.4 サイト編集権限

サイト編集権限を設定すると、外部公開可能なディレクトリが作成されます。お客様のウェブサイトには管理者以外のFTPとウェブの権限を有するユーザーがファイルをアップロードできるようになります。ユーザーはFTPなどを使用し指定されたディレクトリへ、ファイルをアップロードすることが可能となります。

3.4.1 サイト編集権限の作成

新規サイト編集権限の作成手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイト編集制限]をクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwwwtdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することができます。

編集権限設定

権限付与ユーザー

表示 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --		

- ② 権限を付与したいユーザーを、「権限付与ユーザー」のプルダウンから選択し、[新規作成] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/wwwwtdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することができます。

編集権限設定

権限付与ユーザー

表示 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

URL	ユーザーID	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --		

- ③ 権限作成の画面が表示されましたら「URL」欄へ公開用ディレクトリ名を入力し「保存」ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限 / 新規作成

権限作成

権限を付与するURLとコンテンツを保存するディレクトリを設定します。
所属ドメインに続けてウェブサイトのURLを入力してください。
設定が完了するとユーザーのウェブディレクトリ内に入力文字列と同じ名前の公開用ディレクトリが作成されます。

対象ユーザーID
example

URL
http:// example.co.jp /

保存 キャンセル

- ④ 「ウェブサイト編集権限を追加しました。」というメッセージが表示されましたら、完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

ウェブサイト編集権限 webalias を追加しました。

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/www/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

権限付与ユーザー example **新規作成**

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

URL	ユーザーID	操作
<input type="checkbox"/> http:// example.co.jp /webalias	example	削除

3.4.2 サイト編集権限の確認

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、「[サイト編集制限]」をクリックすると、登録されているサイト編集権限の一覧が表示されます。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイト編集権限

サイト編集権限

任意のユーザーのウェブディレクトリ（ユーザーホーム/www/htdocs）内のコンテンツを、所属ドメインのウェブサイト上に公開することが出来ます。

編集権限設定

権限付与ユーザー example **新規作成**

表示 10 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

URL	ユーザーID	操作
<input type="checkbox"/> http:// example.co.jp /webalias	example	削除

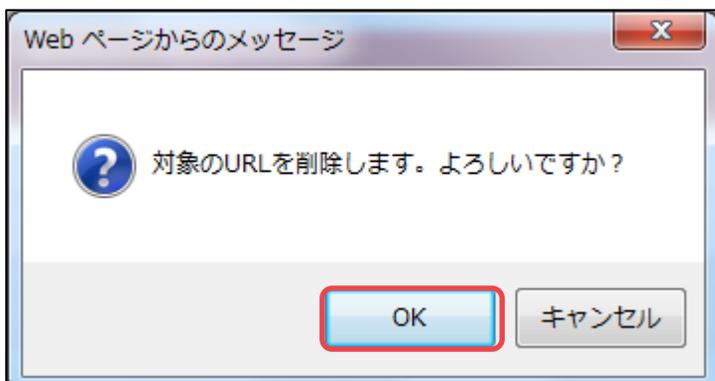
3.4.3 サイト編集権限の削除

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイト編集制限] をクリック後、一覧が表示されましたら、削除したい権限付与ユーザーのチェックボックスにチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
※上部の [削除] ボタンでも削除は可能です。



ウェブサーバー

- ② 確認の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ 削除完了のメッセージが表示され、一覧から該当の権限付与ユーザーが削除されましたら完了です。



3.4.4 サイト編集権限の利用方法

- ① コントロールパネルのホーム画面上部より、[ファイル] ボタンをクリックします。



- ② ファイルマネージャが表示されましたら「users」→「権限付与ユーザー」→「www」→「htdocs」→「サイト編集制限」の順にクリックします。作成した公開用ディレクトリ名が表示されていることを確認し、[アップロード] ボタンをクリックします。



- ③ アップロード画面が表示されますので、[ファイル選択] ボタンをクリックし、アップロードしたいファイルを選択後、[アップロード] ボタンをクリックします。



- ④ 保存完了のメッセージが表示され、アップロードしたファイルが一覧に追加されましたら完了です。

The screenshot shows a file manager interface. At the top, a message box states "example.htmlが現在のディレクトリに保存されました。" (example.html has been saved to the current directory). Below this, the file manager shows the current directory path: "ホームディレクトリ / users / example / www / htdocs / webalias". A table lists the files in the directory:

名前	最終更新日	サイズ	操作
example.html	2018/06/07	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

 アドバイス

アップロードしたファイルは、「<http://お客さまドメイン/サイト編集制限>」で確認することができます。



3.5 サイトバックアップ

3.5.1 バックアップの対象

「バックアップ」は、管理者がウェブコンテンツや CGI スクリプトを手動でバックアップする機能です。

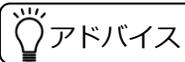


ウェブサーバー



バックアップの対象となるのは、 /www/cgi-bin/ と /www/htdocs/ のディレクトリに限定されます。
また、これらのディレクトリ配下に実体が存在するものに限られます。

- バックアップ対象にならない例
 - ・ 利用者が /users/<ユーザーID>/www/htdocs/<サイト編集権限> にアップロードしたウェブコンテンツ
 - ・ 「/www/logs/」以下のファイル
 - ・ 「/www/」直下に格納された設定ファイル



「バックアップ」されたファイルは、ファイルの内容、ファイルのパーミッションが保存されます。

3.5.2 バックアップの作成

バックアップにてウェブコンテンツをバックアップする手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイトバックアップ] をクリックします。



- ② [バックアップ作成] ボタンをクリックします。



- ③ バックアップ作成の画面が表示されましたら、バックアップ名を入力して、[作成] ボタンをクリックします。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ / バックアップ作成

バックアップ作成

現時点のウェブサイトコンテンツのバックアップを作成します。

バックアップ名

- ④ 「新しいバックアップが作成されました。」というメッセージが表示されましたら、バックアップは完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

新しいバックアップが作成されました

サイトバックアップ

ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。
データベース上のデータは保存されません。
ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

バックアップ作成

作成されたバックアップデータ

バックアップ名	日付	サイズ	操作
<input type="checkbox"/> 201806backup	06/07/2018 03:31 PM	21774.0KB	<input type="button" value="バックアップ復元"/> <input type="button" value="削除"/>

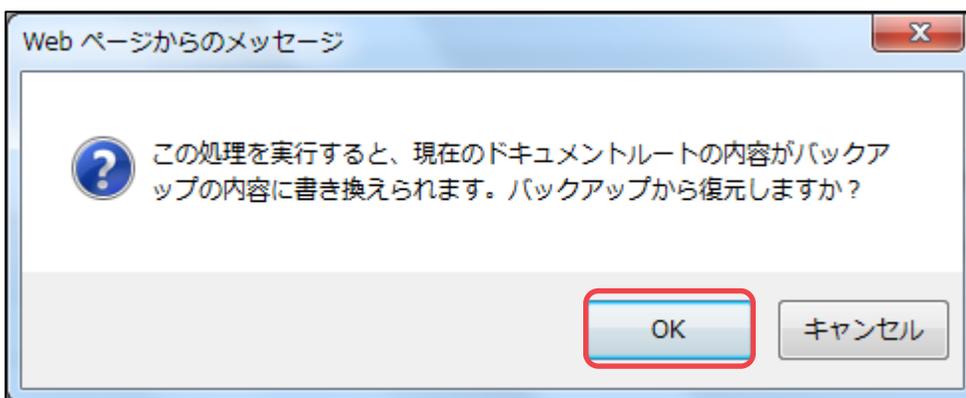
3.5.3 バックアップからの復元

バックアップにてウェブコンテンツを復元する手順をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、「サイトバックアップ」を画面を開き、[バックアップ復元] をクリックします。



- ② 確認画面が表示されますので、復元を実行する場合は [OK] ボタンをクリックします。



- ③ 「バックアップが復元されました。」というメッセージが表示されましたら、バックアップからの復元は完了です。





注意

- ・「バックアップからの復元」を実行すると、復元によって上書きされたファイルは、復元直前の状態に戻すことができなくなります。
- ・バックアップデータからの復元を行なう前に、「バックアップの作成」をしておくことをお勧めします。
- ・バックアップからの復元は、バックアップに含まれるファイルの追加のみ行なわれます。そのため、バックアップデータに対応するファイルがない場合、該当のファイルは削除されず、そのままの状態が残ります。



アドバイス

本サービスでは、次の2種類の方法でデータを復元することができます。

■ バックアップ機能でバックアップされたデータの復元

コントロールパネルのウェブサーバーにある「サイトバックアップ」では、`/www/htdocs/`と`/www/cgi-bin/` 配下にあるディレクトリとファイルをバックアップしておくことができます。

本バックアップ機能については、本マニュアルの「3.5.2バックアップの作成」と「3.5.3バックアップからの復元(当項目)」を参照してください。

■ コントロールパネルの「ファイルの復元」からの復元

本サービスでは、外部記憶装置とは別に、約1日分のディスクバックアップを保存しています。

コントロールパネルのファイルから「ファイルの復元」を実施することで、ディスクバックアップされたディレクトリもしくはファイルを復元することができます。

「ファイルの復元」については、「利用者マニュアル」を参照してください。

3.5.4 バックアップデータの削除

作成したバックアップデータを削除する手順をご説明します。

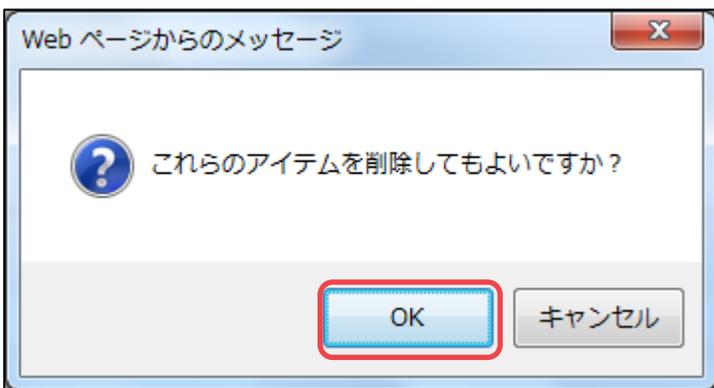
- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[サイトバックアップ] をクリックします。



- ② 削除したいバックアップデータのチェックボックスにチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
※上部の[削除] ボタンでも削除は可能です。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ④ 「バックアップが削除されました。」とメッセージが表示され、一覧から該当のデータが削除されましたら完了です。

管理者設定 / ウェブサーバー / サイトバックアップ

バックアップが削除されました

[📄 サイトバックアップ](#)

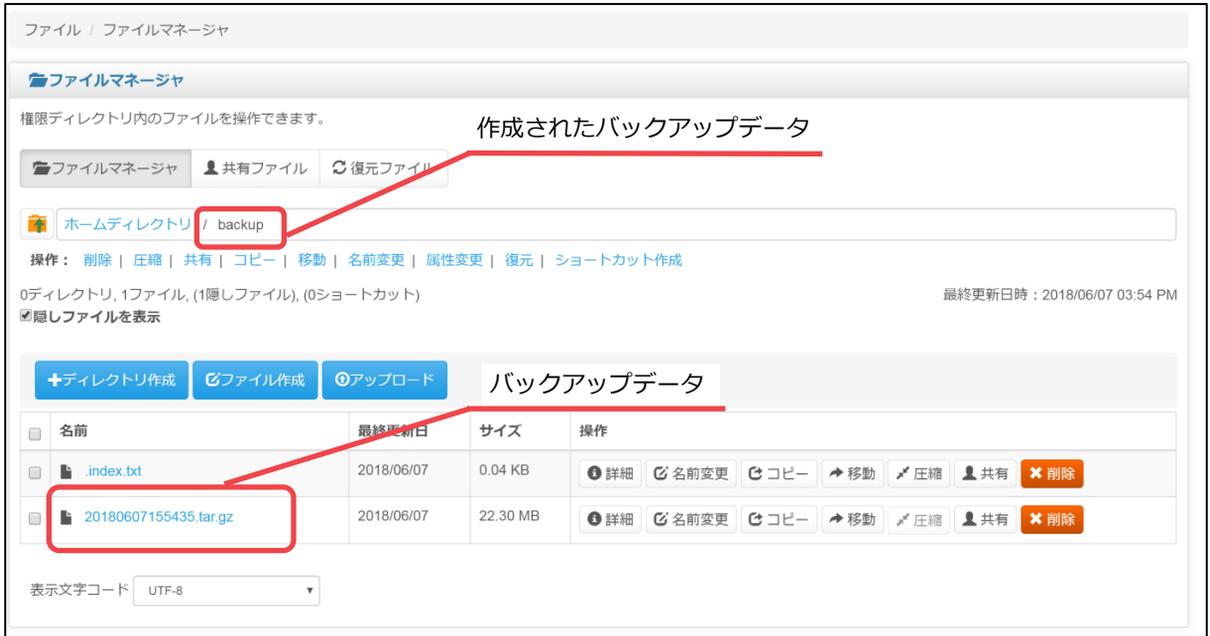
ウェブサイトのコンテンツのバックアップと復元ができます。
データベース上のデータは保存されません。
ファイルの復元によってファイルが上書きされた場合、現在の状態に戻すことはできません。

[バックアップ作成](#)

<input type="checkbox"/>	バックアップ名	日付	サイズ	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --				

3.5.5 バックアップデータの格納ディレクトリ

バックアップデータは、次の位置に格納されています。



■ index.txt

バックアップデータのファイル名と表示名を関連付けるファイルです。バックアップを作成すると、自動的に更新されます。

■ バックアップデータの本体

バックアップデータは tar と gzip でアーカイブ化されて格納されます。



注意

バックアップデータを削除する場合は、必ず「3.5.4バックアップデータの削除」の手順にて実施してください。

/backup/ ディレクトリから直接削除すると、正常に動作しなくなる可能性があります。



3.6 ウェブサイト分析

3.6.1 ウェブサイト分析の概要

アクセス解析データやソーシャルデータを収集しウェブサイトの改善点や傾向の分析が可能です。

項目	種類	説明
傾向分析	アクセス数の推移	Webサイトのアクセス数と訪問者数を表示します。 表示期間：直近4週間、過去12カ月、月指定
	アクセス元ページ	Webサイトへのアクセス元の割合を表示します。 (直接アクセス、検索エンジン、他サイト)
	検索数の推移	設定した分析ワードの検索数の推移を表示します。
	関連検索ワード	設定した分析ワードを検索した人がその他の検索で使ったワードを抽出・表示します。
	関連ニュース	設定した分析ワードが含まれるニュースを抽出・表示します。
ページ分析	ページ別アクセス数	Webサイト内のページ毎のアクセス数を表示します。
	上位10ページのアクセス数グラフ	Webサイトのアクセス数トップ10ページを表示します。
	遷移図	対象ページ閲覧前後の遷移状況(アクセス元、アクセス先)を表示します。
訪問者分析	利用デバイス	訪問者が利用している端末の割合を表示します。 (PC、タブレット、スマートフォン、その他)
	利用ブラウザ	訪問者が利用しているブラウザの割合を表示します。
	アクセス元地域	アクセス数が多い都道府県 上位10件を表示します。
	アクセス元IPアドレストップ10	アクセス数が多い上位10件のIPアドレスを表示します。
AI分析		ウェブサイトを改善する方法を提示します。



注意

- ・ウェブ分析ツールをアンインストールすることによりそれまで蓄積した分析データも削除されます。
- ・本機能はお客様のウェブ利用方法によりデータの表示分析結果が異なります。また参考値となるためデータの精度を保証するものではありませんので、ご了承ください。

3.6.2 ウェブサイト分析のインストール

ウェブサイト分析のインストール方法を以下にご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[ウェブサイト分析] をクリックします。ウェブサイト分析の画面が表示されましたら、MySQLのパスワードを入力し、[インストール] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the control panel interface for 'Bizメール&ウェブ Bizness'. The left sidebar contains a menu with 'ウェブサイト分析' (Website Analysis) highlighted. The main content area is titled 'ウェブサイト分析' and includes a description of the analysis capabilities. Below this, there are three sections: 'アクセス解析' (Access Analysis) with a line and pie chart, 'ソーシャル連携' (Social Linkage) with a line chart and bar chart, and 'AI分析' (AI Analysis) with a text box. At the bottom, there is a text box stating that the analysis function is not installed and requires a MySQL database. Below this text, there is a red-bordered input field for the 'MySQL管理パスワード' (MySQL Management Password) and a red-bordered 'インストール' (Install) button.

管理者設定 / ウェブサーバー / ウェブサイト分析

ウェブサイト分析

ウェブサイトのアクセス状況やインターネット上の情報を組み合わせてデータ分析することでウェブサイトの改善をサポートします。

ウェブ分析機能

ウェブサイトを様々な角度からAIが分析し、アクセス数アップを支援

アクセス解析

流入状況やアクセスユーザの解析を行います。また、ワンクリックでアクセス解析に必要な解析タグをコンテンツに設定できます。

ソーシャル連携

アクセス解析と同一時期系列でソーシャル(世の中)のトレンドを比較できます。

AI分析

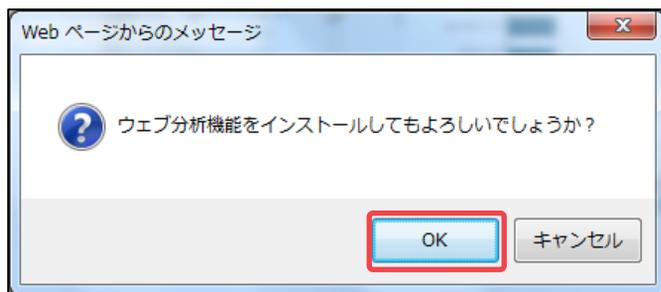
解析データをもとにウェブサイトの改善につながる情報をAIが提案します。

ウェブ分析機能は設定されていません。
ウェブ分析機能の設定には、MySQLへのデータベース作成が必要となります。
MySQL管理パスワードを入力し、「インストール」ボタンをクリックしてください。

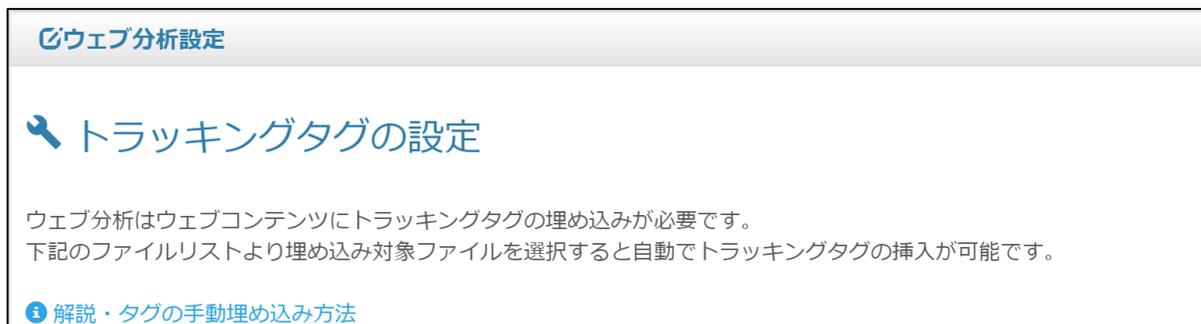
MySQL管理パスワード

インストール

- ② 確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ ウェブ分析設定画面が表示されましたら完了です。



3.6.3 ウェブサイト分析の設定

ウェブサイト分析の設定方法を以下にご説明します。

- ① ウェブ分析設定画面ページにて、トラッキングタグ挿入ファイルを選択します。

ウェブ分析設定

トラッキングタグの設定

ウェブ分析はウェブコンテンツにトラッキングタグの埋め込みが必要です。
下記のファイルリストより埋め込み対象ファイルを選択すると自動でトラッキングタグの挿入が可能です。

[解説・タグの手動埋め込み方法](#)

トラッキングタグ自動挿入対象ファイル選択

以下のファイルを全て選択

対象ファイル	タグのステータス	確認
<input checked="" type="checkbox"/> index.html		

OFF タグの自動修復

上記で選択されたファイルを追跡し、ファイルの更新などでトラッキングタグが消えた場合でも自動でトラッキングタグを修復します。

アドバイス

- ・トラッキングタグを手動で挿入される場合は、タグの手動埋め込み方法をクリックし<!-- WebAnalysis -->から<!-- End WebAnalysis -->までをコピーし、ウェブサイトの解析を行う全てのページに貼り付けます。

手動でのタグの埋め込み方法

下記のタグをコンテンツ内に挿入してください。(挿入箇所：headの終了タグの直前に挿入されることを推奨します。)

```
<!-- WebAnalysis -->
<!-- End WebAnalysis -->
```

- ・タグの自動修復を「ON」にすることで定期的/1日毎にトラッキングタグの有無をチェックし自動でトラッキングタグを修復します。

注意

- ・htdocsディレクトリ配下のHTMLファイル(拡張子:html・htm・HTML・HTM)が自動挿入ファイル対象です。
- ・トラッキングコードの埋め込み場所は</head>の終了タグの直前に挿入されることを推奨します。
- ・動的コンテンツへの埋め込みについてはサポートしておりません。

② サイト分析ワードの設定を入力します。

！ サイト分析ワードの設定

ウェブ分析ではソーシャルデータを用いた比較分析が可能です。
下記のフォームにウェブサイトに関連した分析ワードを設定すると自動で関連情報を取得します。

業種 <input type="text" value="業種を選択"/>	会社名 <input type="text"/>
製品名 <input type="text"/>	フリー分析ワード <input type="text"/>

アドバイス

分析ワードを入力することにより、検索傾向やニュースなどのソーシャルデータを取得しアクセスパターンの分析や、ウェブサイトの改善点の分析を行うことができます。

③ レポートメールの設定へ通知先メールアドレスを入力し、[分析設定の保存] をクリックします。

！ レポートメールの設定

レポートメールの通知設定を行うとウェブ分析結果のサマリーレポートを週に1回メールでお知らせします。

メール通知

レポートメール通知内容

レポートメール通知をONにすることにより、**毎週月曜日**に通知先メールアドレスへウェブ分析結果が配信されます。

<例> 通知メール内容サンプル<

From: 管理者ID@お客様ドメイン
 subject: Bizメール&ウェブ ウェブ分析 サマリーレポート YYYY/MM/DD

Bizメール&ウェブ ウェブ分析サマリーレポートです。

先週(YYYY-MM-DD から YYYY-MM-DD まで)は、
 XXXXユニークユーザーからXXXXのアクセス(ページビュー)ありました。

分析結果の詳細はコントロールパネルからウェブ分析をご参照ください。
<https://独自ドメイン/ControlPanel/>

本メールはウェブ分析機能より自動配信されています。
 設定の変更/解除はコントロールパネルのウェブ分析設定からご設定ください。

- ④ 「ウェブ分析機能は設定が完了しました。」と表示されましたら完了です。

ウェブ分析設定

ウェブ分析機能の設定が完了しました。

タグ挿入成功ファイル

index.html

タグ挿入失敗ファイル

無し

「分析結果閲覧」ボタンをクリックすると、ウェブ分析結果画面へ移動します。

分析結果閲覧

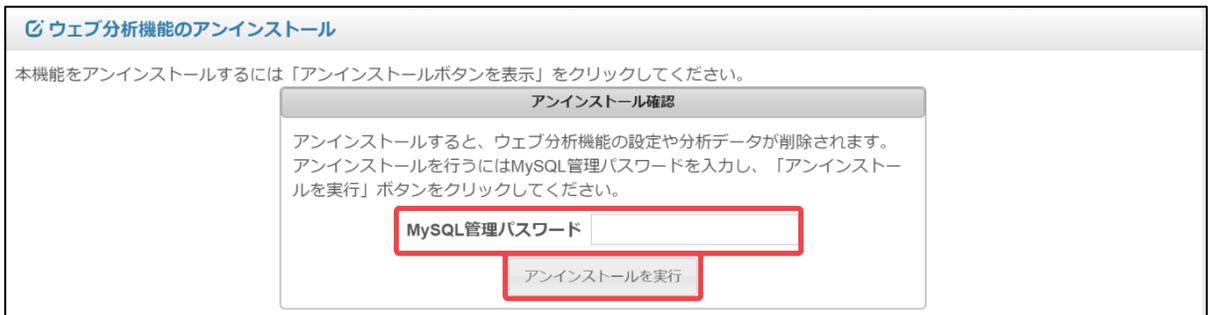
3.6.4 ウェブサイト分析のアンインストール

ウェブサイト分析のアンインストール方法を以下にご説明します。

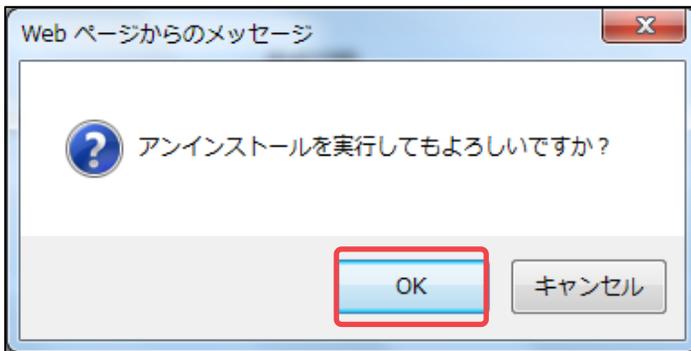
- ① コントロールパネルの左メニュー「ウェブサーバー」より、[ウェブサイト分析] をクリック後、右上の [設定] ボタンをクリックします。



- ② ウェブ分析設定画面より [アンインストールボタンを表示] をクリックし、MySQL管理者パスワードを入力し [アンインストールを実行] をクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



- ④ 初期インストール画面が表示されましたら完了です。

4 アプリケーション

この章では、コントロールパネルの「アプリケーション」グループに含まれる機能について説明します。

4.1 基本アプリ

4.2 追加アプリ

4.3 データベース



4.1 基本アプリ

4.1.1 基本アプリの概要

本サーバーで利用可能なスクリプト言語が確認できます。
バージョンの詳細については、以下サポートページを参照してください。

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/biz/function/cgi.html>

4.1.2 PHP のバージョン

本サーバーには、PHP がインストールされています。
PHP バージョンの詳細については、以下サポートページを参照してください。

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/biz/function/version.html>

本サービスには、複数バージョンのPHPがインストールされており、初期設定ではPHP5.3を使用するように設定されています。コントロールパネルの「アプリケーション」画面で、PHPのバージョンを切り替えて使用することができます。PHPのバージョン切り替え手順を以下でご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[基本アプリ] をクリックします。

管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ

基本アプリ

アプリケーション

サービス名	ステータス
Postfix	起動中
Apache	起動中
ProFTPD	起動中
Dovecot	起動中

スクリプト言語

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	設定
Perl	起動中	
Python	起動中	
Ruby	起動中	

- ② 「基本アプリ」の画面が表示されましたら、「スクリプト言語」欄「PHP」の「設定」ボタンをクリックします。

サービス名	ステータス	
Postfix	起動中	
Apache	起動中	
ProFTPD	起動中	
Dovecot	起動中	

サービス名	ステータス	設定
PHP	起動中	設定
Perl	起動中	
Python	起動中	
Ruby	起動中	

- ③ 「バージョンの選択」プルダウンから変更するバージョンを選択し、「変更」ボタンをクリックします。

PHPのバージョンを変更できます。
PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスクリプトが使えなくなることがありますのでご注意ください。

現在のバージョン	7.4
バージョンの選択	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"><div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">7.4</div><div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">5.3</div><div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; background-color: #007bff; color: white;">7.4</div></div>

変更

- ④ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

Web ページからのメッセージ

PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスクリプトが使えなくなることがあります。変更しますか？

OK キャンセル

- ⑤ 「PHPのバージョンが変更されました。」とメッセージが表示されましたら、完了です。

管理者設定 / アプリケーション / 基本アプリ / PHP

PHPのバージョンが"5.3"から"7.4"に変更されました。

[基本アプリに戻る](#)

PHPバージョン

PHPのバージョンを変更できます。
PHPのバージョンを変更すると、従来バージョン用にデザインされた既存のスク립トが使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

現在のバージョン	7.4
バージョンの選択	<input type="text" value="7.4"/>

[変更](#)



4.2 追加アプリ

4.2.1 WordPressの概要

WordPressとは、ブログの作成と、ブログを公開するためのソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、本サーバーに設定したお客さまドメイン名内にブログを開設することが可能です。

WordPressを使用するには、事前にMySQLのインストール及び起動、パスワード情報が必要です。

MySQLの詳細については、「4.3 データベース」をご確認ください。

(1) WordPressのインストール

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[追加アプリ] をクリックします。



- ② 「追加アプリ」の画面が表示されましたら、WordPress「操作」欄の[インストール] ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。





注意

- パスワードで利用可能な文字種や記号は以下の通りです。
パスワードは8～32文字の長さが必要です。
英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上含む必要があります。
パスワードに利用可能な記号は、次のとおりです。
@ # \$ % ^ * () _ + = - &
- ~/www/htdocs/配下に「wordpress」ディレクトリが存在する場合、インストールする事によりファイルが上書きされますのでご注意ください。

③ 「インストールが完了しました。」とメッセージが表示されましたら完了です。

インストールが完了しました

アプリケーションのインストール情報


```

-Install Date Fri Jul 17 12:56:02 JST 2020
  application_name: wordpress
  application_version: 5.4.1
  domain_name: ██████████
  LoginID: ██████████
  PW: ██████████
URL: https://shbsen10.vps-ntt.com/wordpress/wp-login.php
MySQL_Database_Name wpress_db
MySQL_Database_User wpress_user
MySQL_Database_PW ██████████

```

WordPress installation finished

閉じる



アドバイス

インストールしたWordPressの関連ファイルは~/www/htdocs/wordpress 以下に格納されております。

<https://お客様のドメイン/wordpress/>にアクセスしてご確認ください。



注意

- Wordpressを新規でインストールする場合は、PHP7.4+MySQL5.7が必須になりますので注意していただくようお願いいたします。

(2) WordPress管理者画面へのログイン

- ① コントロールパネル左メニュー「アプリケーション」より「追加アプリ」の画面を開き、Wordpress「操作」欄「インストール情報」よりログイン情報を確認します。



- ② 初期インストール情報に表示されているURLへアクセスします。



項目	内容
Application_version	Wordpressのバージョン情報が記載されます。 初期インストール時は5.4.1となります。
LoginID	Wordpress管理画面のログインID(管理者ID)が表示されます。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合は空欄となりますが、初期IDは「admin」となります。
PW	Wordpress管理画面の初期ログインパスワードが表示されます。 ※変更後のパスワードは上書きされません。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合は空欄となります。 お客様で設定されたパスワードをご入力ください。
URL	Wordpress管理画面のURLが表示されます。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合は空欄となりますが、その際はブラウザで以下のURLに直接アクセスを行ってください。 https://お客様ドメイン/wordpress/wp-login.php

- ③ WordPressログイン画面が表示されましたら、ログインIDとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



- ④ ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます。



 **アドバイス**

パスワードを忘れた場合に送信される確認メールは、初期状態の場合、「wordpress管理者のログインID@お客さまドメイン名」宛てに送信されます。

 **注意**

- WordPress のアップグレードを実行した場合、予期せぬ動作をする可能性があります。アップグレード版のインストール実施前にデータベースや関連ファイルのバックアップの実施をお勧め致します。
なお、アップグレードやWordPressのデータに関するサポートはできかねますのでご了承ください。
- ドメインのAレコードをビジネスサーバーへ向ける前にインストールされた場合、管理者画面へログインする事は出来ません。

(3) WordPressの削除

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、「データベース」を表示し「phpmyAdmin」へログインします。
※ phpmyAdmin へのログイン方法は「4.3.2 (2)phpMyAdminへのログイン」を参照下さい。



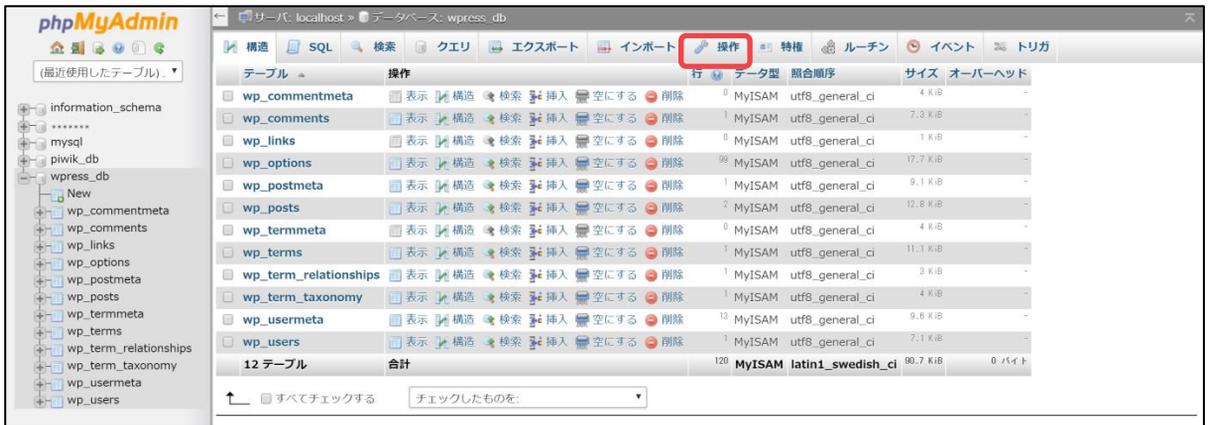
- ② phpmyAdminへログインが完了しましたら、左メニューの「wpres*_db」をクリックします。



注意

- WordPress のデータベース名は「(2) WordPress管理者画面へのログイン」の初期インストール情報で確認が可能です。
「MySQL_Database_Name」を必ず確認のうえ、削除を行って下さい。
- 誤って他のデータベースを削除しますと、その他アプリケーションや、phpmyAdminへのログインが不可となりますのでご留意下さい。

③ 「wpres*_db」の画面が表示されましたら [操作] をクリックします。



④ 「操作」画面が表示されましたら、「データベースの削除」欄の [データベースを削除する(DROP)] をクリックします。



⑤ 確認メッセージが表示されますので、 [OK] ボタンをクリックします。



⑥ 「wpres*_db」の項目が削除されましたらデータベースの削除は完了です。次にWordPressファイルを削除します。

- ⑦ コントロールパネルのホーム画面上部より、[ファイル] をクリックしファイルマネージャを表示させます。次にディレクトリ一覧の [users] をクリックします。

The screenshot shows the 'File Manager' interface. At the top, the 'ファイル' (Files) menu is highlighted with a red box. Below the navigation bar, the 'users' directory is selected and highlighted with a red box in the table. The table lists various directories with their last updated dates and sizes.

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2014/11/07		開く
etc	2018/06/12		開く
www	2014/11/07		開く
users	2018/06/12		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑧ 「users」フォルダ内が表示されましたら、「隠しファイルを表示」にチェックが入っていることを確認し、「管理者ID」のディレクトリをクリックします。

The screenshot shows the 'File Manager' interface with the 'users' directory selected. The '隠しファイルを表示' (Show hidden files) checkbox is checked and highlighted with a red box. The table below shows the contents of the 'users' directory, with the 'mw2*****' directory highlighted by a red box.

名前	最終更新日	サイズ	操作
mw2*****	2018/06/18		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑨ 「管理者ID」のフォルダ内が表示されましたら、「.wordpress_ドメイン名」にチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
 ※上部の[一括削除] ボタンでも削除は可能です。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / users / mw2*****

操作: 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 復元 | ショートカット作成

2ディレクトリ, 2ファイル, (3隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/10/19 01:40 PM

隠しファイルを表示

一括圧縮 一括共有 一括削除

名前	最終更新日	サイズ	操作
<input type="checkbox"/> .wordpress_app	2018/10/19	0.00 KB	<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> www	2016/09/29		<input type="button" value="開く"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> prefs.prfe	2016/10/18	0.01 KB	<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> mail	2016/10/27		<input type="button" value="開く"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/> .wordpress_example.co.jp	2018/10/19	0.33 KB	<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> prefs.prf	2016/10/27	0.01 KB	<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/> .cpx	2018/07/11		<input type="button" value="開く"/> <input type="button" value="名前変更"/> <input type="button" value="コピー"/> <input type="button" value="移動"/> <input type="button" value="圧縮"/> <input type="button" value="共有"/> <input type="button" value="削除"/>

- ⑩ 削除の確認画面が表示されますので、ファイルに間違いがないことを確認し、[削除] ボタンをクリックします。

削除

以下を削除します。よろしいですか？
 ディレクトリの場合はディレクトリ内の全てのファイルが削除されます。

/users/mw2*/*/wordpress_example.co.jp

削除 キャンセル

- ⑪ 「選択されたファイルが削除されました。」というメッセージが表示されましたら、削除は完了です。次にWordPressのディレクトリを削除します。

ファイル / ファイルマネージャ

選択されたファイルが削除されました。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

- ⑫ [ホームディレクトリ] をクリックし、ファイルマネージャトップ画面を表示し、「www」を開き、[htdocs] をクリックします。

The screenshot shows the File Manager interface. The breadcrumb path is 'ホームディレクトリ'. The file list contains the following entries:

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2014/11/07		開く
etc	2018/06/12		開く
www	2014/11/07		開く
users	2018/06/12		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑬ 「htdocs」内が表示されましたら「Wordpress」のチェックボックスにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。
※上部の「一括削除」ボタンでも削除は可能です。

The screenshot shows the File Manager interface with the breadcrumb path 'ホームディレクトリ / www / htdocs'. The file list contains the following entries:

名前	最終更新日	サイズ	操作
piwik	2018/06/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
fonts	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input checked="" type="checkbox"/> wordpress	2018/06/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
css	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
js	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

At the top of the interface, the '一括削除' (Batch Delete) button is highlighted in red.

- ⑭ 削除の確認画面が表示されますので、ディレクトリに間違いがないことを確認し、**[削除]** ボタンをクリックします。



- ⑮ 「Wordpressは削除されました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



4.2.2 Piwikの概要

本サービスではウェブアクセス解析ソフトウェアとしてPiwik(ピーウィック)をインストール可能です。

Piwikはオープンソースで開発されている高性能なウェブアクセス解析ソフトウェアです。

解析対象ページに埋め込んだタグによりアクセス情報を収集します。



アドバイス

マニュアルに記載のない情報については弊社ではサポートしておりませんので、あらかじめご了承ください。

Piwikの詳しい使い方や設定については日本Matomo(Piwik)ユーザー会サイト (<https://matomo.jp>)などもご参照ください。

(1) Piwikのインストール

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[追加アプリ]をクリックします。

アプリケーション	ステータス	操作
Wordpress	未インストール	インストール
Piwik	未インストール	インストール

- ② 「追加アプリ」の画面が表示されましたら、Piwik「操作」欄の[インストール]ボタンをクリックします。

アプリケーション	ステータス	操作
Wordpress	未インストール	インストール
Piwik	未インストール	インストール

- ③ 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



- ④ 「インストールが完了しました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



注意

Piwikアップグレード版のインストールに関しまして

Piwik のアップグレードを実行した場合、予期せぬ動作をする可能性があります。アップグレード版のインストール実施前にデータベースや関連ファイルのバックアップの実施をお勧め致します。なお、アップグレードやデータに関するサポートはできかねますのでご了承ください。Piwikの関連ファイルは~/www/htdocs/piwikに格納されております。

(2) Piwikのログイン

- ① コントロールパネル左メニュー「アプリケーション」より「追加アプリ」の画面を開き、Wordpress「操作」欄「インストール情報」よりログイン情報を確認します。

- ② 初期インストール情報に表示されているURLへアクセスします。

```

Piwik
-初期インストール情報-

-Install Date Wed Jun 6 14:41:55 JST 2018
application_name: piwik
application_version: 2.16.1
domain_name: example.co.jp
LoginID: mw2XXXXXX
PW: *****
URL: https:// example.co.jp(利用ドメイン) /piwik/
MySQL_Database_Name *****
MySQL_Database_User *****
MySQL_Database_PW *****
    
```

項目	内容
Application_version	Piwikのバージョン情報が記載されます。 初期インストール時は2.16.1となります。
LoginID	Piwik管理画面のログインID(管理者ID)が表示されます。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合は空欄となります。
PW	Piwik管理画面の初期ログインパスワードが表示されます。 ※変更後のパスワードは上書きされません。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合の初期パスワードは「Admin」となります。
URL	Piwik管理画面のURLが表示されます。 ※2018年7月以前にインストールされてる場合は空欄となりますが、 その際はブラウザで以下のURLに直接アクセスを行ってください。 https://お客様ドメイン/piwik/

- ③ Piwikログイン画面が表示されましたら、ログインIDとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



- ④ ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます。

PIWIK
ダッシュボード 全ウェブサイト

ウェブサイト: ▼

まだデータは記録されていません

まだこのウェブサイトの分析データは追跡されていません。 Please set up the [JavaScript tracking code](#) on your website if you haven't done that already. This message will disappear as soon as some data was tracked for this website. In the meantime, maybe you would like to [set up some goals](#).

example.co.jp
用トラッキングタグ

Piwik でウェブトラフィックの追跡をするには、一部の特別なコードが各 web ページに追加されているかどうかを確認する必要があります。ウェブサイト、ブログ、CMS、などで技術的な作業をするために既製のプラグインを使用することができます。(Piwikを補完するために使われるプラグインのリストを参照してください。) プラグインが存在しない場合は、あなたのウェブサイトのテンプレートを編集して、「フッター」ファイルにこのコードを追加できます。

JavaScript トラッキングタグ

Make sure this code is on every page of your website. We recommend to paste it immediately before the closing `</head>` tag.

```

<!-- Piwik -->
<script type="text/javascript">
var _paq = _paq || [];
_paq.push(['trackPageView']);
_paq.push(['enableLinkTracking']);
(function() {
var u="// example.co.jp /piwik/";
_paq.push(['setTrackerUri', u+'piwik.php']);
_paq.push(['setSiteId', 1]);
var d=document, g=d.createElement('script'), s=d.getElementsByTagName('script')[0];
g.type='text/javascript'; g.async=true; g.defer=true; g.src=u+'piwik.js'; s.parentNode.insertBefore(g,s);
})();
</script>
<noscript><p></p></noscript>
<!-- End Piwik Code -->

```

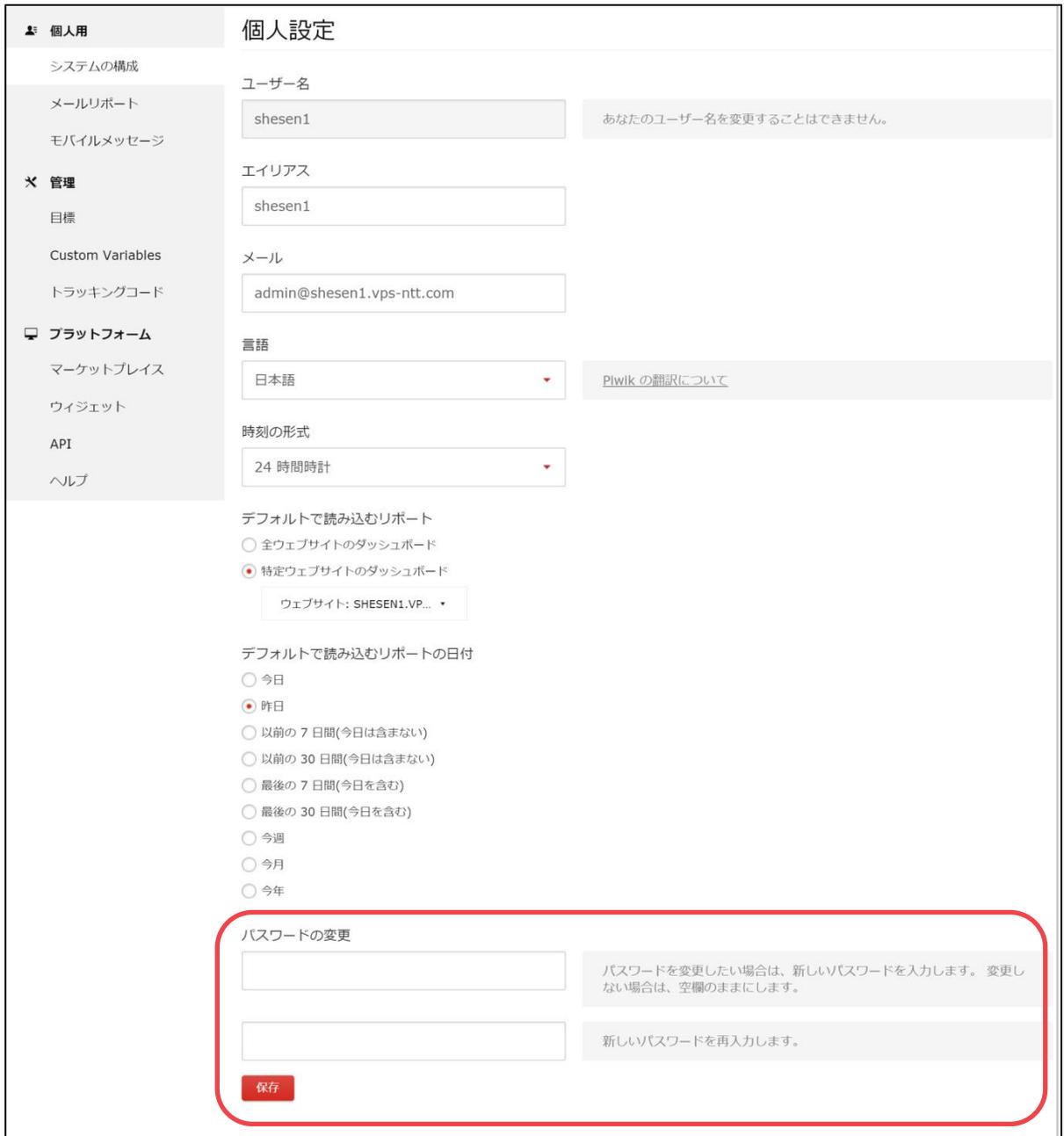
ページビューを追跡する以上のことをしたい場合は、[Piwik Javascriptトラッキングドキュメント](#)の使用可能な機能のリストを参照してください。これらの機能を使って、ゴール（目標）、カスタム変数、eコマース注文、破棄されたショッピングカート等々の追跡が可能です。
注:インストールの処理後、Tracking Code の管理セクションで、トラッキングコードのカスタマイズを行うことができます。

(3) Piwikのパスワード変更

- ① Piwik管理画面のトップページにて、画面右上にある人型アイコンをクリックします。



- ② 「システムの構成」画面下部の「パスワードの変更」欄に新しいパスワードを入力し [保存] ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



Piwikのログインパスワードについて

Piwikの初回ログイン後、デフォルトのパスワードを変更することを強く推奨します。

(4) Piwikのトラッキングコードの表示

- ① Piwik管理画面のトップページにて、画面右上にある人型アイコンをクリックします。



- ② 「管理」メニューから「トラッキングコード」をクリックします。



- ③ 画面下部の「JavaScript トラッキングタグ」にトラッキングコードが表示されます。
<!-- Piwik -->から<!-- End Piwik Code -->までをコピーし、ウェブサイトの解析を行う全てのページに貼り付けます。



注意

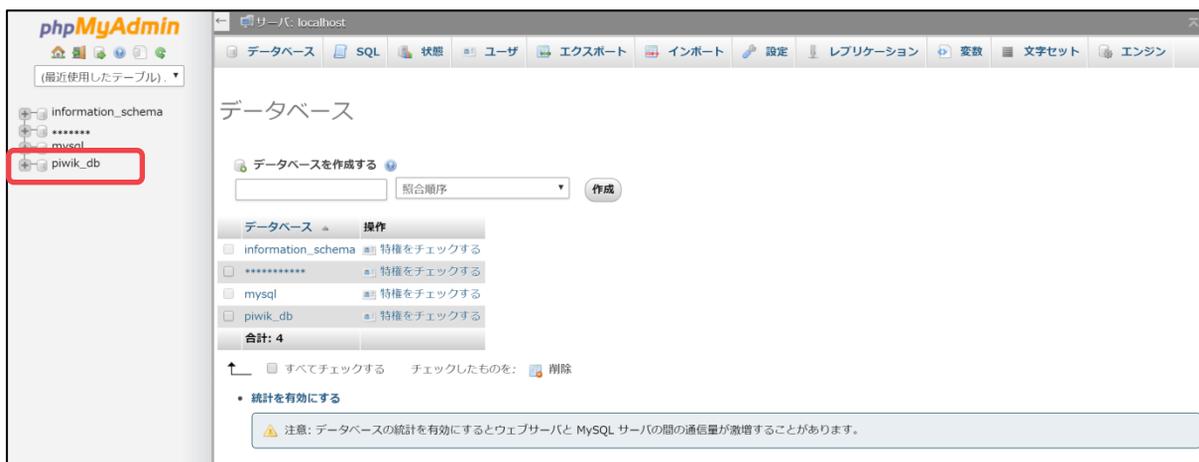
- ・トラッキングコードの埋め込み場所は</body>タグの前をお勧めします。
- ・動的コンテンツへの埋め込みについてはサポートしておりません。

(5) Piwikの削除

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、「データベース」を表示し、「phpmyAdmin」へログインします。
※ phpmyAdmin へのログイン方法は「4.3.2 (2)phpMyAdminへのログイン」を参照下さい。



- ② phpmyAdminへログインが完了しましたら、左メニューの「piwik_db」をクリックします。



注意

- ・ 誤って他のデータベースを削除しますと、その他アプリケーションや、phpmyAdminへのログインが不可となりますのでご留意下さい。

③ 「piwik_db」の画面が表示されましたら「操作」をクリックします。



④ 「操作」画面が表示されましたら、「データベースの削除」欄の「データベースを削除する(DROP)」をクリックします。



⑤ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



⑥ 「piwik_db」の項目が削除されましたらデータベースの削除は完了です。次にWordPressファイルを削除します。

- ⑦ コントロールパネルのホーム画面上部より、[ファイル] をクリックしファイルマネージャを表示させます。次にディレクトリー一覧の [users] をクリックします。

管理者設定
ユーザー
メールサーバー
ウェブサーバー
アプリケーション
システム
管理者サポート

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ

操作: 復元

7ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/06/15 11:02 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2014/11/07		開く
etc	2018/06/12		開く
www	2014/11/07		開く
users	2018/06/12		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑧ 「users」フォルダ内が表示されましたら、「隠しファイルを表示」にチェックが入っていることを確認し、「管理者ID」のディレクトリをクリックします。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / users

操作: 圧縮 | 共有 | コピー | 属性変更 | 復元 | ショートカット作成

1ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/06/19 10:17 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
mw2*****	2018/06/18		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑨ 「管理者ID」のフォルダ内が表示されましたら、「.piwik_ドメイン名」にチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
※上部の[一括削除] ボタンでも削除は可能です。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / users / mw2*****

操作: 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 復元 | ショートカット作成

2ディレクトリ, 2ファイル, (3隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/10/19 01:07 PM

隠しファイルを表示

一括圧縮 一括共有 一括削除

名前	最終更新日	サイズ	操作
www	2016/09/29		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
prefs.prf	2016/10/18	0.01 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
<input checked="" type="checkbox"/> .piwik_example.co.jp	2018/10/19	0.31 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
mail	2016/10/27		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
.piwik_app	2018/10/19	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
prefs.prf	2016/10/27	0.01 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
.cpx	2018/07/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑩ 削除の確認画面が表示されますので、ファイルに間違いがないことを確認し、[削除] ボタンをクリックします。

削除

以下を削除します。よろしいですか？
ディレクトリの場合はディレクトリ内の全てのファイルが削除されます。

/users/mw2*****/.piwik_example.co.jp

削除 キャンセル

- ⑪ 「選択されたファイルが削除されました。」というメッセージが表示されましたら、削除は完了です。次にpiwikのディレクトリを削除します。

ファイル / ファイルマネージャ

選択されたファイルが削除されました。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

- ⑫ [ホームディレクトリ] をクリックし、ファイルマネージャトップ画面を表示し、「www」を開き、[htdocs] をクリックします。

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ

操作: 復元

7ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/06/15 11:02 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2014/11/07		開く
etc	2018/06/12		開く
www	2014/11/07		開く
users	2018/06/12		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑬ 「htdocs」内が表示されましたら「piwik」のチェックボックスにチェックを入れ、[削除] ボタンをクリックします。
※上部の[一括削除]ボタンでも削除は可能です。

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / www / htdocs

操作: 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 復元 | ショートカット作成

4ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (1ショートカット) 最終更新日時: 2018/06/19 11:34 AM

隠しファイルを表示

一括圧縮 一括共有 一括削除

名前	最終更新日	サイズ	操作
<input checked="" type="checkbox"/> piwik	2018/06/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
fonts	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
mysqladmin	2017/07/05		詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
css	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
js	2014/10/31		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ⑭ 削除の確認画面が表示されますので、ディレクトリに間違いがないことを確認し、**[削除]** ボタンをクリックします。



- ⑮ 「Piwikは削除されました。」とメッセージが表示されましたら完了です。





4.3 データベース

MySQLの画面では、MySQLの状態確認、起動と停止、パスワードの変更を処理することが可能です。なお、コントロールパネルからMySQLを最初に起動した場合に限り、MySQLを初期化する必要があります。

4.3.1 MySQLの利用開始

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、「データベース」をクリックし、MySQL「操作」欄の「利用開始」をクリックします。



アプリケーション

- ② 初めて使用の場合は下記画面が表示されます。パスワードを入力し、「利用を開始する」ボタンをクリックします。



パスワードで利用可能な文字種や記号は以下の通りです。

- ・パスワードは8～32文字の長さが必要です。
- ・英大文字、英小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上含む必要があります。
- ・パスワードに利用可能な記号は、次のとおりです。

@ # \$ % ^ * () _ + = - &

- ③ 「MySQLを初期化しました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



(1) MySQLの停止

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース]をクリックし、MySQL「操作」欄の[停止]をクリックします。



- ② 「MySQL データベースが無効になりました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



MySQLを利用しているアプリケーションがある場合、無効にする事により正常にご利用できなくなりますのでご注意ください。

(2) MySQLの起動

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース]をクリックし、MySQL「操作」欄の[起動]をクリックします。



- ② 「MySQL データベースが有効になりました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



(3) MySQLのパスワード変更

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース] をクリックし、MySQL「操作」欄の[設定] をクリックします。



- ② 「パスワード変更」の画面が表示されましたら、「パスワード」欄に新しいパスワードを入力後、[保存] ボタンをクリックします。
※本画面は、MySQLサービスが起動している場合のみ表示されます。



- ③ 「MySQLのパスワードを変更しました。」とメッセージが表示されましたら完了です。



注意

MySQLを利用しているアプリケーションがある場合、パスワードを変更する事により正常にご利用できなくなります。必要に応じて新しいパスワードに変更してください。

(4) MySQLの利用

PHPからのMySQL接続やODBC等を利用する場合に下記設定が必要です。

情報	内容
ポート番号	3306
接続ホスト名	お客さまドメイン名、またはWebサーバーのIPアドレス、またはlocalhost
データベース名	使用するデータベース名
ID	データベースへアクセスできる権限を持つMySQLユーザー名
パスワード	MySQLアカウント作成時に設定したパスワード

アドバイス

*MySQLのストレージエンジンは下記の4種類がご利用いただけます。

- ・ CSV
 - ・ MRG_MYISAM
 - ・ MEMORY
 - ・ MyISAM
- MySQLの文字コードはUTF-8を使用しています。

注意

【お客さまご契約のBizメール&ウェブ ビジネスサーバー外からのODBC接続】

- ・ MySQL5.1の場合、MySQLユーザーの特権変更が必要です。
- ・ MySQL5.7 の場合
MySQLユーザーの特権変更および /etc/my.cnf の設定が必要です。
- ・ InnoDBはMySQL5.7へアップデートを実施する事により利用可能です。
またデータベース作成時にInnoDBを選択することは出来ません。
テーブル作成時にてご利用可能となります。
※MySQL5.1ではInnoDBはご利用いただけません。

【MySQL5.7でのInnoDBご利用方法】

phpMyAdminにてテーブルの作成時、ストレージエンジンを「InnoDB」に設定してください。

※テーブル作成後にストレージエンジンを変更することはできません。

※初期値ではMyISAMが適用されます。

4.3.2 phpMyAdminの有効化

MySQLをホームページ上から管理するためのソフト「phpMyAdmin」の有効化方法をご説明します。

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、「データベース」をクリックし、phpMyAdmin「操作」欄の「有効化」をクリックします。



- ② 「phpMyAdminを有効化しました。」と表示されましたら完了です。



注意

MySQLサービスを起動していないとphpMyAdminをご利用いただけません。MySQLが停止している場合は、「4.3.1 MySQLの利用開始」を参照してMySQLを起動してください。

(1) phpMyAdminの停止

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース] をクリックし、phpMyAdmin「操作」欄の[無効化] をクリックします。



- ② 下記画面のように「phpMyAdminを無効化しました。」と表示されましたら完了です。



(2) phpMyAdminのログイン

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、「データベース」をクリックし、「phpMyAdmin」のアイコンをクリックします。



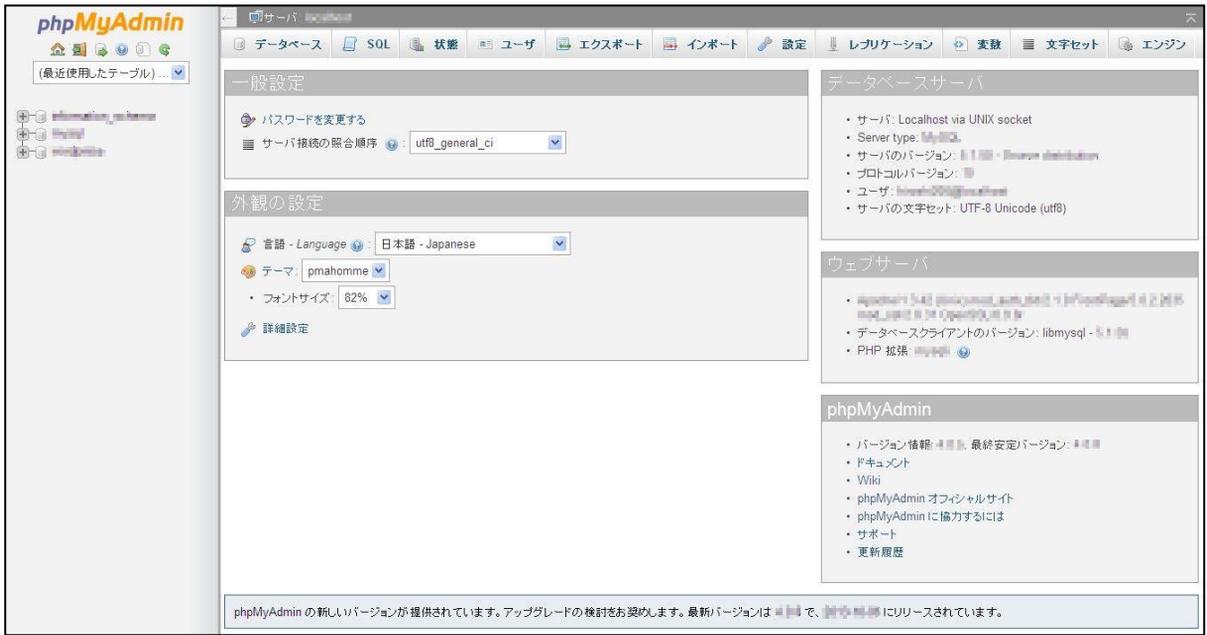
- ② phpMyAdminのログイン画面が表示されましたら、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「実行」ボタンをクリックします。



💡 アドバイス

ログインには、ユーザID(管理者)とMySQLで設定したパスワードを使用します。

③ ログインが完了すると、以下の管理画面が表示されます。



MySQL や phpMyAdmin の利用方法などは**サポート対象外**となります。

(3) phpMyAdminのバージョン変更

PHP7系をご利用の場合は、phpMyAdminとMySQLを対応バージョンに変更する必要があります。

- PHP5.3を使用 → phpMyAdmin4.0.10+MySQL5.1
- PHP7.4を使用 → phpMyAdmin4.9.5+MySQL5.7

- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース]をクリックし、phpMyAdmin「操作」欄の[設定]をクリックします。



- ② バージョン変更画面が開きますので、必ず注意事項と現在のバージョンを確認した上で、問題がなければバージョン変更ボタンをクリックします。



- ③ 「phpMyAdminのバージョンを変更しました。」と表示されれば、変更完了です。





4.3.3 利用可能なMySQLのバージョン

Bizメール&ウェブビジネスでは、次に示すバージョンのMySQLをご利用可能です。

MySQLのバージョン	備考
MySQL 5.1.73	デフォルトバージョン
MySQL 5.7.17	コントロールパネルから切り替え可能



MySQL5.1をMySQL5.7にバージョンアップした後、元のバージョンに戻したい場合はダウングレードすることができます。



凡例

-  切替(自動データ移行)
-  切替(手動データ移行)

元のバージョンに戻す場合、バージョンアップ作業時点の状況に戻ります。その際、バージョンアップ後に利用していた時期の情報はすべて破棄され復旧できませんのでご注意ください。

4.3.4 MySQL5.7へのアップグレード

コントロールパネルから、MySQL 5.7へのアップグレードする手順をご説明します。

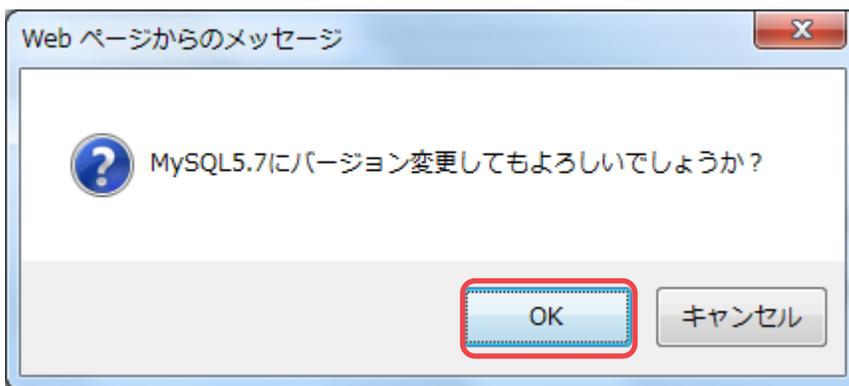
- ① コントロールパネルの左メニュー「アプリケーション」より、[データベース] をクリックし、MySQL「操作」欄の [設定] をクリックします。



- ② 「MySQL のバージョン」画面にて、MySQL管理者のパスワードを入力の上、[MySQL 5.7 にバージョン変更] ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



- ④ 「バージョンが5.7に変更されました。」と表示され、「ご利用中のバージョン」欄が5.7に変更されていれば完了です。

管理者設定 / アプリケーション / データベース / MySQL

バージョンが 5.7 に変更されました。
[データベースに戻る](#)

パスワード変更

パスワード

半角英小文字(a~z)、半角英大文字(A~Z)、半角数字(0~9)、半角記号(@#\$%^&*~&-)の最低1文字を含めた8文字以上

パスワードを入力

パスワードを入力 (確認用)

保存

バージョン

MySQLサーバーのバージョンを変更できます。

ご注意	MySQL5.1に変更した場合、MySQL5.7上で作成されたデータは引き継がれません。 phpMyAdminであらかじめデータのバックアップをお取りください。 MySQLサーバーが停止している場合はバージョン変更のため、起動されます。
ご利用中のバージョン	5.7

パスワード

パスワードを入力

MySQL5.1にバージョン変更

アドバイス

アップグレード後にバージョンをMySQL5.1へ戻したい場合、同画面の[MySQL 5.1にバージョン変更]ボタンからダウングレードすることができます。

注意

元のバージョンに戻す場合、バージョンアップ作業時点の情報に戻ります。その際、バージョンアップ後に利用していた時期の情報はずべて破棄され復旧できませんのでご注意ください。

5 システム

この章では、コントロールパネルの「システム」グループに含まれる機能について、ご案内します。

5.1 定期実行タスク



5. システム

5.1 定期実行タスク

5.1.1 定期実行タスクの概要

定期実行タスクとは、サーバー上で実行可能なコマンドやスクリプトを、自動的に起動するツールのことです。タスク管理は、コントロールパネルから、タイマーによる自動実行を設定できます。



注意

タスク管理を使用する際は、タイムゾーンを確認されるよう強くお勧めします。スケジュールを設定してからタイムゾーンを変更すると、システムが正常に動作しなくなる可能性があります。

タイムゾーン変更の手順については、「利用者マニュアル」を参照してください。



アドバイス

- ・タスク管理を使用するためには、シェルスクリプトやプログラムを作成し、サーバー上に保存しておくことが必要です。また、該当のスクリプトやプログラムには実行権限が必要です。
- ・スクリプトやプログラムに関する作成や実装、問題発生時の対処などは、お客さまの自己責任で実施いただくようお願い致します。

5.1.2 定期実行タスクの作成

タスク管理にタスクを作成すると、ある時間が来たら自動的にスクリプトが実行されます。

ここでは、~/scripts/example.sh というスクリプトを、毎朝 6 時に自動起動する例をご説明します。

なお、最上位のディレクトリに scripts というディレクトリを作成して、その中に example.sh があるものとします。

- ① コントロールパネル上部の「ファイル」をクリックし「ファイルマネージャ」が表示されましたら [scripts] ディレクトリをクリックします。

The screenshot shows the cPanel File Manager interface. At the top, the 'ファイル' (Files) menu is highlighted with a red box. Below it, the 'ファイルマネージャ' (File Manager) section is visible. The breadcrumb path is 'ホームディレクトリ' (Home Directory). The main content area shows a table of files and directories. The 'scripts' directory is highlighted with a red box. The table columns are '名前' (Name), '最終更新日' (Last Modified), 'サイズ' (Size), and '操作' (Actions).

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2018/05/24		開く
etc	2018/05/10		開く
www	2018/05/24		開く
users	2018/06/07		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/10		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
scripts	2018/06/11		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2018/05/24		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ② /scripts/ ディレクトリが表示されましたら、「example.sh」の [詳細] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the cPanel File Manager interface with the breadcrumb path 'ホームディレクトリ / scripts'. The main content area shows a table of files and directories. The 'example.sh' file is highlighted with a red box. The table columns are '名前' (Name), '最終更新日' (Last Modified), 'サイズ' (Size), and '操作' (Actions). The '詳細' (Details) button for the 'example.sh' file is also highlighted with a red box.

名前	最終更新日	サイズ	操作
example.sh	2018/05/31	0.01 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

③ 「操作」欄の「属性変更」をクリックします。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイルの詳細

🏠 ファイルマネージャ

ファイル名とパス	ホームディレクトリ / scripts / example.sh
タイプ	unknown
サイズ	0.01KB
最終更新日時	2018/05/31 04:29 PM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 ショートカット作成
オプション	無効

④ 所有者の「実行」にチェックを入れて、「保存」ボタンをクリックします。

ディレクトリ / 属性変更

🔗 属性変更

example.shの属性を変更します。

属性設定	所有者 <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input checked="" type="checkbox"/> 書込 <input checked="" type="checkbox"/> 実行
	グループ <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input type="checkbox"/> 書込 <input type="checkbox"/> 実行
	その他 <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input type="checkbox"/> 書込 <input type="checkbox"/> 実行

保存 キャンセル

⑤ 「属性を変更しました」とメッセージが表示されましたら完了です。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイルの詳細

属性を変更しました

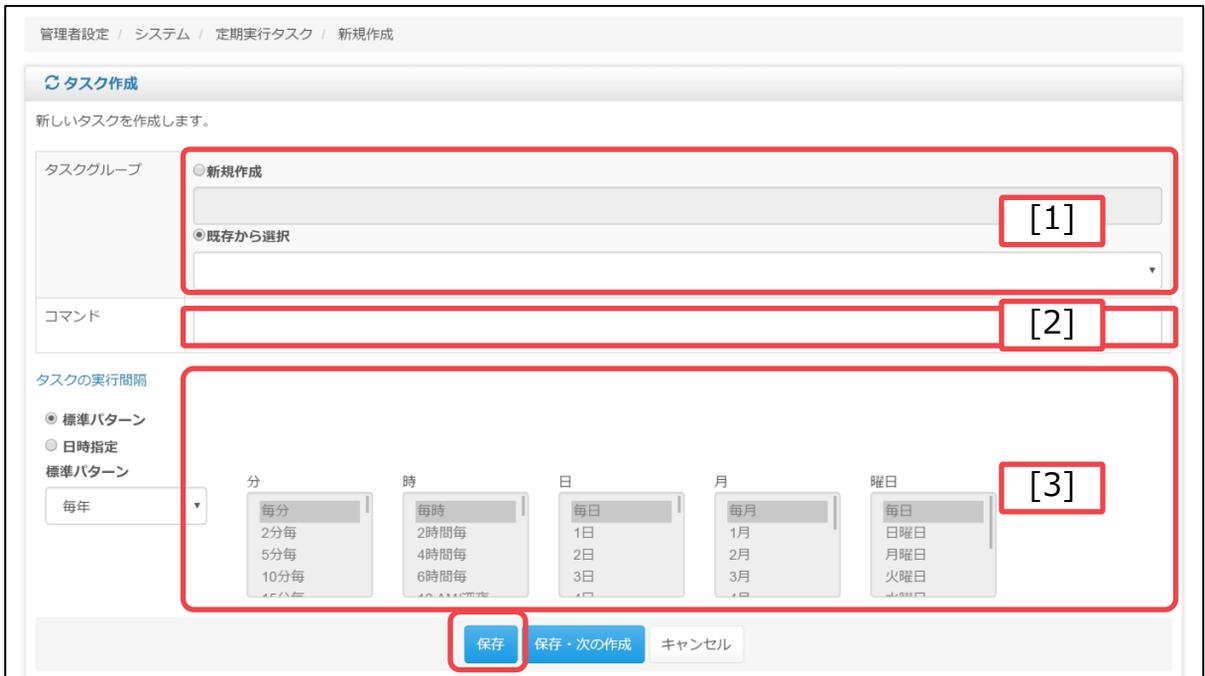
🏠 ファイルマネージャ

ファイル名とパス	ホームディレクトリ / scripts / example.sh
タイプ	unknown
サイズ	0.01KB
最終更新日時	2018/05/31 04:29 PM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 ショートカット作成
オプション	無効

- ⑥ 次に、タスク管理にタスクを作成します。コントロールパネル左メニュー「システム」より、「定期実行タスク」の画面を開き、[新規作成] ボタンをクリックします。



- ⑦ 内容を選択、入力したのち [保存] ボタンをクリックします。各項目の意味については、次ページで解説します。



■ 各項目の説明

番号	項目	内容
[1]	タスクグループ	<p>タスクがたくさんある場合に、グループを作成すると便利です。 例：「daily」「weekly」「system」など</p> <p>既に作成してあるグループがあれば、「既存から選択」のプルダウンから選択できます。</p>
[2]	コマンド	<p>スクリプトのパスを入力します。 scripts ディレクトリの example.sh を実行する場合は、 ~/scripts/example.sh と入力します。</p>
[3]	タスクの実行間隔	<p>標準パターン選択を選択した場合、プルダウンから、「毎年」「毎月」「毎週」「毎日」「毎時」を選択できます。 日時指定を選択した場合、日時指定の項目から詳細なスケジュール時間を設定できます。</p> <p>分：「毎分」「2分毎」「5分毎」「10分毎」「15分毎」「0 … 59 分」から選択 時：「毎時」「2時間毎」「4時間毎」「6時間毎」「0 … 23 時」から選択 日：「毎日」「1 … 31 日」から選択 月：「毎月」「1 … 12 月」から選択 曜日：「毎日」「日, 月, 火, 水, 木, 金, 土 曜日」から選択</p> <p>各項目の組み合わせにより、次のような日時指定ができます。 例：毎週水曜日の 6:40 に実行、毎月 1 日の 4 時に実行、など</p>

- ⑧ 「タスクが保存されました。」と表示され、「タスク一覧」に設定したタスクが反映されましたら完了です。

管理者設定 / システム / 定期実行タスク

タスクが保存されました。

定期実行タスク管理

日時を指定して実行するコマンドやスクリプトを設定できます。

タスク実行通知先

メールアドレスを入力 設定

新規作成

タスク一覧

<input type="checkbox"/>	タスクグループ	コマンド	有効	分	時	日	月	曜日	その他	処理
<input type="checkbox"/>	毎日	~/scripts/example.sh	✓						yearly	編集 無効 削除

5.1.3 定期実行タスクの処理

作成済みのタスクを編集して別の時間に実行するようしたり、タスクの削除、タスクの無効化が可能です。

- ① コントロールパネル左メニュー「システム」より、「定期実行タスク」の画面を開き、タスク一覧より処理を行ってください。



項目	内容
編集	編集をクリックすると、タスクの実行時間や、コマンドを別のスクリプトに変更することができます。タスクの作成時と同じように設定できます。
削除	削除をクリックすると、不要なタスクを削除することができます。
無効	無効をクリックすることで、タスクの実行を中止することができます。無効なタスクを有効にするには、[有効] ボタンをクリックします。

6 CGIの仕様

本サービスでは、お客さまが作成したCGIをご利用頂けます。
この章では、本サービスのCGIの仕様についてご案内致します。

6.1 CGI環境

6.2 使用できる言語とスクリプトの実装

6.3 ファイル管理によるCGIファイルの作成

6.4 スクリプトファイルへの実行権限の付与



6.CGIの仕様

6.1 CGI環境

6.1.1 CGIスクリプトの設置場所へのリンク

本サービスでは、CGI スクリプトの実装が可能です。本サーバーに実装したウェブコンテンツから、CGIスクリプトを呼び出す場合、次の記述でリンクを設定できます。

- ・ CGI スクリプトの設置場所へのリンク
/cgi-bin/<CGI ファイルへのパス>/<CGI ファイル名>に設置した場合
http://<お客さまドメイン名>/cgi-bin/<CGI ファイルへのパス>/<CGI ファイル名>

例: <http://www.example.jp/cgi-bin/test.pl>



アドバイス

利用者が作成したウェブコンテンツからも、該当ドメイン内のCGIスクリプトの設置場所へのリンクを設定ができます。リンクの設定方法は、管理者と同じ
/www/cgi-bin/<CGI ファイルへのパス>/<CGI ファイル名>
となります。



注意

cgi-bin ディレクトリにファイルをアップロードした場合、ファイルのアクセスパーミッションには、本サービス環境標準のもの (644, -rw-r--r--) が割り当てられます。

設置したファイルに対して、直接の起動を掛けたい場合には、ファイルの転送後、実行権限を与える(755, -rwxr-xr-x) 等のアクセスパーミッション変更が必要になります。

ファイル単位でのアクセスパーミッションの変更は、FTPソフトやコントロールパネルからできます。

コントロールパネルからファイルを変更する場合は、「ファイル」の機能でファイルが設置されたディレクトリを表示し、該当ファイルの「プロパティ」のリンクをクリックして、表示された「ファイルのプロパティ」の画面から【属性変更】をクリックします。



6.2 使用できる言語とスクリプトの実装

6.2.1 言語とシェル

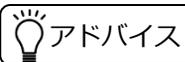
本サーバーで CGI を作成する場合、次に示すプログラミング言語とシェルスクリプトが、使用可能です。本サービスの CGI 環境で使用可能な言語の種類と、該当するフルパスを次に示します。

言語/シェル		フルパス
Perl		/usr/bin/perl
php	php5.3	/usr/local/global-bin/php-5.3.cgi
	php7.4	/usr/local/global-bin/php-7.4.cgi
python		/usr/local/bin/python
ruby		/usr/local/bin/ruby
sh		/bin/sh

6.2.2 使用可能なコマンドの例

Bizメール&ウェブ ビジネスでは、一般的なUNIXコマンドの他にも、次に示すコマンドが使用可能です。

/usr/local/bin/nkf (日本語文字のコード変換)
 /usr/bin/uuencode (バイナリーファイルのエンコード)
 /usr/sbin/sendmail (メールの送信、qmail に含まれる sendmail 互換プログラム)



アドバイス

各コマンドの機能や使用方法についてはサポート対象外です。各種サイトや市販本などを参照してください。

6.2.3 スクリプト言語の宣言文

各種スクリプト言語を使用する際には必ず宣言文を用いる必要があります。

言語	宣言文
Perl	#!/usr/bin/perl
python	#!/usr/bin/env python
ruby	#!/usr/local/bin/ruby
sh	#!/bin/sh

6.2.4 CGIスクリプト実装上の注意事項

本サーバーにスクリプトを実装する場合、次の要件を満たすことが必要です。

- ・改行コードは、1バイト(LF)にする
- ・日本語の文字は UTF-8 形式でエンコーディングする
- ・ファイルパーミッションの変更(実行権限付与)が必要(**755, -rwxr-xr-x** など)
- ・サーバーのフルパスでは、 /usr/home/<ユーザーID>/ となります。

1バイト(LF)の改行コードでファイルを作成するためには、次の手順があります。

- ・コントロールパネルの「ファイル管理」を使用して、ファイルを作成する
- ・Windows 環境でファイルを作成した場合は、ファイル転送時に FTPの ASCII モードで転送を掛ける

CGI スクリプトで使用可能なコマンドや 各言語のバージョン、インストール済みのライブラリなどについては弊社ホームページをご参照ください。



各コマンドの機能や使用方法についてはサポート対象外です。各種サイトや市販本などを参照してください。



6.3 ファイル管理によるCGIファイルの作成

ここでは、CGIスクリプトが格納されたファイルを、コントロールパネルの「ファイル管理」の画面から作成する手順を示します。

6.3.1 スクリプトファイルの要件

内容に日本語の文字を含む CGIスクリプトを本サーバーに設置する場合、各ファイルは次の要件を満たすことが必要です。

- ・改行コードが1バイト("LF")である
- ・日本語が UTF-8 の形式でエンコードされている
- ・ファイルのアクセスパーミッションには、実行権限が付与されている
- ・作成したスクリプトが 次の要件を満たしていることも、合わせて必要です。
 - スクリプトが、日本語の文字は UTF-8 の形式で処理するよう、設定されている
 - スクリプトには、文法エラーや設定値の誤りなどの問題が含まれていない

6.3.2 ファイルの作成

ここでは、コントロールパネル内の「ファイル管理」の機能を使用し、「example.pl」という名前のファイルを、サーバー上の~/www/cgi-bin/ に作成する手順を説明します。

- ① コントロールパネル上部の「ファイル」からの「ファイルマネージャ」を表示し「www」から [cgi-bin] をクリックします。

管理者設定
ユーザー
メールサーバー
ウェブサーバー
アプリケーション
システム
管理者サポート

ホーム | メール | **ファイル** | mw2*****

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ | 共有ファイル | 復元ファイル

ホームディレクトリ

操作: 復元

7ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/05/28 10:17 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 | **ファイル作成** | アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2018/05/24		開く
etc	2018/05/10		開く
www	2018/05/24		開く
users	2018/06/07		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/10		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2018/05/24		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ② 「ファイル名とパス」欄に、「ファイル管理 / www / cgi-bin」が表示されていることを確認し、[ファイル作成] ボタンをクリックします。

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイル进行操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / www / cgi-bin

操作: 削除 | 圧縮 | 共有 | コピー | 移動 | 名前変更 | 属性変更 | 復元 | ショートカット作成

0ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2014/11/07 10:30 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 **ファイル作成** アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
-- 現在、表示するレコードはありません --			

表示文字コード: UTF-8

- ③ 「ファイル名」の欄に「example.pl」と入力し、「ファイルの内容」の欄にスクリプトの内容を入力したら[保存] ボタンをクリックします。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイル作成

新規ファイル作成

新しいファイルを作成します。

保存先ディレクトリ: /www/cgi-bin/

ファイル名 (必須): example.pl

ファイル内容 (任意):

作成 キャンセル

- ④ 「example.plを作成しました」とメッセージが表示されましたら完了です。
「ディレクトリの内容」欄にて、該当のファイルが保存されていることを確認してください。

The screenshot shows a web-based file manager interface. At the top, a message box displays "example.plを作成しました。" (example.pl created). Below this, the file manager header shows "ホームディレクトリ / www / cgi-bin". A table lists the files in the directory:

名前	最終更新日	サイズ	操作
example.pl	2018/05/31	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除



6.4 スクリプトファイルへの実行権限の付与

6.4.1 スクリプトファイルへの実行権限の付与

本サーバー内に設置したスクリプトファイルを実行するためには、実行権限を付与することが必要です。ここでは、コントロールパネルの「ファイル管理」を使用した、実行権限の付与手順を説明します。

以降の例では、「/www/cgi-bin」に格納された「example.pl」ファイルに、実行権限を付与しています。

- ① コントロールパネル上部の「ファイル」からの「ファイルマネージャ」を表示し「www」から「cgi-bin」をクリックします。

Biz-eメール&ウェブ ビジネス

ホーム メール **ファイル** mw2*****

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ

操作: 復元

7ディレクトリ, 0ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/05/28 10:17 AM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
tmp	2018/05/24		開く
etc	2018/05/10		開く
www	2018/05/24		開く
users	2018/06/07		開く
ftp	2014/11/07		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
var	2018/05/10		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除
backup	2018/05/24		開く 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

- ② cgi-binディレクトリの内容が表示されましたら、example.pl の [詳細] ボタンをクリックします。

Biz-eメール&ウェブ ビジネス

ホーム メール ファイル mw2*****

ファイル / ファイルマネージャ

ファイルマネージャ

権限ディレクトリ内のファイルを操作できます。

ファイルマネージャ 共有ファイル 復元ファイル

ホームディレクトリ / **www** / cgi-bin

操作: 削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 復元 ショートカット作成

0ディレクトリ, 1ファイル, (0隠しファイル), (0ショートカット) 最終更新日時: 2018/05/31 05:55 PM

隠しファイルを表示

+ディレクトリ作成 ファイル作成 アップロード

名前	最終更新日	サイズ	操作
example.pl	2018/05/31	0.00 KB	詳細 名前変更 コピー 移動 圧縮 共有 削除

③ 「操作」欄の「属性変更」をクリックします。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイルの詳細

🏠 ファイルマネージャ

ファイル名とパス	ホームディレクトリ / www / cgi-bin / example.pl
タイプ	Perl スクリプト
サイズ	0KB
最終更新日時	2018/05/31 05:55 PM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 ショートカット作成
オプション	無効

④ 「属性変更」の画面で、「所有者」「グループ」「その他」に対応する「実行」のチェックボックスにチェックを入れ、「保存」ボタンをクリックします。

ディレクトリ / 属性変更

🏠 属性変更

example.plの属性を変更します。

属性設定	所有者 <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input checked="" type="checkbox"/> 書込 <input checked="" type="checkbox"/> 実行
	グループ <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input type="checkbox"/> 書込 <input checked="" type="checkbox"/> 実行
	その他 <input checked="" type="checkbox"/> 読込 <input type="checkbox"/> 書込 <input checked="" type="checkbox"/> 実行

⑤ 「属性を変更しました」とメッセージが表示されましたら完了です。

ファイル / ファイルマネージャ / ファイルの詳細

属性を変更しました

🏠 ファイルマネージャ

ファイル名とパス	ホームディレクトリ / www / cgi-bin / example.pl
タイプ	Perl スクリプト
サイズ	0KB
最終更新日時	2018/05/31 05:55 PM
操作	削除 圧縮 共有 コピー 移動 名前変更 属性変更 ショートカット作成
オプション	無効



アドバイス

Perl で書かれたスクリプトのほかに、Python や Ruby で書かれたスクリプトも、同様の手順(ファイル名のみが異なる)で、サーバー内に設置できます。



注意

実行権限を付与していない場合、記述が正しくても正常に動作しません。
各コマンドの機能や使用方法については、サポート外となります。
各サイトや市販本などを参照してください。

7 システム管理者さまへのお願い

本サービスを快適にご使用いただくためには、サーバーのご利用状況を把握していただき、効率的に運用していく必要がございます。ここでは、本サービスの円滑なご利用にあたり、システム管理者の方にご留意いただきたい事項をまとめております。

7.1 ユーザ管理についての注意事項

7.2 サポートに関する注意事項



7. システム管理者さまへのお願い

7.1 ユーザ管理についての注意事項

7.1.1 ユーザー管理についての注意事項

本サーバーでは、メールやFTPなどを利用するユーザーを管理者が任意に作成することができます。

そのため、ユーザー管理に関しましては、下記内容をご配慮くださいますようお願い致します。

利用者が増えた場合には、その都度、新たにユーザー登録をしてください。1つの登録ユーザーを複数の方で共用されますと、同じメールBOX等へのアクセス集中によるサーバーの高負荷を招く恐れがございます。

ユーザー登録の際、簡単なログイン名、パスワードの組み合わせで作成されますと悪意のあるユーザーに乗っ取られ、他のサーバーへの攻撃の踏み台にされるなどの危険性が高くなります。そのため、ユーザーの登録およびパスワードの管理等には十分にご配慮をお願いいたします。

なお、パスワードには以下のような条件を満たす第三者から類推されにくい文字列で登録されることを推奨いたします。

- ◇ 辞書に載っている単語や固有名詞などは使用しない。辞書に載っている単語を含める場合には、あえてスペルを誤る。
- ◇ メモを残さなくてよいように、自分では思い出しやすいものにする。
- ◇ 同じフレーズを繰り返すなど、長さをより長くする。

またユーザー登録の際の「メール」「ファイル」の権限の付与につきましても、使用しない権限は付与されず、必要最小限での付与をお勧めいたします。

利用者が一時的に利用を停止する場合、その期間、権限を無効化する事をお勧めいたします。また、転属や退職などで不要になったユーザーIDが生じた場合、業務に支障が無いことを確認された後で削除をされる等、利用していないユーザーIDを放置されませんようお願いいたします。

定期的に登録状況やご利用状況の精査を行い、悪意のあるユーザーのアクセスへの脅威や無用な問題の発生に備える必要がございます。

- ◇ 不要な登録ユーザーや権限の洗い出し
- ◇ 管理者および各利用者のパスワードの定期的な変更
- ◇ サーバー容量
- ◇ 「access log」や「error log」のサイズの推移(コントロールパネル内「ファイル管理」より確認可能)

以上の内容をご考慮頂き、運用して頂きます様お願い致します。



7.2 サポートに関する注意事項

7.2.1 サポートに関する注意事項

問題が発生致しサポート窓口にご相談される場合、下記の点をご確認くださいませようお願いいたします。

■ サポート方法について

電話、およびメールによるサポートのみとなります。
訪問による設定サポートなどは実施しておりません。

■ サポート範囲について

サポート範囲は、各種マニュアル/メールアドレスの設定/提供機能の設定までとなります。
そのためホームページの作成方法や内容などに関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■ ホームページCGIについて

お客さま側で作成されたホームページCGIの内容に関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■ データベース(MySQL) や各スクリプト(PHPなど) の記述について

本サービスでは、MySQL/PHPなどの動作環境のみを提供しております。
データベースの操作方法や、各スクリプトの記述等に関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。

■ ログの提供について

共用サーバーでの提供の特性上、アクセスログにつきましてはお客さまが参照可能な位置に格納されておりますが、メールやFTPなどのその他のログは、お客さまが参照できない位置に格納されており、提供を行っておりませんのでご了承ください。

本サービスのサーバーに問題がある場合は、サポート窓口にて問題解決の支援が可能でございますが、ご利用のパソコンやインターネット回線などの接続環境に原因がある場合などは、その限りではございません。

そのため原因をお調べ頂きまして、該当の窓口にご相談されることが、問題の早期解決には必要でございます。

管理者は利用者と情報を共有することにより、問題の早期解決に向けた作業の効率化を計ることが可能です。

・ 効率的な情報の伝達

利用者マニュアルなどの基本情報や、工事やサービス停止の連絡など弊社からの案内を組織内で全員に共有していただくことにより、管理業務の効率化が図れます。

・ 問題発生時の状況確認とその後の対応について

問題が発生した場合、その内容・状況をお客さまでご確認頂き、解決に必要な情報をとりまとめていただきますと、事象の回復への工程が効率化します。

また、併せて弊社からのご連絡を皆様方で共有していただくことにより、再発防止の効果も生まれます。

・ サポート窓口での調査や依頼に必要な情報について

問題を解決するためには「問題の該当箇所」をご確認頂く事が必要でございます。そのため、サポート窓口へご連絡頂く前に、下記にございます情報のご確認をお願い致します。

- ◇ Hから始まるお客さま番号
- ◇ 問題の発生時刻、発生の頻度、再現が可能であれば再現手順
- ◇ 問題が発生した際のエラーメッセージなどの記録
- ◇ OSの種類やソフト、インターネット接続環境などのお客さまのご利用環境
- ◇ メールでの問題発生の場合、差出人や宛先のメールアドレス



本サービスを快適にご利用いただくためには、サーバーのご利用状況を把握していただき、効率的に運用していく必要がございます。ここでは、本サービスの円滑なご利用にあたり、システム管理者の方にご留意いただきたい事項をまとめております。

8 サービスのご利用にあたって

8.1 本サービスの提供形態に関する注意

8.2 本サービスの保全に関する注意事項



8. サービスのご利用にあたって

8.1 本サービスの提供形態に関する注意

8.1.1 共用サーバーについて

本サービスは1台のサーバーを複数のユーザーで共有していただく共用サーバーの形態で提供いたしております。

共用サーバーとは、1台のサーバーに対して複数の仮想サーバーを実現するソフトウェアをインストールする事で、複数のサーバーと同等の環境を実現させているサーバーを指します。

このメカニズムによって、サーバーの物理的なリソースを効率的に分割することができます。

本サービスでは、ハードウェアやオペレーティング環境のほか、メールやFTP、ウェブなどの基本的なソフトウェアも含めて、共有していただく環境で構築しています。

例えばメールの環境では、1台のサーバーで1つのメールソフトウェアを共有しています。

そのため、各ソフトウェアの設定ファイルも共有でのご利用であるために、ユーザーごとに設定ファイルそのものを編集する権限がありません。メールやFTP、ウェブなどのソフトウェアに関しましては、提供された設定のままお使いいただく必要がございます。

また各ソフトウェアは原則、開発元から出荷された機能で実装していますが、本サービスの提供形態は共用サーバーのサービスであり、各ユーザーではサーバーそのものの管理者権限を持たないため、ソフトウェアの一部機能で使用上の制約が発生することがあります。

同様に各ソフトウェアからの出力されるログも、アクセスログについてはお客さまが参照可能な位置に格納されておりますが、メールやFTPなど他のソフトウェアのログは、お客さまに提供している権限では参照できない位置に格納されております。

また、サーバーの障害等に関与しない受信記録の詳細な説明や、具体的な送信元IPアドレス等の情報を開示することは電気通信事業法に定められております「通信の秘密を侵すこと」に該当するおそれがあるため、ご契約者ご本人様からのご依頼の場合であっても控えさえて頂いております。

快適に本サービスをご利用いただくには、プランごとに推奨値を定めています。具体的な値については、以下のページを参照してください。

推奨値：

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/biz/function/recommend.html>

以上より本サービスは、カスタマイズなどの自由度に関しては制約が強いものの、提供仕様の範囲内に限ってご使用いただくことで、その機能と性能とが発揮されるサービスです。

8.1.2 本サービスの特長

本サービスでは、ご契約されたお客さまに対して、1契約に対して1つの「仮想サーバー」を提供しています。

この仮想サーバーのことを本サービスでは「アカウント」と呼んでいます。

本サービスのアカウントには、ご利用開始時より、次の機能を提供しております。

■ 固定IPアドレス

各アカウントは、固定のグローバルアドレスを持っています。このアドレスは、原則として、変更されることなくご使用いただけます。

■ バックアップ

バックアップ(ディスク、外部記憶装置)を取得しております。ただし、バックアップの対象はハードディスク上に記録されたデータだけです。編集中の「状態」やメモリー上でのみ稼働しているデータベースなどは、バックアップの対象にはなりません。

■ コントロールパネル

本サービスでは、その機能をご利用頂く為の、専用の「コントロールパネル」を提供しています。サーバーの管理や各種ソフトウェアの使用も、原則として、コントロールパネルにログインした状態での作業が必要です。

コントロールパネルへのアクセスには、インターネットブラウザを使用いたします。このため、本サービスの管理作業や各種機能をご利用いただくためには、インターネット経由でウェブにアクセスできる環境が必要になります。

■ テンポラリドメインとサーバー証明書

本サーバーには、「ユーザID(管理者).bizmw.com」に対応したサーバー証明書をインストール済みです。この証明書により次に示すセキュアな通信を実現できます。

- ・ httpsを用いたコントロールパネルへのアクセス
- ・ POP over SSL(Port 995) やSMTP over TLS(Port 587) を利用したメールサーバーへのアクセス



8.2 本サービスの保全に関する注意事項

8.2.1 本サービスの保全に関する注意事項

本サービスは共用サーバーとなりますので、運用にあたってご留意いただきたいことがございます。

- サーバー資源の使用状況によっては、弊社から使用内容の見直しや使用状況の改善をお願いさせていただくことがございます。
また、電気通信設備の保守上又は工事上やむを得ない場合に、お客さまの収容サーバーを変更する場合がございます。この場合あらかじめそのことを契約者に通知します。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。
なお、お客さまのコンテンツ、設定情報等の変更はございません。
- 毎週木曜日午前0:00～5:00に定期メンテナンスを実施致します。
その作業によりメンテナンス内容によりサーバーに影響が出る可能性がございます。メンテナンスによる影響が以下のように大きい場合には、事前に下記「オペレーションサポート」ウェブにてご案内致しますので定期的なご確認をお勧めいたします。
 - メンテナンスによりサービスへ以下の影響がある場合
 - (1) 動作が不安定になる可能性がある場合
 - (2) サーバーが停止する可能性がある場合
 - (3) サーバーを再起動する可能性がある場合

「お客様サポート」サイト Bizメール&ウェブ ビジネス

・工事・故障情報

<https://support.ntt.com/mw-business/maintenance/search>

ソフトウェアの品質や問題点への対応には、可能な限り早い対応を行いますが、最新のセキュリティパッチや改良版については、本サービス提供環境での稼働確認などの為、ある程度のお時間をいただく可能性がございます。また機能改良版については、一定以上のお時間が掛かる場合もございますことをご留意ください。

**Bizメール&ウェブ ビジネス
管理者マニュアル**

© NTTコミュニケーションズ株式会社
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。